

# 取扱説明書

---

MV-42HSA

マルチビューワー

Multi Viewer

---

3<sup>rd</sup> Edition - Rev. 2

## 改訂履歴

---

Edit.	Rev.	年月日	改訂内容	改訂箇所 (章)
1	-	2014/03/07	初版	
1	1	2014/07/18	保証追加 画面表示例 追加	6-2
2	-	2014/12/18	MV-42IFA (インターフェース) オプション対応	
2	1	2015/05/20	「使用上の注意」からアースの項目を削除	
3	-	2016/05/27	FS MODE 追加 エンベデッドオーディオ出力対応	7-3-4 4-7、6-11、 7-7、10-3
3	1	2020/09/11	消費電力変更	12-1
3	2	2025/04/01	構成表から CD-ROM を削除	開梱および確認

## 使用上の注意

安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください。

### [電源電圧・電源コード]

 禁止	指定電圧以外の電源電圧は使用しないでください。
 プラグを抜く	電源コードを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つく恐れがあります。コードが傷ついたまま使用すると、火災や感電の原因になります。
 注意	電源コードに重いものをのせたり落としたりしてコードを傷つけないでください。コードが傷ついたまま使用すると、火災や感電の原因になります。
 注意	電源コードの被ふくが溶けたり、コードに傷がついたりしていないか、定期的にチェックしてください。
 注意	電源コードのプラグおよびコネクタは奥までしっかりと差し込んでください。

### [接地]

 必ず行う	感電を避けるためアースをとってください。
 禁止	アースは絶対にガス管に接続しないでください。爆発や火災の原因になることがあります。

### [内部の設定変更が必要なとき]

 必ず行う	電源を切ってから、設定変更の操作を行ってください。電源を入れた状態で設定が必要な場合は、サービス技術者が行ってください。
 触らない	過熱部分には触らないでください。やけどをする恐れがあります。
 注意	パネルやカバーを取り外したままで保管や使用をしないでください。内部設定終了後は必ずパネルやカバーを元に戻してご使用ください。

### [冷却ファン]

 触らない	回転部分には触らないでください。巻き込まれると指や手を損傷する恐れがあります。
---	---

## [使用環境・使用方法]

 禁止	高温多湿の場所、塵埃の多い場所や振動のある場所に設置しないでください。使用条件以外の環境でのご使用は、動作の異常、火災や感電の原因になることがあります。
 禁止	内部に水や異物を入れないでください。水や異物が入ると火災や感電の原因になることがあります。万一、異物が入った場合は、すぐ電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて内部から取り出すか、販売代理店、サービスセンターへご相談ください。
 禁止	筐体の中には高圧部分があり、感電の恐れがあります。通常はカバーを外したり分解したりしないでください。
 禁止	通風口を塞がないでください。この機器を正常に動作させるために、適量の空冷が必要です。機器の前面と背面は、他の物から5cm以上離してください。

## [運搬・移動]

 注意	運搬時などに外部から強い衝撃を与えないように注意してください。機器が故障することがあります。機器を他の場所へ移動するときは、専用の梱包材をご使用ください。
---	---

## [異常時の処置]

 必ず行う	電源が入らない、異臭がする、異常な音が聞こえるときは、内部に異常が発生している恐れがあります。すぐに電源を切り、販売代理店、サービスセンターまでご連絡ください。
--	--

## [ラック取付金具、アース端子、ゴム足の取り付け]

 必ず行う	ラック取付金具、アース端子、ゴム足を取り付ける場合は、必ず付属の専用部品および付属のネジを使用し、それ以外のものは使用しないでください。内部の電気回路や部品に接触し、故障の原因になります。また、ゴム足付きの製品の場合は、ゴム足を取り外した後にネジだけをネジ穴に挿入することは絶対にお止めください。
---	--

## [消耗部品]

 注意	消耗部品が使用されている機器では、定期的に消耗部品を交換してください。消耗部品・交換期間の詳しい内容については、取扱説明書の最後にある仕様でご確認ください。なお、消耗部品は使用環境で寿命が大きく変わりますので、早めの交換をお願いいたします。消耗部品の交換については、販売代理店へお問い合わせください。
---	--

# 保証

---

弊社製品のご購入において製品の修理・保守等について御連絡申し上げます。

- 1) 通常のお取り扱いにおいて発生した製品故障に関し、購入後 1 年間無償にて修理の対応を致します。
  - 2) お取り扱い上の不注意、天災等による損傷の場合は実費を頂きます。
  - 3) ご自分で修理・調査・改造されたものは、保証いたしかねる場合があります。《また、特別な使用環境でご使用になられる場合、保証期間中といえども、別途有償保守契約の締結をお願いする場合があります。》
  - 4) 修理は SEND BACK 対応となります。
  - 5) 修理期間は、弊社にて故障及び修理内容確認後の回答となります。
  - 6) 修理期間中の代替機ご提供の保証はいたしかねる場合があります。尚、代替機ご提供の場合は代替機使用料金が必要となります。
  - 7) 製品の保守に関しましては、製品出荷後原則 7 年間とさせて頂いています。但し、出荷後 7 年間を過ぎても、保守部品を保有している場合、もしくは部品入手が可能な場合は修理をお受け致しています。
  - 8) 製品の故障に起因する派生的、付随的および間接的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等については、全てご容赦頂きます。
  - 9) 他社製品の修理・保守等については、別段の指定がない限り、他社の保証・保守条件によります。
  - 10) 本保証は日本国内においてのみ有効です。
  - 11) 詳細につきましては、その都度修理部門にお問合せ頂きますようお願い申し上げます。
- ※ 特別な修理対応を御希望の場合は、別途御相談させて頂きます。

## 開梱および確認

このたびは、MV-42HSA をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。本製品を正しくご使用頂くために、この取扱説明書をよくお読みください。また、本書はお読みになった後も大切に保管してください。

MV-42HSA のパッケージを開くと、以下の構成表に示すものが入っています。すべての品物が揃っているか、ご確認ください。

### ◆ 構成表

品名	数量	備考
MV-42HSA 本体	1	
セットアップガイド	1	

### ◆ オプション

品名	数量	備考
MV-42AI	1	アナログコンポジット入力基板
MV-42IF/IFA	1	インターフェース基板
AC アダプター	1 式	AC コード、DC コード抜け止め具を含む
ラック取付金具	1 式	EIA 標準タイプ、1 台用または 2 台用

## 確認

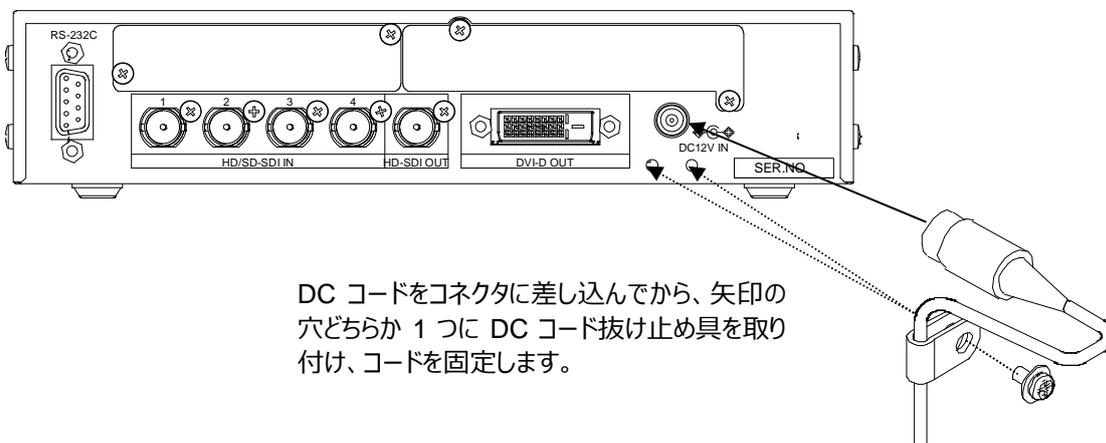
もし、品物に損傷があった場合は、直ちに運送業者にご連絡ください。品物に不足があった場合や、品物が間違っている場合は、販売代理店までご連絡ください。

## 使用フォント

この製品では、株式会社リコーがデザイン制作したリコーベクターフォントを使用しています。

## DC コード抜け止め具の取り付け方法

オプションの AC アダプターを使用する場合は、AC アダプターに同梱されている DC コード抜け止め具で、DC コードが本体から抜けるのを防ぎます。



# 目次

1. 概要および特長.....	10
1-1. 概要 .....	10
1-2. 特長 .....	10
1-3. この取扱説明書について .....	10
2. 接続.....	11
2-1. 基本の接続.....	11
2-2. MV-42AI / IF / IFA オプション実装時の接続.....	11
3. 各部の名称と機能.....	12
3-1. 前面パネル .....	12
3-2. 背面パネル .....	13
3-2-1. REF IN (外部同期信号) 対応 ※MV-42IF/IFA オプション.....	14
4. 操作方法 .....	15
4-1. 電源投入時の動作 .....	15
4-2. データの初期化 .....	15
4-3. 出力フォーマット変更.....	15
4-4. 1 画面を表示する.....	16
4-5. 1 画面を自動で切替える.....	16
4-6. 分割画面を表示する .....	16
4-7. MULTI 画面のオーディオソースを切替える .....	17
5. GPI 制御 ※MV-42IF/IFA オプション .....	18
5-1. 画面自動切替え (AUTO) .....	19
5-2. 入力 1~4 の 1 画面表示 (FULL1~4) .....	19
5-3. 分割画面表示 (MULTI) .....	19
5-4. 赤/緑タリーの入力 (TALLY-R/G1~4) .....	19
5-5. 内部時計補正入力 (ADJUST IN) .....	19
5-6. アラームリセット (ALARM RESET) .....	19
6. 表示画面 .....	20
6-1. 画面表示モード.....	20
6-2. 画面表示例 .....	22
6-2-1. 4 分割表示 (QUAD) .....	22
6-2-2. 左右 2 分割表示 (H2).....	23
6-3. 日時表示 ※MV-42IF/IFA オプション.....	24
6-3-1. 日付設定.....	24
6-3-2. 日時表示.....	24
6-4. タリー .....	25
6-4-1. タリー表示 .....	25
6-4-2. タリー入力方法.....	25
6-5. クロップ .....	26
6-5-1. クロップの範囲について .....	26
6-6. オーディオレベルメーター .....	27
6-6-1. オーディオレベルメーターの設定 .....	28
6-7. ビデオロス表示 .....	30
6-7-1. ロス表示 .....	30
6-8. アンシラリータイムコード(ATC).....	31
6-9. ビデオクリップモード .....	32
6-9-1. Y/C クリップ.....	32
6-9-2. DVI 出力モード.....	32
6-10. 4K ダウンコンバート表示 .....	33
6-11. オーディオ出力.....	34
7. メニュー操作 .....	35
7-1. メインメニュー画面 .....	35

7-1-1. SAVE CHANGE? .....	39
7-2. DISPLAY .....	40
7-2-1. FULL SCREEN .....	41
7-2-1-1. FULL SCREEN SETUP 1/8 ~ 8/8 .....	41
7-2-1-2. TITLE COLOR / TITLE EDGE COLOR (FULL) .....	44
7-2-2. MULTI CH SCREEN .....	45
7-2-2-1. MULTI CH SCREEN SETUP 1/8~8/8 .....	45
7-2-2-2. SOURCE SELECT (MULTI) .....	47
7-2-2-3. DISPLAY MODE (MULTI) .....	48
7-2-2-4. CROP ENABLE (MULTI) .....	49
7-2-2-5. BORDER ENABLE (MULTI) .....	50
7-2-2-6. BORDER WIDTH (MULTI) .....	51
7-2-2-7. BORDER COLOR (MULTI) .....	52
7-2-2-8. TITLE ENABLE (MULTI) .....	53
7-2-2-9. TITLE SIZE (MULTI) .....	54
7-2-2-10. TITLE COLOR (MULTI) .....	55
7-2-2-11. TITLE TRANSPARENCY (MULTI) .....	56
7-2-2-12. TITLE EDGE (MULTI) .....	57
7-2-2-13. TITLE EDGE COLOR (MULTI) .....	58
7-2-2-14. TITLE EDGE TRANSPARENCY (MULTI) .....	59
7-2-2-15. TITLE POSITION (MULTI) .....	60
7-2-2-16. TIME CODE ENABLE (MULTI) .....	61
7-2-2-17. TIME CODE SIZE (MULTI) .....	62
7-2-2-18. TIME CODE POSITION (MULTI) .....	63
7-2-2-19. AUD LVL METER ENABLE (MULTI) .....	64
7-2-2-20. AUD LVL METER WIDTH (MULTI) .....	65
7-2-2-21. AUD LVL METER DISP FORM (MULTI) .....	66
7-2-2-22. AUD LVL METER ORDER (MULTI) .....	67
7-2-2-23. AUD LVL METER START CH1/2 (MULTI) .....	68
7-2-2-24. TALLY ENABLE (MULTI) .....	69
7-2-3. TITLE TEXT .....	70
7-2-3-1. SOURCE 1~4 (TITLE TEXT) .....	71
7-3. SYSTEM .....	72
7-3-1. VIDEO SETUP 1/2~2/2 (SYSTEM) .....	73
7-3-1-1. BACK COLOR (SYSTEM - VIDEO) .....	74
7-3-1-2. CROP SETUP (SYSTEM - VIDEO) .....	75
7-3-1-3. TC DETECT FORMAT (SYSTEM - VIDEO) .....	76
7-3-1-4. TALLY SETUP (SYSTEM - VIDEO) .....	77
7-3-2. AUDIO SETUP (SYSTEM) .....	78
7-3-3. INPUT (SYSTEM) .....	79
7-3-4. FS MODE (SYSTEM) .....	81
7-4. LOSS .....	82
7-5. VERSION .....	83
7-6. AUDIO SETTING .....	84
7-7. INTERFACE OPTION .....	85
7-7-1. DATE/TIME (INTERFACE OPTION) .....	86
7-7-1-1. FULL / MULTI CH SCREEN (DATE/TIME) .....	87
7-7-1-2. SET (DATE/TIME) .....	88
7-7-2. LAN (INTERFACE OPTION) .....	89
7-7-3. GPI (INTERFACE OPTION) .....	90
7-7-4. GENLOCK (INTERFACE OPTION) .....	91
8. RS-232C インターフェース .....	92
8-1. RS-232C コネクタ .....	92
8-2. RS-232C コネクタ接続例 .....	93
9. LAN インターフェース ※MV-42IF/IFA オプション .....	94

9-1. LAN インターフェースの通信仕様 .....	94
9-2. LAN インターフェースでの注意事項 .....	95
10. コマンドプロトコルのフォーマット .....	96
10-1. RS-232C / LAN コマンド .....	96
10-2. 設定コマンドの応答メッセージ .....	97
10-3. 本体制御・状態要求コマンド .....	98
10-3-1. 1 画面表示 (SDF) .....	98
10-3-2. 分割画面表示 (SDS) .....	98
10-3-3. 自動切換え開始 (SDA) .....	98
10-3-4. 出力画面状態要求 (RDP) .....	99
10-3-5. アラームリセット (SVR) .....	99
10-3-6. ビデオソーステキスト設定 (STI) .....	99
10-3-7. ビデオソーステキスト設定要求 (RTI) .....	100
10-3-8. 本体制御設定保存 (SBK) .....	100
10-3-9. ター制御(STO) .....	100
10-3-10. 内部時計設定(SDT/RDT)※MV-42IF/IFA オプション実装時 .....	101
10-3-11. オーディオエンベッド設定(SAP/RAP) .....	101
10-3-12. オーディオ出力モード選択(SAZ/RAZ) .....	102
10-3-13. オーディオソース選択(Adaptive) (SCA/RCA) .....	102
10-3-14. オーディオソース選択(Fixed) (SCC/RCC) .....	103
10-3-15. オーディオテスト信号出力設定(SCB/RCB) .....	103
10-3-16. オーディオ出力ミュート設定(SAK/RAK) .....	104
10-3-17. ビデオソースアサイン切替(SCV/RCV) .....	104
11. 故障かなと思ったときに .....	105
12. 仕様および外観図 .....	106
12-1. 仕様 .....	106
12-2. 外観図 .....	109
12-2-1. ラック実装時外観図 .....	110

# 1. 概要および特長

---

## 1-1. 概要

---

マルチビューワーMV-42HSA は 4 入力（3G-SDI、HD-SDI、SD-SDI、アナログコンポジット信号※）をそれぞれ拡大、縮小して同一画面上に表示する 4 分割表示装置です。オーディオ信号の有無確認用に、各 SDI 信号のエンベデッドオーディオレベルをバーメーターで表示することができます。また、MV-42IF/IFA オプションを実装することで、GPI や LAN による外部制御も可能です。

3G-SDI、HD-SDI、SD-SDI、アナログコンポジット信号が混在したシステムでの映像の確認用途に最適な装置です。

※アナログコンポジット入力は MV-42AI オプションによる拡張機能です。

## 1-2. 特長

---

- 3G-SDI、HD-SDI、SD-SDI、アナログコンポジット（MV-42AI オプション実装時）信号の混在入力、非同期入力に対応
- 各 3G-SDI、HD-SDI、SD-SDI 入力のエンベデッドオーディオレベルメーター表示（最大 8ch）
- HD-SDI エンベデッドオーディオ出力に対応（16 ch）
- HD-SDI および DVI-D（1920x1080 または 1280x720）の高精細出力
- 入力信号ロスを知るビデオロス検知機能
- 3G-SDI/HD-SDI/SD-SDI 入力のアンシラリータイムコード(ATC)表示機能
- 各入力映像への最大 16 文字のタイトル表示機能（漢字、カナ、英数字、記号）
- RS-232C/LAN（MV-42IF/IFA オプション実装時）インターフェースによるリモート制御およびタイトル設定
- GPI によるリモート制御およびタリー入力（MV-42IF/IFA オプション実装時）
- RS-232C/LAN/GPI からのタリー入力による各チャンネルのフレーム表示
- 日時表示機能（MV-42IF/IFA オプション実装時）
- 外部同期信号と HD-SDI/DVI-D 出力のゲンロック機能（MV-42IF/IFA オプション実装時）

## 1-3. この取扱説明書について

---

この取扱説明書では以下の表記法を使用しています

- □で囲った文字（**MATT**など）はオペレーションパネルのボタンをあらわします。
- 網掛け文字（ON など）はメニュー内の項目および設定値を表します。
- かぎカッコで囲んだ文字（[SETUP]など）はメニューを表します。

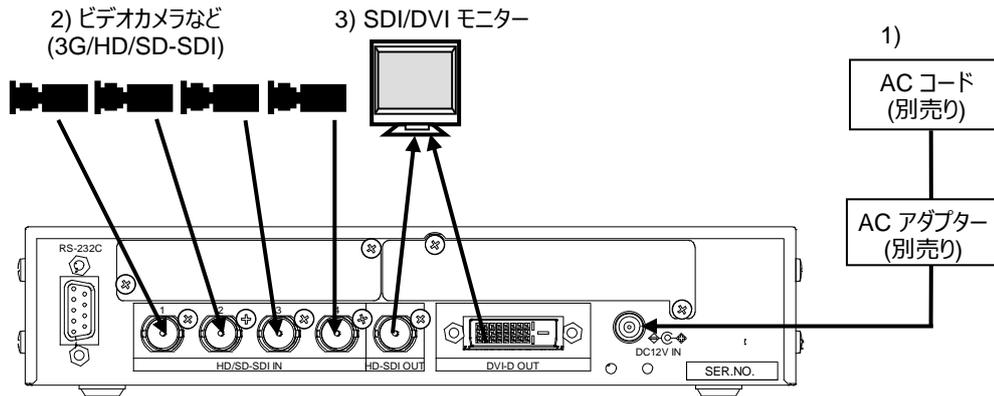
## 2. 接続

この章では MV-42HSA マルチビューワーの基本的な接続の手順を説明します。

### 注意

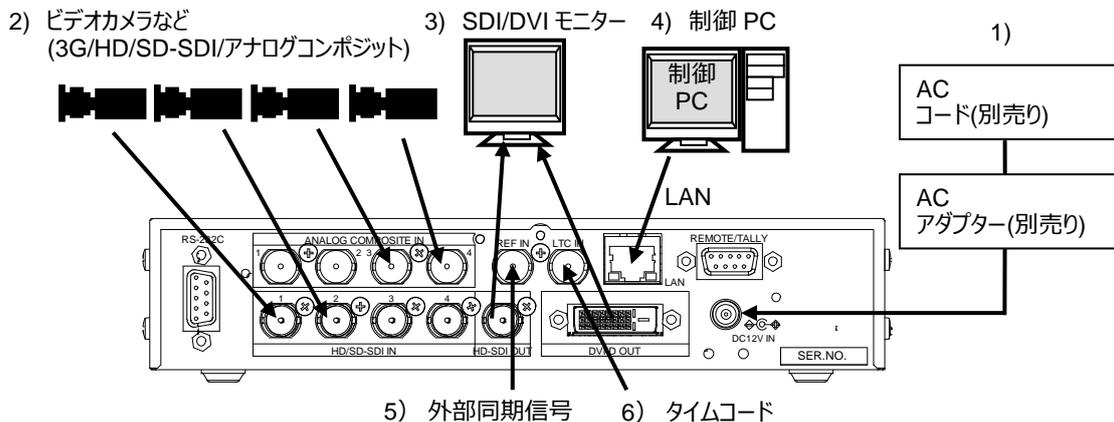
SDIモニターまたはDVIモニターは、1920 x 1080 (59.94 or 50)のインターレース信号もしくは、1280 x 720 (59.94 or 50) のプログレッシブ信号の受けられるものを用意してください。

### 2-1. 基本の接続



- 1) MV-42HSA に AC アダプターで電源を供給してください。
- 2) ビデオカメラなどの入力信号を HD/SD-SDI IN コネクターに接続してください。
- 3) SDI モニターまたは DVI モニターを接続します。

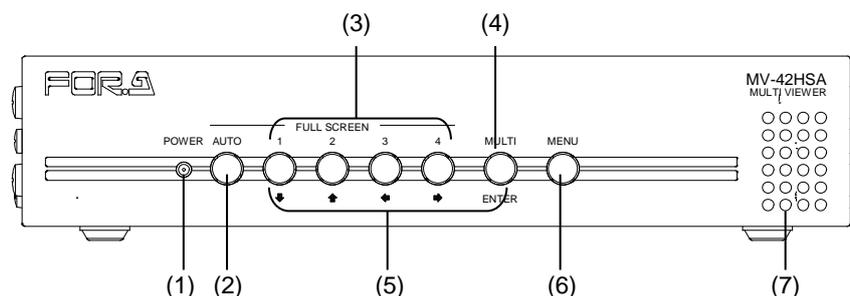
### 2-2. MV-42AI / IF / IFA オプション実装時の接続



- 1) MV-42HSA に AC アダプターで電源を供給してください。
- 2) ビデオカメラなどの入力信号を HD/SD-SDI IN、ANALOG COMPOSITE IN コネクターに接続してください。
- 3) SDI モニターまたは DVI モニターを接続します。
- 4) リモート制御に使用する PC の LAN コネクターと LAN ケーブルで接続します。  
\* PC と MV-42HSA を直結する場合はクロス、ハブを介して接続する場合は、ストレートの LAN ケーブルを使用してください。
- 5) BB 信号または 3 値シンクを入力してください。
- 6) 時刻表示に使用するタイムコードを入力してください

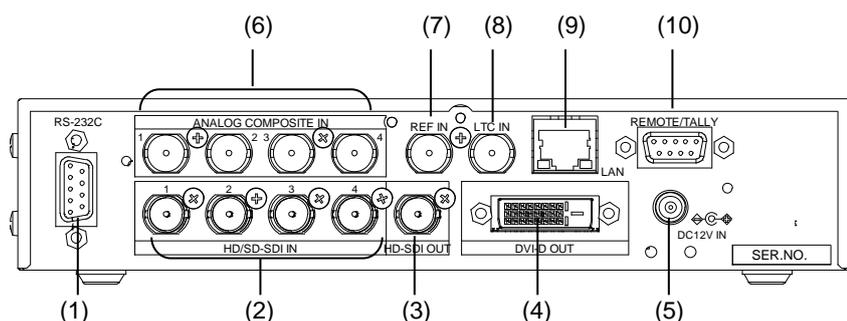
### 3. 各部の名称と機能

#### 3-1. 前面パネル



番号	名称	説明
(1)	POWER LED	電源を入れると、POWER ランプが緑に点灯します。 背面の DC12V IN に電源を接続すると電源が入ります。 アラーム時には点滅します。
(2)	AUTO ボタン	AUTO ボタンを押すとチャンネル 1～4 の映像を切替えて順番に 1 画面表示します。 画面自動切替えの設定の詳細については「7-3-1. VIDEO SETUP 1/2～2/2 (SYSTEM)」を参照してください。
(3)	1～4 (1 画面表示) ボタン	入力映像選択ボタンです。各番号のチャンネルの信号を 1 画面表示します。
(4)	MULTI ボタン	分割画面表示に切替えます。
(5)	↓ ↑ ← → ENTER ボタン	メニュー画面での操作、設定時に使用します。
(6)	MENU ボタン	メニュー画面を表示します。 メニュー画面表示中はサブ画面からメイン画面に戻る、またはメニュー画面を解除する場合に使用します。 ※メニュー画面を表示するときは、通常動作中に MENU ボタンを約 2 秒長押しします。
(7)	通風孔 (前面、側面)	放熱用ファンの吸排気口です。吸排気口を塞がないようにしてください。

## 3-2. 背面パネル



MV-42HSA

番号	名称	説明
(1)	RS-232C	タイトル設定/リモート制御用の RS-232C コネクターです。 ※詳細は「8. RS-232C インターフェース」参照
(2)	HD/SD-SDI IN 1~4	3G/HD/SD-SDI 信号を入力します。(自動認識)
(3)	HD-SDI OUT	HD-SDI 信号を出力します。 1 画面または分割画面が出力されます。
(4)	DVI-D OUT	DVI-D 信号を出力します。 HD-SDI 信号と同じ画面が出力されます。
(5)	DC12V IN	AC アダプター (別売り) を使用して電源を入力します。

MV-42AI オプション ※未実装時はブランクパネル

番号	名称	説明
(6)	ANALOG COMPOSITE IN 1~4	アナログコンポジット信号 (NTSC または PAL) を入力します。

MV-42IF/IFA オプション ※未実装時はブランクパネル

番号	名称	説明
(7)	REF IN	外部同期信号を入力します。 HD-SDI 出力信号を同期させる場合に使用します。 ※詳細は「3-2-1. REF IN (外部同期信号) 対応 ※MV-42IF/IFA オプション」参照
(8)	LTC IN	タイムコードを入力します。 日時表示機能をタイムコードに同期させる場合に使用します。(ただし、同期できるのは時刻のみ)
(9)	LAN	タイトル設定/リモート制御用の LAN (Ethernet) コネクターです。 ※詳細は「9. LAN インターフェース ※MV-42IF/IFA オプション」参照
(10)	REMOTE/TALLY	GPI として各チャンネルへのタリー入力 (赤、緑の 2 色) や、リモート制御に使用します。 ※詳細は「5. GPI 制御 ※MV-42IF/IFA オプション」参照

### 注意

- HD-SDI OUT と DVI-D OUT は同じ映像を出力します。ただし、DVI 出力モードによって出力レベルが変わります。詳細は「6-9-2. DVI 出力モード」を参照してください。
- 入出力ビデオ間のフレームレートコンバーター機能はありません。入出力ビデオ間のフレームレートの差により、同じフレームを 2 回出力する場合や、フレームを飛ばす場合があります。
- SDI モニターまたは DVI モニターは、1920 x 1080 (59.94 or 50) のインターレース信号もしくは、1280 x 720 (59.94 or 50) のプログレッシブ信号の受けられるものを用意してください。

### 3-2-1. REF IN (外部同期信号) 対応 ※MV-42IF/IFA オプション

MV-42HSA の出力フォーマットと外部同期信号の対応一覧を下表に示します。外部同期信号が入っていない場合、もしくは、対応していない同期信号が入力されている場合は、フリーラン動作します。

○：ロック可能    ×：ロック不可

REF/OUTPUT	1080/59.94i	1080/50i	720/59.94p	720/50p
B.B.(NTSC)	○	×	○	×
TRI (1080/59.94i)	○	×	○	×
TRI (720/59.94p)	○	×	○	×
B.B.(PAL)	×	○	×	○
TRI (1080/50i)	×	○	×	○
TRI (720/50p)	×	○	×	○

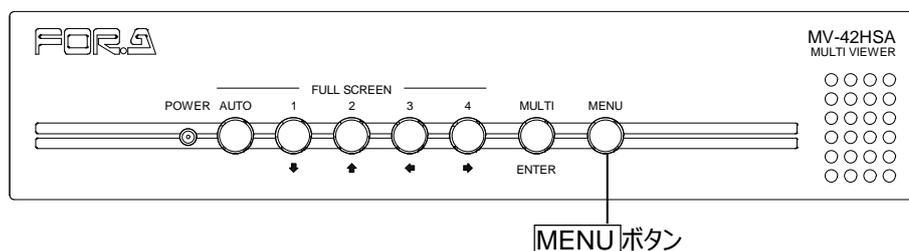
## 4. 操作方法

### 4-1. 電源投入時の動作

電源投入後は、電源 OFF 前の画面状態で動作を開始します。  
ただし、メニュー画面表示中に電源を OFF にした場合には、メニュー画面になる前の状態で動作を開始します。

### 4-2. データの初期化

通常の操作では必要ありませんが、設置場所を移動したときや、システム変更したときなど、以前の設定データが不要になった場合には、データの初期化操作によって MV-42HSA を出荷時の初期状態に戻すことができます。  
MENU ボタンを押しながら電源を ON にすると、モニター画面上に MEMORY CLEAR の文字が表示され、データが初期化されます。

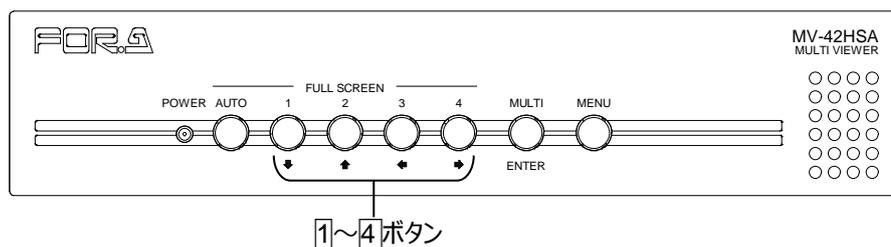


#### 注意

出力フォーマットは 1080/59.94i になります。

### 4-3. 出力フォーマット変更

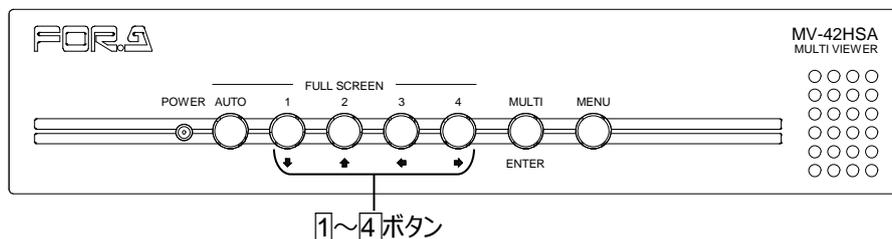
1~4のいずれかのボタンを押しながら電源を ON にすると、各ボタンに対応した出力フォーマットで出力され、モニター画面上に出力フォーマットの情報が表示され、以降の起動時は、設定した出力フォーマットで出力します。  
初めてモニターに接続したときや、モニターを変更したときなどで、モニターが現在の出力フォーマットに対応していないために映像が出力されない場合、出力フォーマットを切り替えて確認することができます。尚、工場出荷時設定では 1080/59.94i です。



ボタン	出力解像度	モニター表示
1	1080/59.94i	1080/59.94i OUTPUT
2	1080/50i	1080/50i OUTPUT
3	720/59.94p	720/59.94p OUTPUT
4	720/50p	720/50p OUTPUT

## 4-4. 1 画面を表示する

チャンネルを 1 画面映像で表示するときには、**1**～**4**のいずれかのボタンを押します。  
例えば、チャンネル 3 の映像が見たいときには **3** を押して映像を表示します。

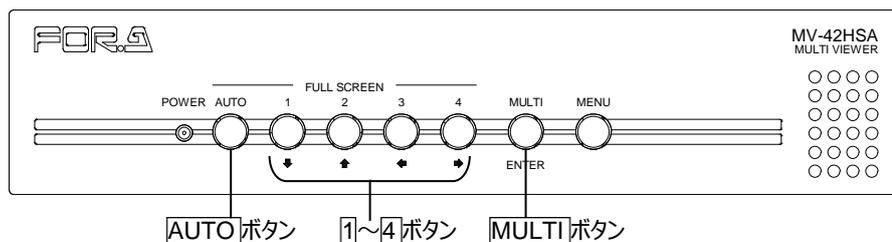


### 注意

入力信号のないチャンネルは、黒画面を表示します。

## 4-5. 1 画面を自動で切替える

**AUTO** ボタンを押すと自動的にチャンネル 1～4 の映像を切替えて順番に 1 画面表示します。  
入力のないチャンネルは飛び越し、次のチャンネルを表示します。  
**1**～**4** ボタンまたは **MULTI** ボタンを押すと自動切替え動作を終了します。

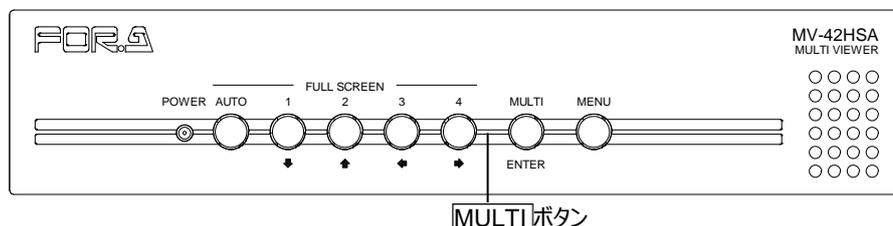


### 注意

映像の切替え時間の設定はメニュー画面の[AUTO SEQUENCE TIME]により行います。詳細は「7-3-1. VIDEO SETUP 1/2～2/2 (SYSTEM)」を参照してください。

## 4-6. 分割画面を表示する

分割画面を表示する場合、**MULTI** ボタンを押します。

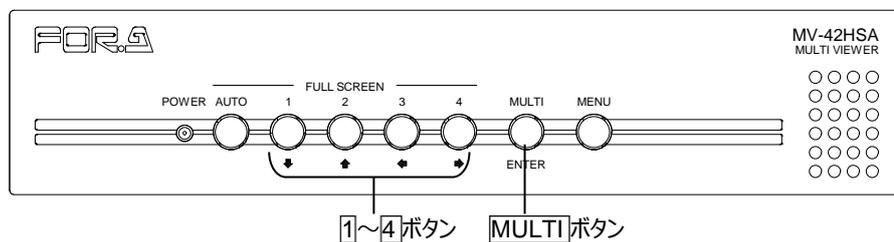


### 注意

入力信号のないチャンネルは、黒画面を表示します。  
分割画面の分割形式は H2(左右 2 分割) / QUAD(4 分割) / 4K(ダウンコンバート表示)から選択することができます。画面表示例は「6-2. 画面表示例」、設定方法は「7-2-2-1. MULTI CH SCREEN SETUP 1/8～8/8」、「10-3-2. 分割画面表示 (SDS)」を参照してください。

## 4-7. MULTI 画面のオーディオソースを切替える

映像表示が MULTI 画面で、オーディオの OUTPUT MODE が ADAPTIVE に設定されている場合、前面の **MULTI** ボタンを押しながら、**1**～**4** ボタンを押すと、出力 SDI にエンベデッドされるオーディオソースを変更することができます。

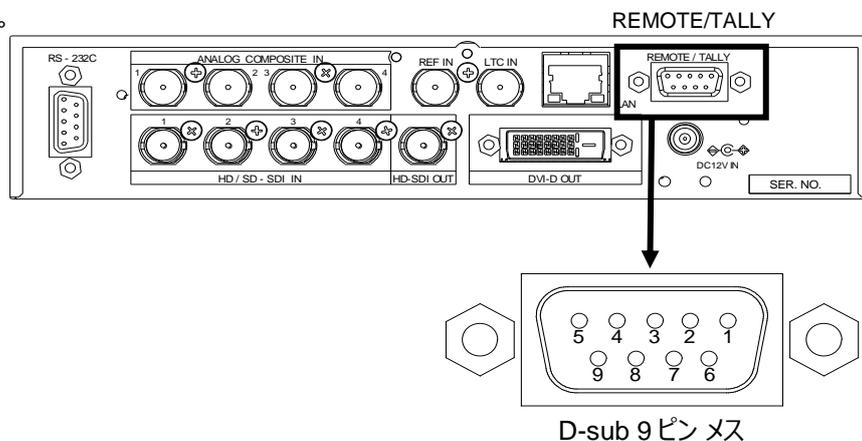


### 注意

この変更でメニューの設定も変更され、保存されます。

## 5. GPI 制御 ※MV-42IF/IFA オプション

MV-42HSA は、MV-42IF/IFA オプションを実装することにより、背面 REMOTE/TALLY コネクターからの接点入力によって、最大 8 入力を画面切替制御、タリー入力、内部時計補正、アラームリセットとして使用できます。タリー入力の場合、外部からのタリー入力により 2 種類(赤、緑)のフレームを表示することができます。各ピン毎に機能を割り当てることができます。詳しい設定方法は「7-7-3. GPI (INTERFACE OPTION)」を参照してください。



### ◆ 機能割り当て一覧表

機能	仕様
1 画面自動切換え	負論理パルス
入力 1~4 の 1 画面表示	負論理パルス
分割画面表示	負論理パルス
赤タリー入力 CH1~4	負論理レベル
緑タリー入力 CH1~4	負論理レベル
内部時計補正入力	負論理パルス
アラームリセット入力	負論理パルス

### ◆ コネクター端子配列表 (D-sub 9ピン メスコネクター インチネジ)

ピン番号	機能	工場出荷時の設定
1	入力 1	1 画面自動切換え
2	入力 2	入力 1 の 1 画面表示
3	入力 3	入力 2 の 1 画面表示
4	入力 4	入力 3 の 1 画面表示
5	入力 5	入力 4 の 1 画面表示
6	入力 6	分割画面を表示
7	入力 7	ADJ_IN(内部時計補正入力)を入力
8	入力 8	アラームリセットを入力
9	GND	

適合コネクター : DE-9PF-N (JAE)

カバー : DE-C8-J9-F※-1R(JAE)

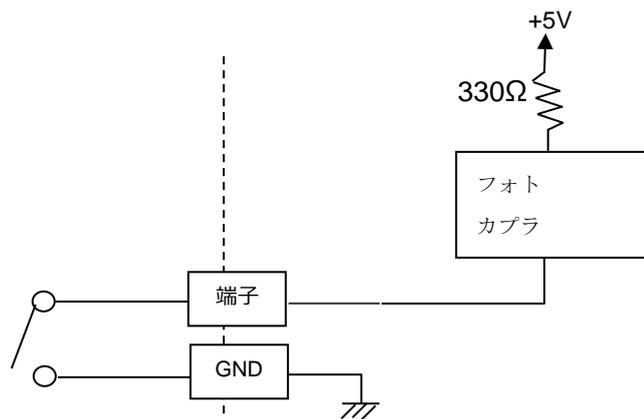
信号規格 : タリー入力時 ⇒ メイク接点、または負論理レベル信号  
 その他 ⇒ メイク接点、または負論理パルス信号

### 注意

GPI 制御を行う場合は、MV-42IF/IFA オプションを実装する必要があります。  
 入力信号のパルス幅は 100ms 以上必要です。また、画面の切換え中に入力された信号は無効となります。画面の切換えが終わってから信号を入力してください。

### 【入力端子】

各入力端子における MV-42HSA 側の回路は、次のとおりです。



## 5-1. 画面自動切換え (AUTO)

外部からのパルス信号の立下り(パルス幅 100ms 以上)によって、1 画面自動切換え動作を行います。

## 5-2. 入力 1~4 の 1 画面表示 (FULL1~4)

外部からのパルス信号の立下り(パルス幅 100ms 以上)によって、入力 1~4 の映像を 1 画面表示します。

## 5-3. 分割画面表示 (MULTI)

外部からのパルス信号の立下り(パルス幅 100ms 以上)によって、分割画面を表示します。

## 5-4. 赤/緑タリーの入力 (TALLY-R/G1~4)

外部からの負論理レベル信号によって、入力チャンネルに対して赤/緑タリー(フレーム)表示を行います。

※赤/緑同時入力の場合に赤表示またはアンバー表示を選択することができます。

設定は「7-3-1-4. TALLY SETUP (SYSTEM - VIDEO)」を参照してください。

## 5-5. 内部時計補正入力 (ADJUST IN)

外部からのパルス信号の立下り(パルス幅 100ms 以上)によって、次のように内部時計が補正されます。

秒表示が 1 秒~29 秒 → 秒表示を 0 秒に補正する

秒表示が 30 秒~59 秒 → 秒表示を 0 秒に補正し、分単位を 1 つ進める

## 5-6. アラームリセット (ALARM RESET)

外部からのパルス信号の立下り(パルス幅 100ms 以上)によって、ビデオロスアラーム出力をリセットします。

### 注意

[LOSS RESET]を NONE に設定している場合はリセットされません。

アラームリセットを有効にする場合は、「7-4. LOSS」を参照し、設定してください。

## 6. 表示画面

### 6-1. 画面表示モード

画面表示モード設定により次の 3 種類の表示方法から選択できます。1 画面表示／分割画面表示はそれぞれ、メニュー画面の[DISPLAY MODE]で設定します。分割画面表示では、WINDOW ごとに違うモードで表示することができます。

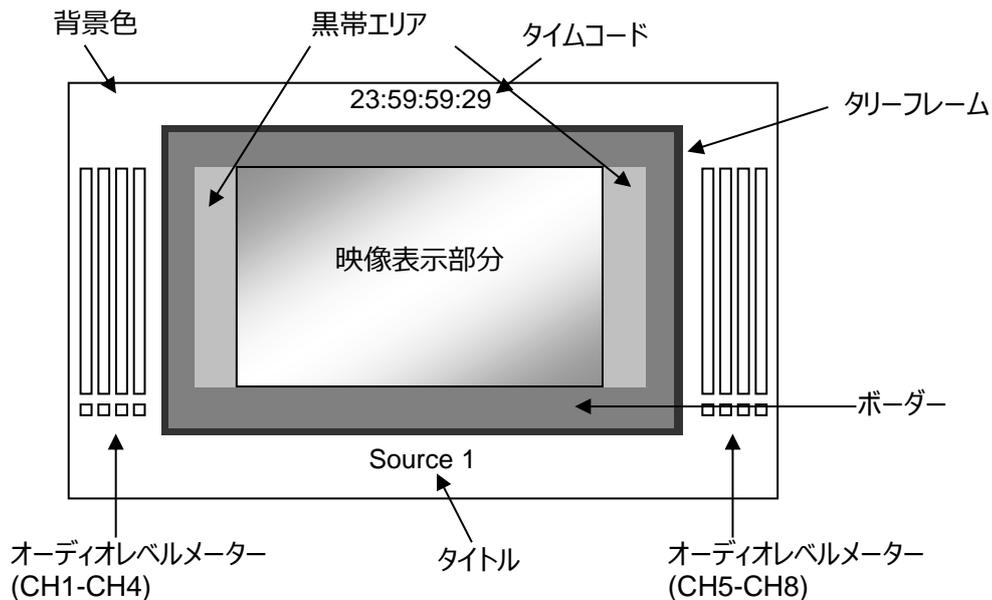
詳細は「7-2-1-1. FULL SCREEN SETUP 1/8 ～ 8/8」「7-2-2-3. DISPLAY MODE (MULTI)」を参照してください。

	ボーダーまたはタリー-のどちらかが ON の場合、黒帯エリアが表示されます。両方とも OFF の場合は、表示されません。黒帯エリアの設定は、ボーダーカラー設定値または輝度 0% (黒)～100% (白)設定で変更することができます。黒帯エリアを表示することで、ビデオウィンドウに対して入力信号のアスペクト比が分かり易くなります。黒帯エリアについては「7-3-1.VIDEO SETUP 1/2～2/2 (SYSTEM)」を参照してください。
---	--

#### <ASPECT 1 の場合>

映像にタイトル、オーディオレベルメーター、タイムコードが重ならないように表示します。映像表示部分のアスペクト比は入力信号のアスペクト比を維持します。

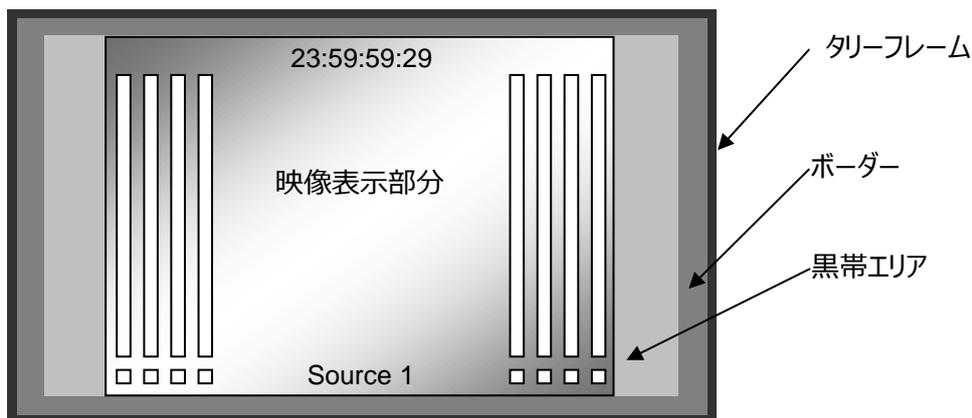
タイトル、オーディオレベルメーター、タイムコード表示を OFF、またはサイズを小さくすると映像表示部分が大きくなります。映像表示部分を大きくするためタイトル表示を OFF にする場合は、タイトル表示領域はビデオロス表示も兼ねているため、ビデオロス検出も OFF にしてください。



ASPECT 1 で 4 : 3 の映像を表示した場合

### <ASPECT 2 の場合>

映像にタイトル、オーディオレベルメーター、タイムコードを重ねて表示します。映像表示部分のアスペクト比は入力信号のアスペクト比を維持します。



ASPECT 2 で 4 : 3 の映像を表示した場合

### <FIT SCREEN の場合>

入力信号のアスペクト比を維持せずに、映像をウィンドウサイズいっぱいに表示します。タイトル、オーディオレベルメーター、タイムコードは映像表示部分に重なって表示されます。



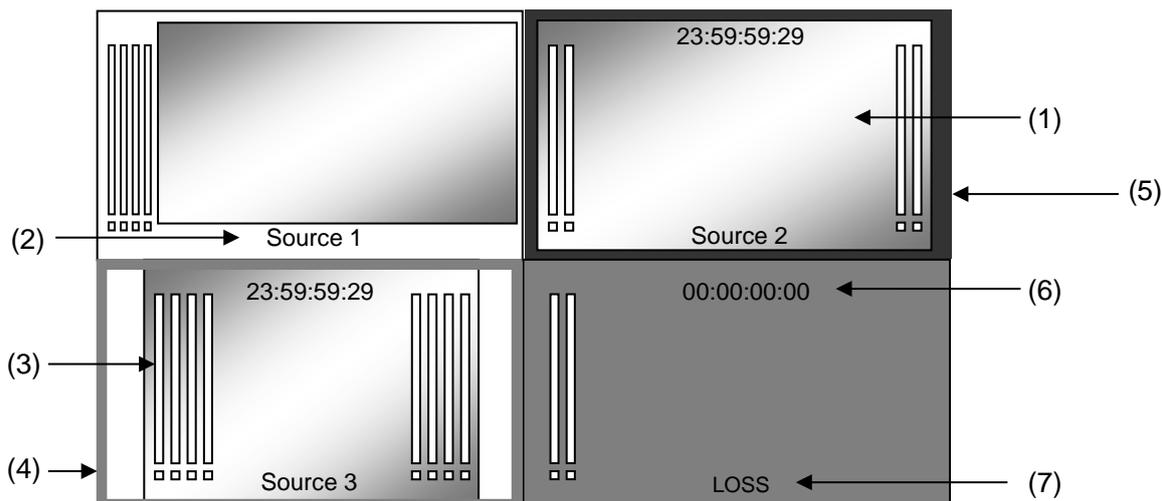
4K ダウンコンバート表示の場合は、FIT SCREEN で表示されます。  
4K ダウンコンバート表示に関する詳細は「6-10. 4K ダウンコンバート表示」を参照してください。

## 6-2. 画面表示例

### 6-2-1. 4 分割表示 (QUAD)

WINDOW 1~4 の画面が以下の設定のとき、画面表示は下図のようになります。

	入力映像	DISPLAY MODE	AUD LVL	TC	タリ-
WINDOW 1	16:9	ASPECT 1	4	OFF	OFF
WINDOW 2	4:3	FIT SCREEN	2+2	ON	ON
WINDOW 3	4:3	ASPECT 2	4+4	ON	OFF
WINDOW 4	なし	FIT SCREEN	2	ON	OFF

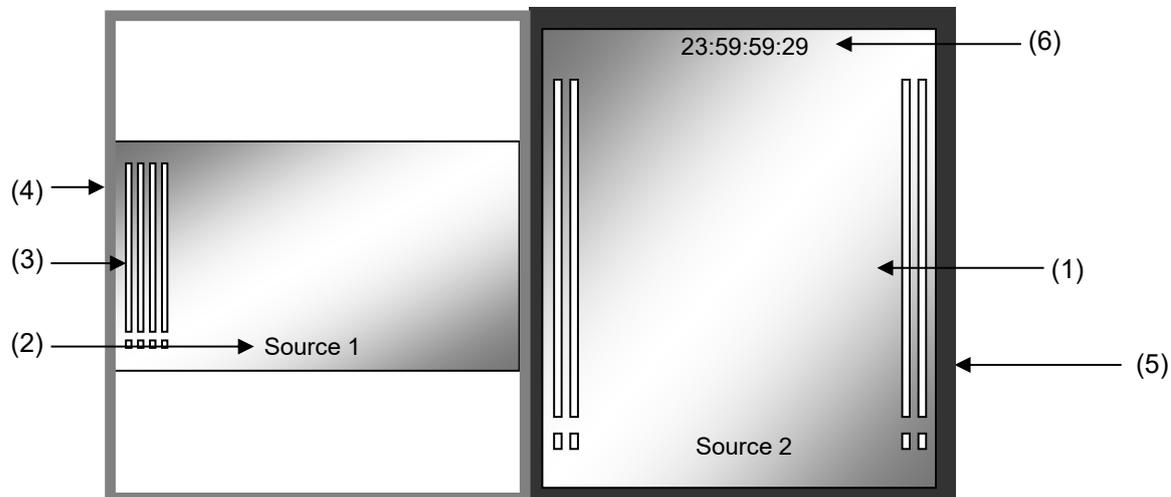


番号	名称	説明	参照	
			1 画面	分割画面
(1)	映像表示 ウィンドウ	各入力信号の映像表示ウィンドウです。ウィンドウ内の表示方法は、画面表示モードの設定により異なります。	7-2-1-1	7-2-2-3
(2)	タイトル	各入力信号のタイトルを表示します。		7-2-2-8~ 7-2-2-15
(3)	オーディオ レベルメーター	各入力信号のオーディオレベルを表示します。		7-2-2-19 ~ 7-2-2-23
(4)	ボーダー	ウィンドウにボーダーを表示します。		7-2-2-5~ 7-2-2-7
(5)	タリ-	各入力信号のタリフレームを表示します。		7-2-2-24, 7-3-1-4
(6)	タイムコード	各 SDI 入力信号のアンシラリータイムコード(ATC)を表示します。		7-2-2-16 ~ 7-2-2-18
(7)	ビデオロス	入力信号が無くなった場合にビデオロス表示を行います。 ※ビデオロス表示はタイトル表示に代わり表示されます。 ビデオロス表示終了後、タイトル表示に戻ります。	7-4	

## 6-2-2. 左右 2 分割表示 (H2)

WINDOW 1、2 の画面が以下の設定のとき、画面表示は下図のようになります。

	入力映像	DISPLAY MODE	AUD LVL	TC	タリ-
WINDOW 1	16:9	ASPECT 2	4	OFF	OFF
WINDOW 2	4:3	FIT SCREEN	2+2	ON	ON



番号	名称	説明	参照	
			1 画面	分割画面
(1)	映像表示 ウィンドウ	各入力信号の映像表示ウィンドウです。ウィンドウ内の表示方法は、画面表示モードの設定により異なります。	7-2-1-1	7-2-2-3
(2)	タイトル	各入力信号のタイトルを表示します。		7-2-2-8～ 7-2-2-15
(3)	オーディオ レベルメーター	各入力信号のオーディオレベルを表示します。		7-2-2-19 ～ 7-2-2-23
(4)	ボーダー	ウィンドウにボーダーを表示します。		7-2-2-5～ 7-2-2-7
(5)	タリ-	各入力信号のタリ-フレームを表示します。		7-2-2-24, 7-3-1-4
(6)	タイムコード	各 SDI 入力信号のアンシラリータイムコード(ATC)を表示します。		7-2-2-16 ～ 7-2-2-18

## 6-3. 日時表示 ※MV-42IF/IFA オプション

MV-42IF/IFA オプションを実装した場合に、日時を表示することができます。

### 6-3-1. 日付設定

日付の表示方法を設定します。この設定は 1 画面、分割画面共通です。

設定は「7-7-1-2. SET (DATE/TIME)」を参照してください。

<表示例：2012 年 1 月 23 日 13 時 23 分 54 秒の場合>

DATE FORMAT	表示例
YMD	12/01/23 13:23:54
MDY	01/23/12 13:23:54
DMY	23/01/12 13:23:54

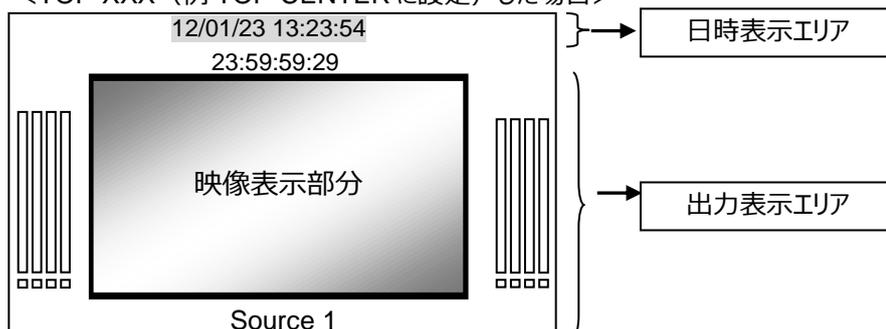
### 6-3-2. 日時表示

日付および時刻表示のどちらかを ON に設定した場合は表示位置の設定に応じて、出力画面の上部もしくは下部の領域（日時表示エリア）に表示されます。

日時の表示は 1 画面表示と分割画面表示で別々に設定を行います。

※1 画面/分割画面表示の設定は「7-7-1-1. FULL / MULTI CH SCREEN (DATE/TIME)」を参照してください。

<TOP-XXX（例 TOP-CENTER に設定）した場合>



<BOTTOM-XXX（例 BOTTM-RIGHT に設定）した場合>



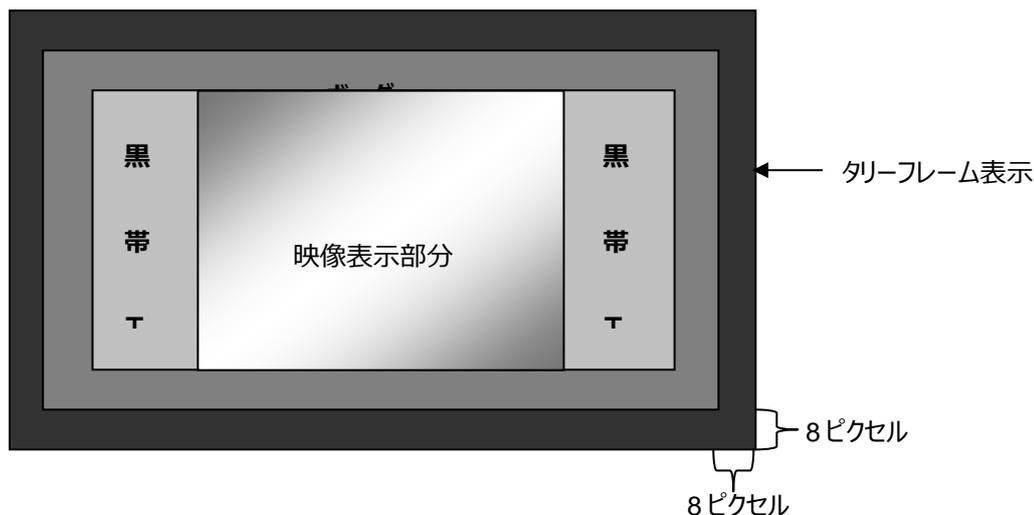
- ・ 日時表示した場合、映像表示部分が小さくなります。映像表示部分を大きく保ちたい場合は、日時表示を OFF に設定してください。
- ・ 日付表示は内部時計のみ、時刻表示は内部時計、LTC から選択可能です。日付表示と時刻表示を別々に設定した場合は、同期して動作しません。
- ・ 4K ダウンコンバート表示の場合は、表示: OFF となります。4K ダウンコンバート表示に関する詳細は「6-10. 4K ダウンコンバート表示」を参照してください。

## 6-4. タリー

タリー検出を ON に設定し、タリー機能を使用することができます。  
設定は「7-3-1-4. TALLY SETUP (SYSTEM - VIDEO)」を参照してください。

### 6-4-1. タリー表示

タリー検出とタリー表示が ON の場合、ボーダーの外側に上下左右 8 ピクセル分のタリーフレームが表示されます。タリー表示 ON/OFF は 1 画面表示と分割画面表示で別々に設定を行います。1 画面表示の設定は「7-2-1-1. FULL SCREEN SETUP 1/8 ~ 8/8」、分割画面表示の設定は「7-2-2-24. TALLY ENABLE (MULTI)」を参照してください。



#### 注意

タリーフレームが表示されている場合は、タリーフレーム分の領域を確保するため、映像表示部分が小さくなります。また、[DISPLAY MODE]を「ASPECT 1/2」に設定している場合には、黒帯エリアが表示されます。

4K ダウンコンバート表示の場合は、表示:OFF となります。

4K ダウンコンバート表示に関する詳細は「6-10. 4K ダウンコンバート表示」を参照してください。

### 6-4-2. タリー入力方法

タリー入力方法はメニュー画面で選択します。タリー入力方法は(1) GPI、(2) Command の 2 種類から選択することができます。

詳細は「7-3-1-4. TALLY SETUP (SYSTEM - VIDEO)」を参照してください。

#### (1) GPI

外部からのタリー信号を受信します。

タリー入力インターフェースの詳細は「5. GPI 制御 ※MV-42IF/IFA オプション」を参照してください。

緑タリー・赤タリーが同時に入力された場合は、メニュー画面の[SIMULTANEOUS]で設定した色で表示されます。

#### (2) Command

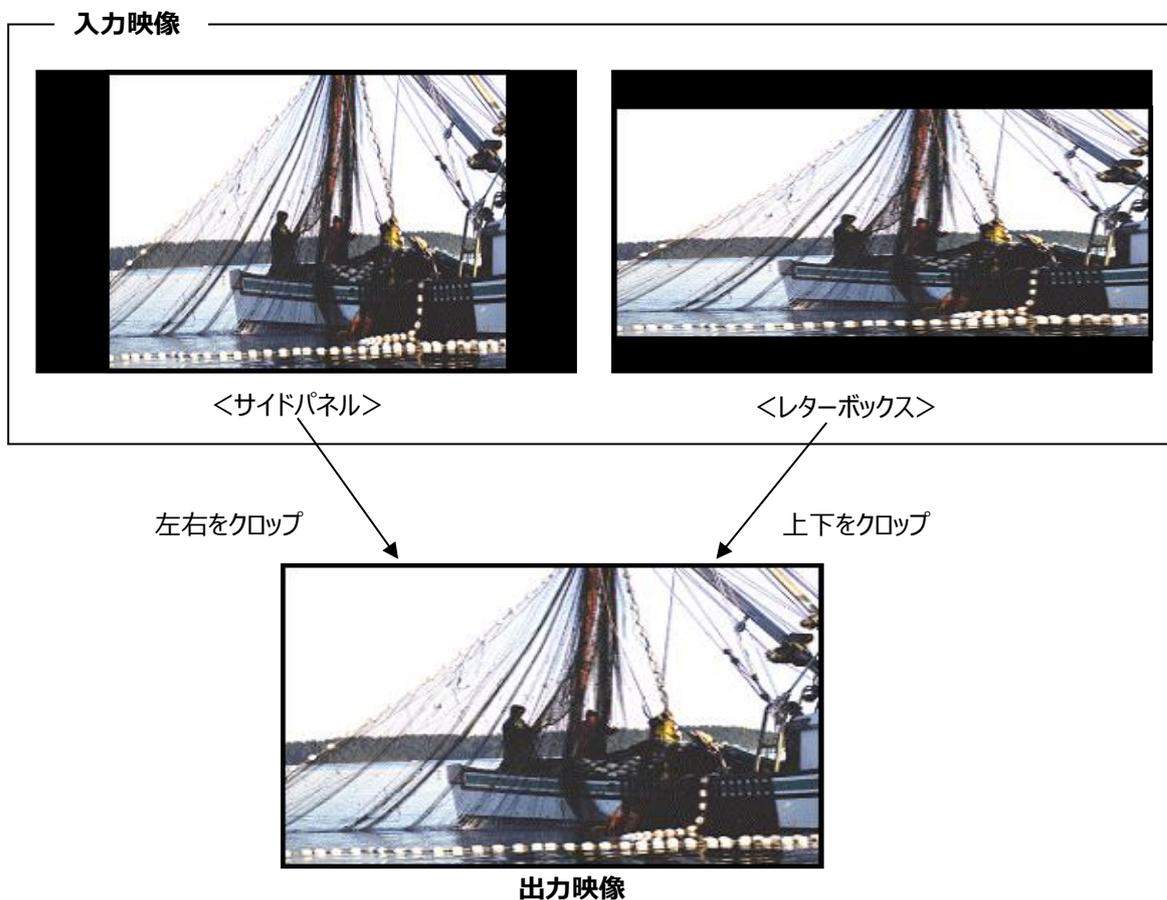
RS-232C インターフェースまたは、LAN インターフェース (MV-42IF/IFA オプション実装時) から、「10-3-9. タリー制御(STO)」のコマンドにより表示します。

## 6-5. クロップ

入力映像内の有効画素領域（映像の存在する範囲）を設定します。4:3 画像と 16:9 画像の変換を行った際に生じる黒味等を軽減し、出力映像いっぱいに表示することが可能です。

設定は「7-3-1-2. CROP SETUP (SYSTEM - VIDEO)」を参照してください。

また、1 画面、分割画面ごとにクリップの有効／無効の設定が可能です。詳細は「7-2-1-1. FULL SCREEN SETUP 1/8 ～ 8/8」「7-2-2-4. CROP ENABLE (MULTI)」を参照してください。



### 6-5-1. クロップの範囲について

入力されるビデオに対してクロップの値を大きくしていくことで、映像内部の一部分を拡大していくことができます。クロップ範囲(最大値)については、下記条件を満たす必要があります。

**水平方向(ピクセル) :**

入力方向の水平ピクセル数－クロップの水平ピクセル値 $\geq$ 120ピクセル

**垂直方向(ライン) :**

入力方向の垂直ライン数－クロップの垂直ライン値 $\geq$ 80ライン

**注意**

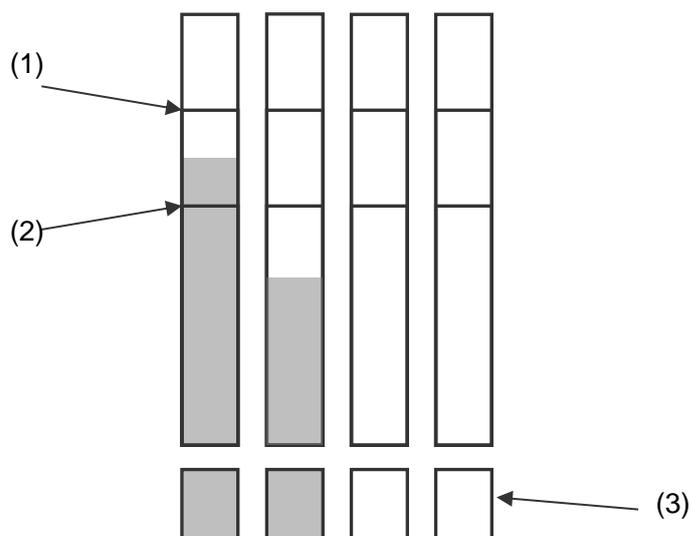
上記最小サイズ(120x80)よりも小さくなるクロップ値は、無効です。値が入力できても設定は反映されません。

4K ダウンコンバート表示の場合は、クロップ機能は OFF となります。

4K ダウンコンバート表示に関する詳細は「6-10. 4K ダウンコンバート表示」を参照してください。

## 6-6. オーディオレベルメーター

3G/HD/SD-SDI 入力信号のエンベデッドオーディオ（8ch）のレベルメーターが表示できます。



- (1) ピークレベル  
-30dBFS ~ 0dBFS の範囲で設定できます。  
ピークレベル以上は赤色で表示されます。
- (2) リファレンスレベル  
-60dBFS ~ -1dBFS の範囲で設定できます。  
リファレンスレベル以上は黄色で表示されます。  
また、リファレンスレベル未満のメーターの色は緑色となります。
- (3) オーディオデータの有無  
オーディオデータの有無を表示します。  
オーディオデータ有りの場合は緑色に、無しの場合は黒色に表示されます。

### 注意

3G-SDI（Level B）の場合、オーディオは Link A のみ対応します。  
Link B は非対応です。  
4K ダウンコンバート表示の場合は、表示: OFF となります。  
4K ダウンコンバート表示に関する詳細は「6-10. 4K ダウンコンバート表示」を参照してください。

## 6-6-1. オーディオレベルメーターの設定

オーディオレベルメーターの表示設定はメニューで行います。

1 画面表示の場合は、**DISPLAY > FULL SCREEN** メニューから、分割画面表示の場合は、**DISPLAY > MULTI CH SCREEN** メニューから設定します。詳細は「7-2-1-1. FULL SCREEN SETUP 1/8 ~ 8/8」および「7-2-2-19. AUD LVL METER ENABLE (MULTI)」~「7-2-2-23. AUD LVL METER START CH1/2 (MULTI)」を参照してください。

1 画面表示も分割画面表示も設定する内容は同じですが、それぞれに設定してください。分割画面表示では WINDOW 毎に異なる設定をすることができます。

ピーク/リファレンスレベルの設定は「7-3-2. AUDIO SETUP (SYSTEM)」を参照してください。

### 1) オーディオレベルメーター表示の ON/OFF を選択

[AUD LVL METER ENABLE]メニューで ON/OFF を選択します。

### 2) オーディオレベルメーターのバーの幅を設定

[AUD LVL METER WIDTH]メニューで 8/12/16 (pixel) からバーの太さを選択します。

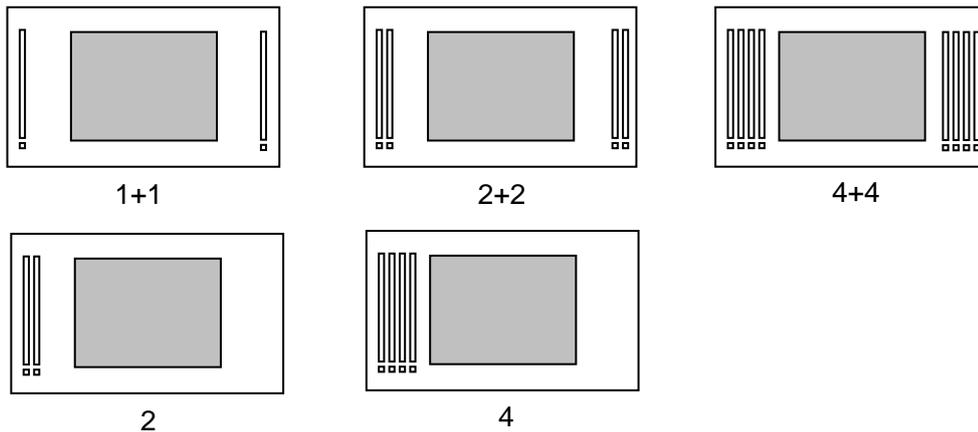
バー1本ずつが選択した太さになります。バーの間隔は変わりません。

### 3) 表示形式を選択

[AUD LVL METER DISP FORM]メニューでは、片側・両側・何本表示するかを選択します。

・「1+1」,「2+2」,「4+4」は左右にオーディオレベルメーターを表示します。

・「2」,「4」は画面の左側にオーディオレベルメーターを表示します。右側には表示されません。

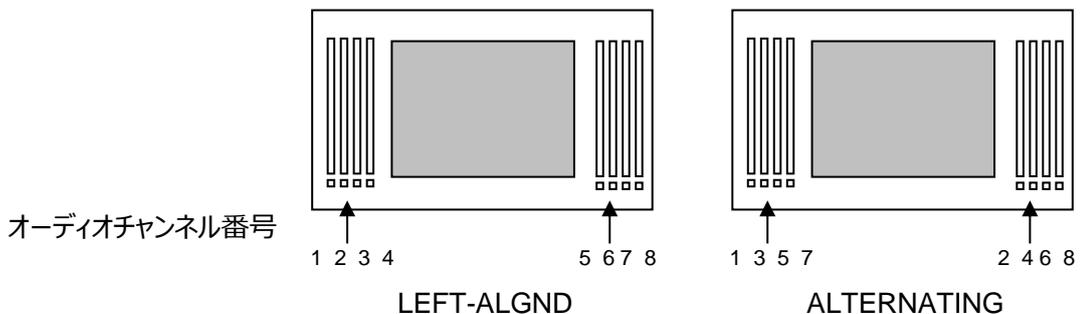


### 4) オーディオチャンネル表示順序を設定

[AUD LVL METER ORDER]メニューでは、オーディオチャンネルの割り当て方を「LEFT-ALGND」, 「ALTERNATING」から選択します。

・「LEFT-ALGND」は画面の左側のバーから順にオーディオチャンネルをアサインします。

・「ALTERNATING」は左側から順に左右交互にオーディオチャンネルをアサインします。



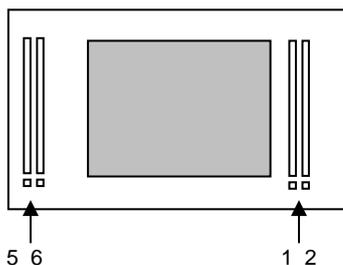
## 5) オーディオチャンネルを選択

[AUD LVL METER START CH1]と[CH2]メニューでは、オーディオレベルメーターを前半と後半に分け、それぞれに表示する最初のオーディオチャンネル番号を選択します。

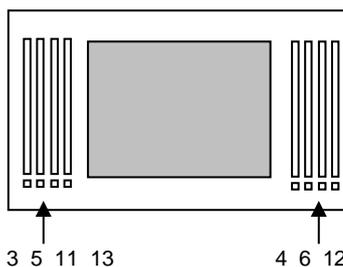
※ どちらも奇数チャンネルのみ設定できます。[AUD LVL METER START CH2]には、NONEも設定することができます。

以下は設定値と画面表示の例です。

- 例 1) AUD LVL METER DISP FORM : 2+2  
AUD LVL METER ORDER : LEFT-ALGND  
AUD LVL METER START CH1 : 5  
AUD LVL METER START CH2 : 1



- 例 2) AUD LVL METER DISP FORM : 4+4  
AUD LVL METER ORDER : ALTERNATING  
AUD LVL METER START CH1 : 3  
AUD LVL METER START CH2 : 11



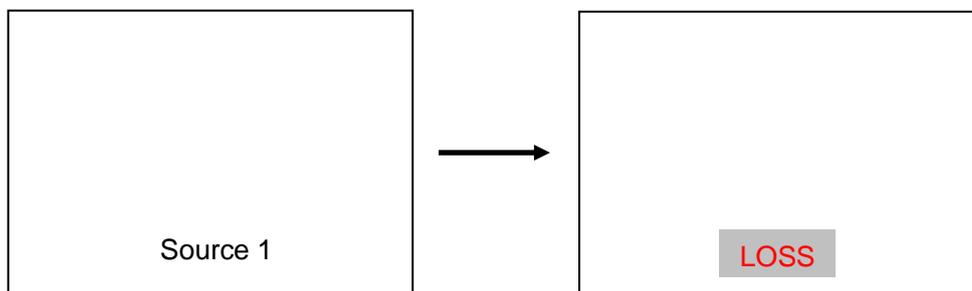
### 注意

表示形式で「2」・「4」を設定した場合は、「AUD LVL METER START CH2」の設定は無効です。また、表示順序の「ALTERNATING」設定も無効です。「LEFT-ALGND」設定時と同様にアサインされます。

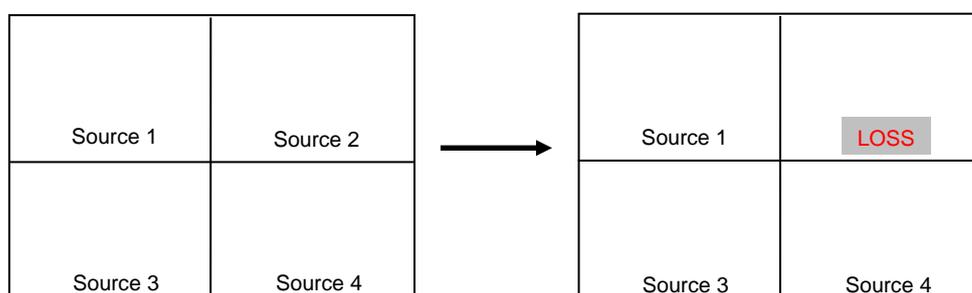
## 6-7. ビデオロス表示

ビデオロスを検知して、タイトル表示領域にビデオロスのアラームを表示することができます。  
設定は「7-4. LOSS」を参照してください。

- ・CH1 がアサインされた WINDOW を 1 画面表示中に、CH1 にてビデオロス検知した場合



- ・分割画面表示中に WINDOW 2 にアサインされたチャンネルにてビデオロスを検知した場合

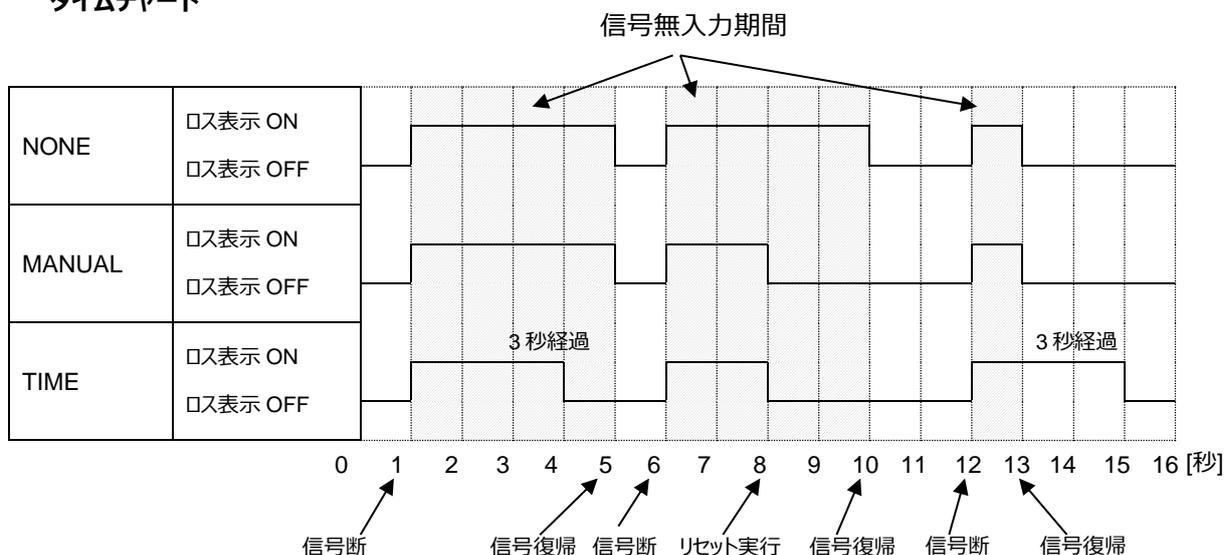


### 6-7-1. ロス表示

ビデオロス表示には、3つの動作モードがあります。

NONE	信号無入力の間ロス表示を行います。リセットを実行してもロス表示を続けます。
MANUAL	信号無入力の間ロス表示を行います。リセットの実行によりロス表示をリセットすることができます。
TIME	信号無入力になると、あらかじめ設定したロス表示時間のみロス表示を行います。ただし、リセットの実行によりロス表示をリセットすることができます。* 信号が復帰しても決められた時間はロス表示します。

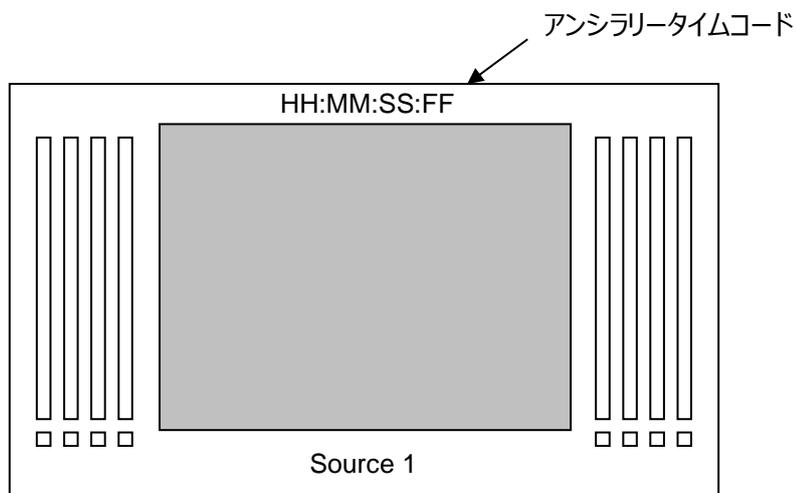
#### タイムチャート



## 6-8. アンシラリータイムコード(ATC)

3G-SDI、HD-SDI、SD-SDI 信号のアンシラリータイムコード(ATC)を表示します。検出方法を LTC、VITC より選択することができます。設定はメニュー画面で行います。

詳細は「7-3-1-3. TC DETECT FORMAT (SYSTEM - VIDEO)」を参照してください。



アンシラリータイムコードは HH(時間)、MM(分)、SS(秒)、FF(フレーム)の順番で表示します。アンシラリータイムコードデータがない場合は 00:00:00:00 を表示します。

### 注意

- DVITC には対応していません。
- LTC IN の入力タイムコードを表示することはできません。
- 4K ダウンコンバート表示の場合は、表示:OFF となります。  
4K ダウンコンバート表示に関する詳細は「6-10. 4K ダウンコンバート表示」を参照してください。

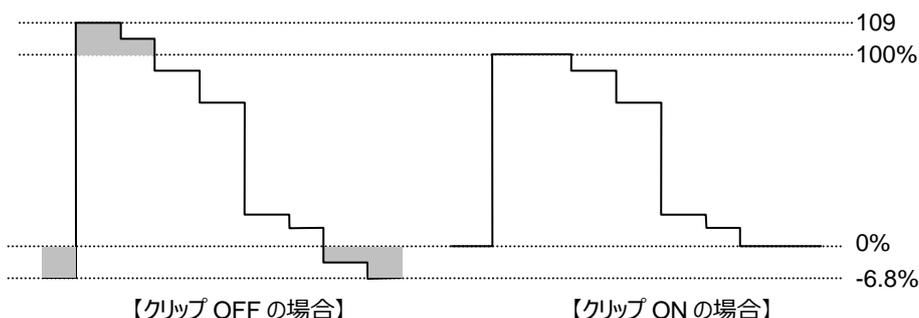
## 6-9. ビデオクリップモード

ビデオ信号のレベルをクリップすることができます。また、クリップを OFF に設定して、スーパーホワイト/スーパーブラックのレベルをモニターすることもできます。設定はメニュー画面で行います。詳細は「7-3-1. VIDEO SETUP 1/2～2/2 (SYSTEM)」を参照してください。

### 6-9-1. Y/C クリップ

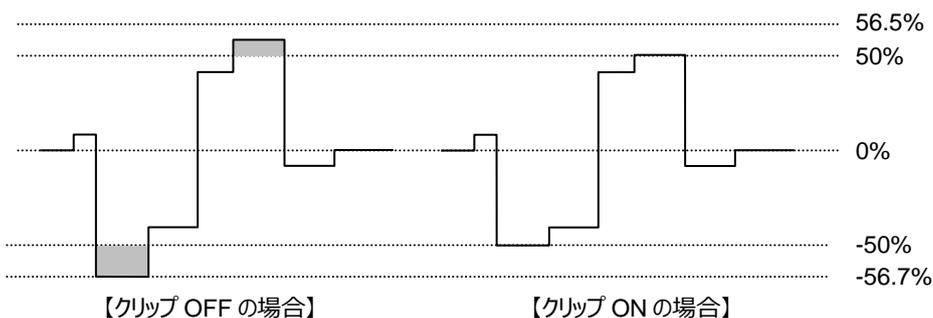
#### (1) Y クリップ

クリップ ON の場合は、100%以上、0%以下のレベルはクリップされます。



#### (2) C クリップ

クリップ ON の場合は、50%以上、-50%以下のレベルはクリップされます。



#### 注意

MV-42HSA の DVI 出力は、HD-SDI 出力の Y/C 信号を内部で RGB 信号に変換しているため、Y/C クリップの設定を変更すると DVI 出力信号も変化します。

### 6-9-2. DVI 出力モード

DVI 出力は HD-SDI 出力の Y/C 信号を内部で RGB 信号（24 bit）に変換しています。

#### MODE1 :

Y/C 信号を Y0～100%、C-50～50%の範囲で R. G. B. 信号それぞれ 0～255 に変換します。

#### MODE2 :

Y/C 信号を Y-6.8～109%、C-50～50%の範囲で R. G. B. 信号それぞれ 0～255 に変換します。

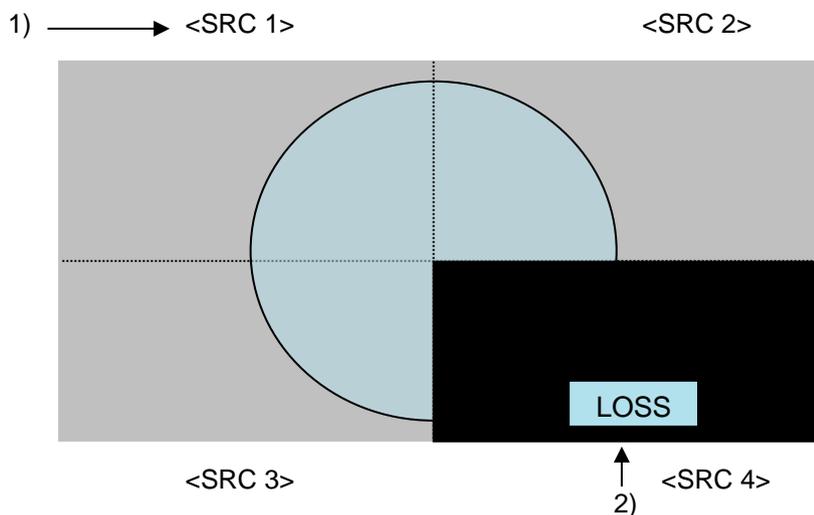
#### MODE3 :

Y/C 信号を Y-6.8～109%、C-56.7～56.5%の範囲で R. G. B. 信号それぞれ 0～255 に変換します。

## 6-10. 4K ダウンコンバート表示

4K ダウンコンバート表示では、MV-42HSA に 3G-SDI 信号を 4 本入力することで、4K2K (3840x2160) ソースの監視を行うことができます。

メニューの **MULTI SCREEN 1/8 > DISPLAY TYPE > 4K** を選択すると、SRC 1~4 が下図のように表示されます。



- 1) 入力ソース  
SRC 1 から順番に左上、右上、左下、右下の順でアサインされます。
- 2) ビデオロス表示  
ビデオロス表示は現在の設定を反映します。  
ビデオロス表示に関する詳細は「6-6. ビデオロス表示」を参照してください。  
また設定方法に関しては「7-4. LOSS」を参照してください。

4K 表示では、分割画面に関する以下の項目は設定に関わりなく表示が変更されます。

タイトル / ボーダー / オーディオレベルメーター タイムコード / タリ / クロップ / 日時	表示が <b>OFF</b> になる (WINDOW 1~4)
ソース選択	WINDOW 1~4 に <b>SOURCE 1~4</b> がアサイン
ディスプレイモード	<b>FIT SCREEN</b> になる (WINDOW 1~4)

### 注意

4K ダウンコンバート表示は[DISPLAY TYPE]を QUAD に設定しても可能です。その場合、上記項目の設定が有効となりますので、個別に設定を変更してください。4K ソースのモニタリングをしながら、オーディオレベルをモニタリングしたい場合などは、[DISPLAY TYPE]を QUAD に設定します。

## 6-11. オーディオ出力

---

SDI 出力に重畳するオーディオを、SDI 入力 1/2/3/4 のエンベデッドオーディオから選択することができます。

- 1) Embed / Not Embed  
**Embed:** SDI 出力にオーディオを重畳します。  
**Not Embed:** SDI 出力にオーディオ packets を重畳しません。
- 2) Adaptive Mode  
画面に表示された映像に連動するモードです。有効にすると、  
AUTO/FULL 画面出力時：映像出力と同じソースのオーディオが重畳されます。  
MULTI 画面出力時：メニューで設定したソースのオーディオ（「7-6. AUDIO SETTING」）が重畳されます。MULTI 画面出力時のみ、メニューを表示せずに前面操作のみで変更可能です。（「4-7. MULTI 画面のオーディオソースを切替える」参照）  
※ ソースに Composite 入力が設定されている場合、オーディオは重畳されません。
- 3) Fixed Mode  
画面に表示された映像に関係なく常に同じオーディオを重畳します。  
AUTO/FULL/MULTI 画面出力時、常にメニューで設定したソースのオーディオが重畳されます。（映像表示切替えでオーディオは切替わりません）  
※ ソースに Composite 入力が設定されている場合でも、SDI 入力のオーディオが重畳されます。
- 4) Test Tone  
内部で生成した 1kHz Tone 信号を重畳します。
- 5) Mute  
重畳したオーディオを Mute（無音）にします。

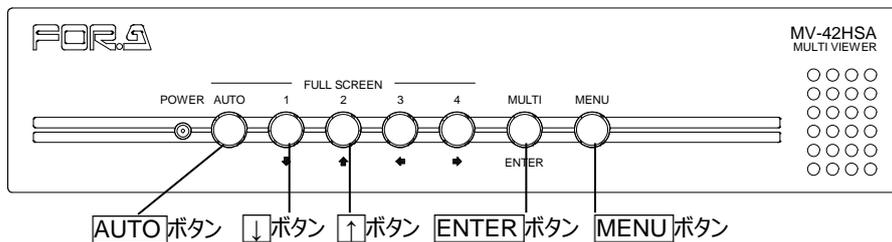
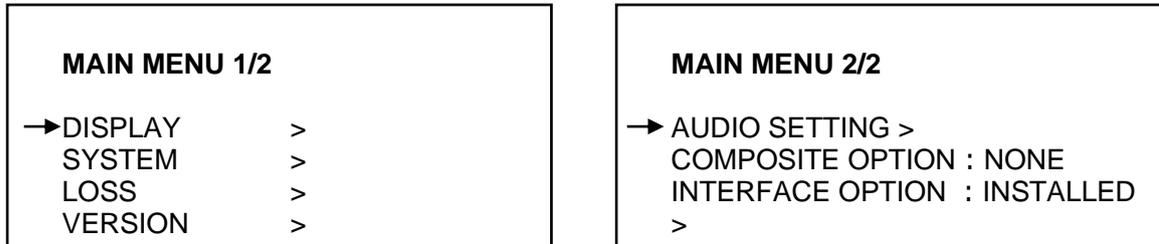
## 7. メニュー操作

メインメニュー画面から各サブメニュー画面へ移動し、各種設定を行います。

※ メニュー画面上の[>]はサブメニュー画面があることを表しています。

### 7-1. メインメニュー画面

**MENU** ボタンを約 2 秒間長押し、メインメニュー画面を表示します。



#### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上方向に移動します。
↓	カーソルを下方向に移動します。
ENTER	選択されている項目のサブメニュー画面に移動します。 ※INTERFACE OPTION (MV-42IF/IFA オプション) を選択している場合で、オプションが実装されていない (NONE) の場合は、サブメニュー画面に移動しません。
MENU	MAIN MENU1/2～2/2 画面から SAVE CHANGE?画面に移動します。尚、設定が変更されていない場合はそのまま通常動作に戻ります。 詳細は「7-1-1. SAVE CHANGE?」の画面参照。
AUTO	次のページに移動します。

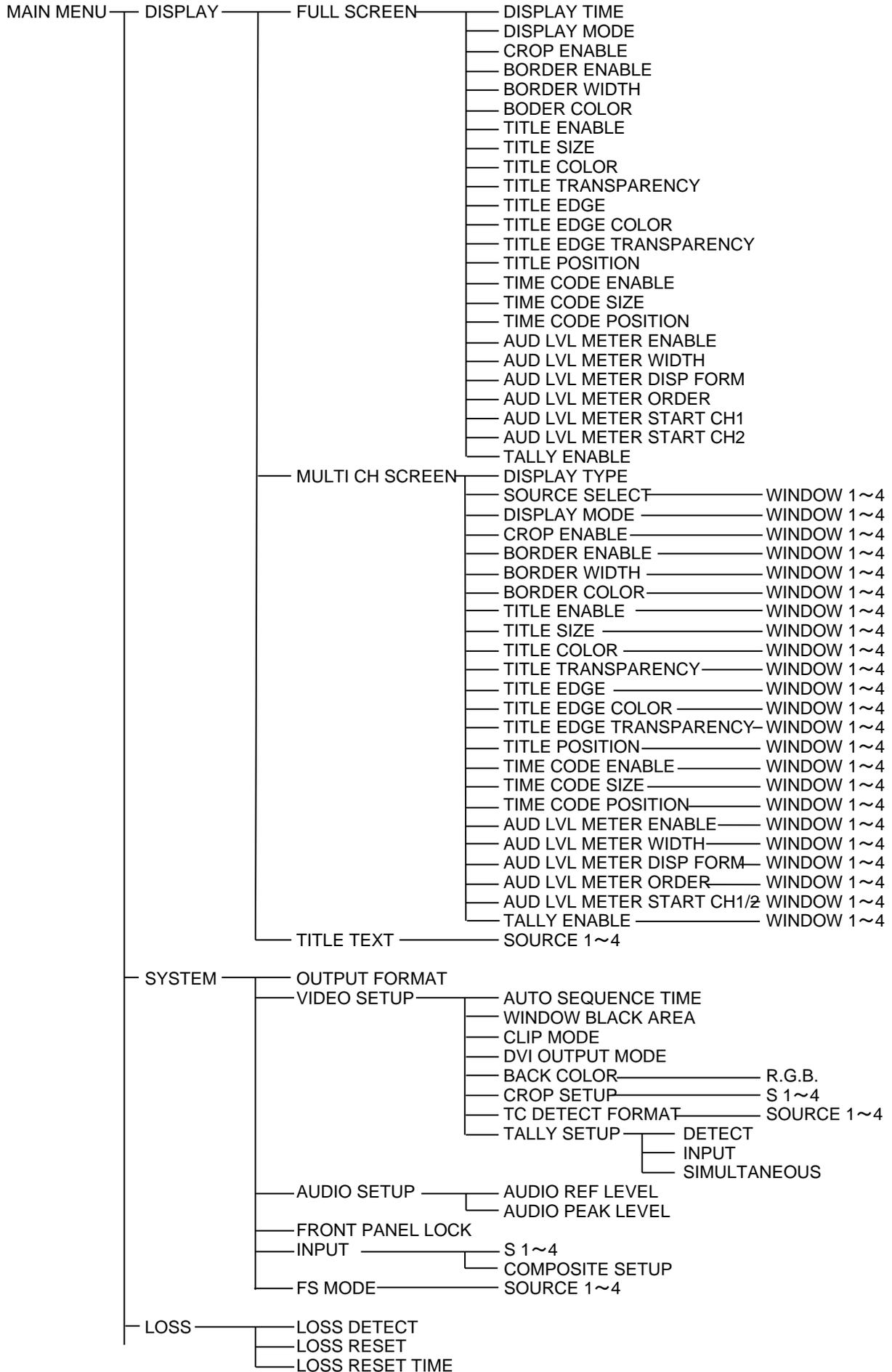
#### ◆ 設定項目

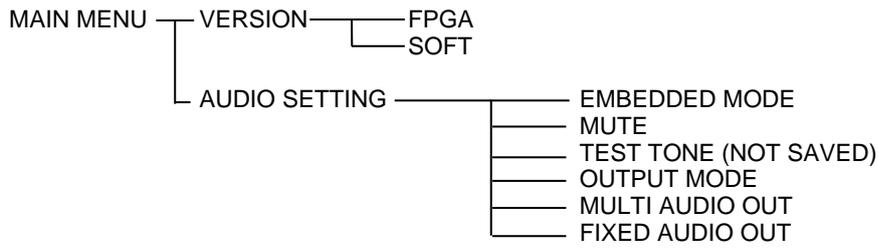
項目	設定内容	参照
DISPLAY	1 画面表示時の設定	7-2. DISPLAY
	分割画面表示時の設定	
	タイトルテキストの設定	
SYSTEM	出力フォーマットの設定	7-3. SYSTEM
	ビデオ関連の設定	
	オーディオ関連の設定	
	フロントパネル制御ロックの設定	
	各入力ソースのビデオフォーマットの設定／情報の表示	
	FS モードの設定 (フィールド/フレーム処理)	

項目	設定内容	参照
LOSS	ビデオロス検出の設定	7-4. LOSS
	ビデオロスリセットタイプの設定	
	ビデオロスリセット時間の設定	
VERSION	バージョン情報の表示	7-5. VERSION
AUDIO SETTING	SDI 出力のオーディオ設定	7-6. AUDIO SETTING
COMPOSITE OPTION (MV-42AI オプション) ※	MV-42AI オプションの実装有無の表示	-
INTERFACE OPTION (MV-42IF/IFA オプション) ※	DATE/TIME の設定	7-7. INTERFACE OPTION
	LAN の設定	
	GPI の設定	
	GENLOCK の設定	

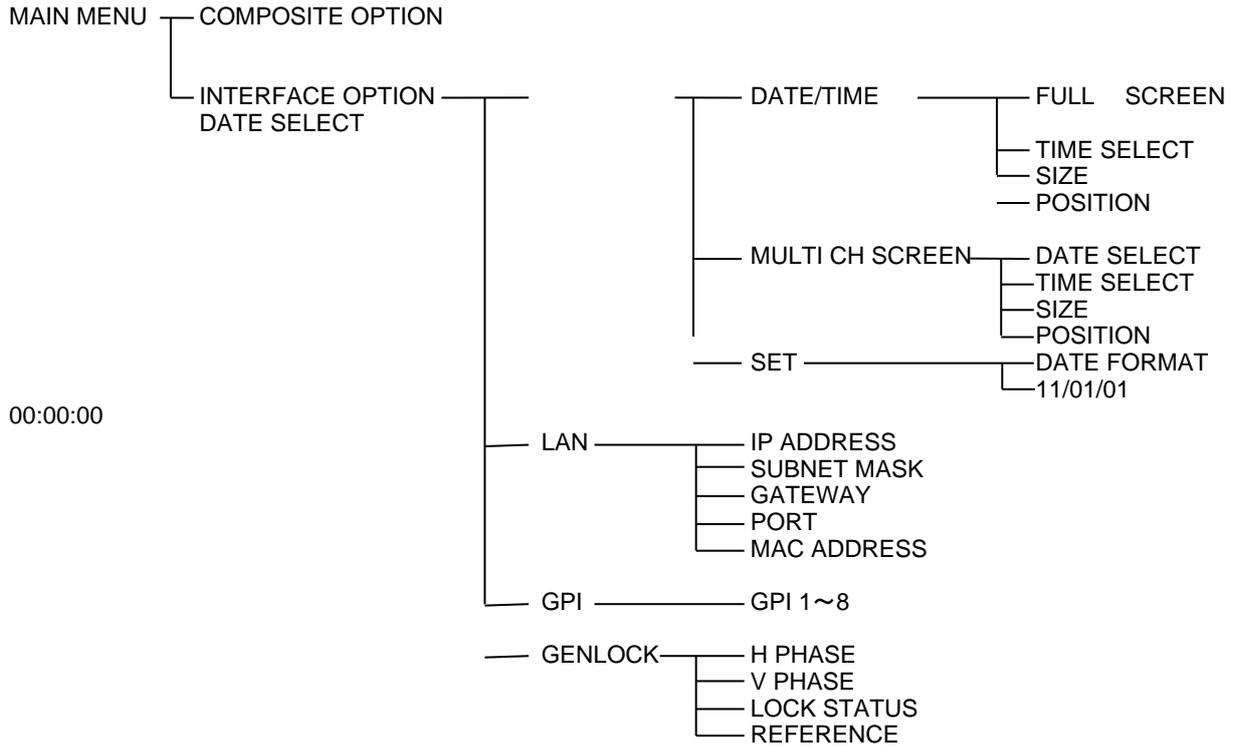
※ [NONE] : オプションが実装されていません。  
 [INSTALLED] : オプションが実装されています。

◆ メニュー構成図





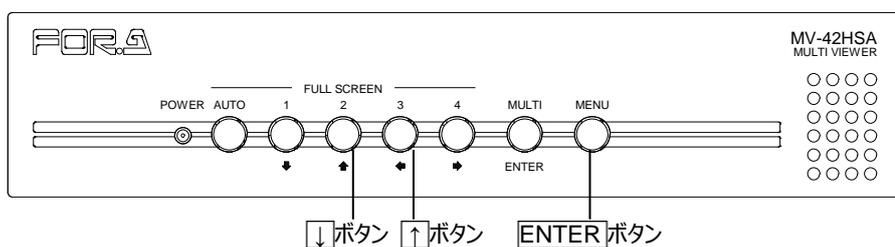
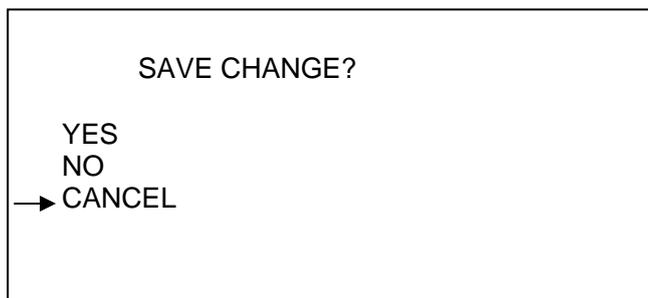
• オプションメニュー



00:00:00

## 7-1-1. SAVE CHANGE?

設定が変更されているとき、メインメニュー画面を開いた状態で **MENU** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。



### ◆ 操作方法

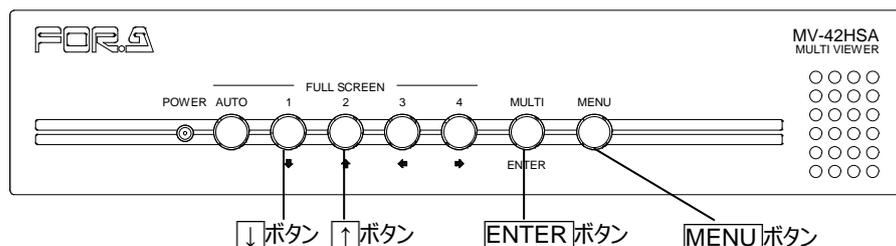
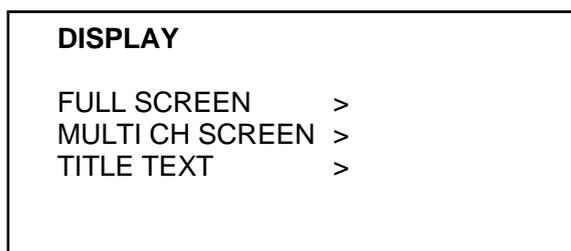
操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上方向に移動します。
↓	カーソルを下方向に移動します。
ENTER	選択されている項目を実行します。

### ◆ 設定項目

項目	設定内容
YES	変更内容を反映させて（保存して）メニュー画面を抜けます。
NO	変更内容を反映させないで（保存しないで）メニュー画面を抜けます。
CANCEL	変更内容は反映させないで（保存しないで）MAIN MENU 画面に戻ります。

## 7-2. DISPLAY

MAIN MENU 画面で[DISPLAY >]にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
MENU	DISPLAY メニューから MAIN メニューへ戻ります。
ENTER	選択されている項目のサブメニュー画面に移動します。

### ◆ 設定項目

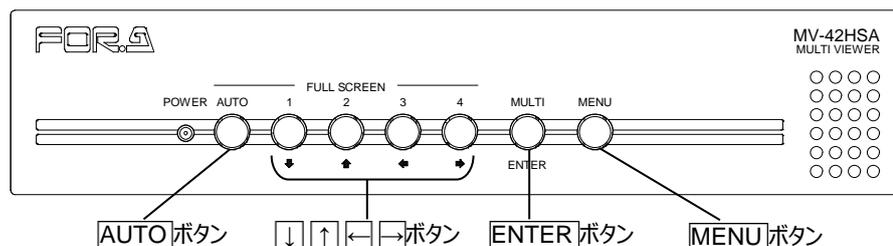
メニュー項目	設定内容	参照
FULL SCREEN	1 画面表示時間の設定	7-2-1-1. FULL SCREEN SETUP 1/8 ~ 8/8
	1 画面表示の画面表示モードの設定	
	1 画面表示のクロップの表示設定	
	1 画面表示のボーダーの設定	
	1 画面表示のタイトルの設定	
	1 画面表示のタイムコードの設定	
	1 画面表示のオーディオレベルメーターの設定	
	1 画面表示のタリーの設定	
MULTI CH SCREEN	画面分割形式の設定	7-2-2-1. MULTI CH SCREEN SETUP 1/8~8/8
	映像領域に表示するビデオソースを SOURCE1 ~4 の範囲で設定	
	分割画面表示の画面表示モードの設定	
	分割画面表示のクロップの設定	
	分割画面表示のボーダーの設定	
	分割画面表示のタイトルの設定	
	分割画面表示のタイムコードの設定	
	分割画面表示のレベルメーターの設定	
分割画面表示のタリーの設定		
TITLE TEXT	タイトルテキストの設定	7-2-3. TITLE TEXT

## 7-2-1. FULL SCREEN

1画面表示時の各パラメーターの設定を行います。

### 7-2-1-1. FULL SCREEN SETUP 1/8 ~ 8/8

<p><b>FULL SCREEN SETUP 1/8</b></p> <p>DISPLAY TIME : 5sec            DISPLAY MODE : ASPECT 1            CROP ENABLE : ON</p>	<p><b>FULL SCREEN SETUP 5/8</b></p> <p>TIME CODE ENABLE : OFF            TIME CODE SIZE : 7 (32*64)            TIME CODE POSITION : TOP</p>
<p><b>FULL SCREEN SETUP 2/8</b></p> <p>BORDER ENABLE : OFF            BORDER WIDTH - T: 1 B: 1 L: 1 R: 1            BORDER COLOR - R: 128 G: 128                              B: 128</p>	<p><b>FULL SCREEN SETUP 6/8</b></p> <p>AUD LVL METER ENABLE : ON            AUD LVL METER WIDTH : 16</p>
<p><b>FULL SCREEN SETUP 3/8</b></p> <p>TITLE ENABLE : ON            TITLE SIZE : 7 (32*64)            TITLE COLOR &gt;            TITLE TRANSPARENCY : 30%</p>	<p><b>FULL SCREEN SETUP 7/8</b></p> <p>AUD LVL METER DISP FORM : 4 + 4            AUD LVL METER ORDER : LEFT - ALGND            AUD LVL METER START CH1 : 1            AUD LVL METER START CH2 : NONE</p>
<p><b>FULL SCREEN SETUP 4/8</b></p> <p>TITLE EDGE : MAT            TITLE EDGE COLOR &gt;            TITLE EDGE TRANSPARENCY : 30%            TITLE POSITION : BOTTOM</p>	<p><b>FULL SCREEN SETUP 8/8</b></p> <p>TALLY ENABLE : ON</p>



#### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。 カーソルが一番上にある場合は、ページを切替えます。
↓	カーソルを下に移動します。 カーソルが一番下にある場合は、ページを切替えます。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
ENTER	選択されている項目のサブメニュー画面に移動します。
MENU	DISPLAYメニューへ戻ります。
AUTO	次のページに移動します。

◆ 設定項目

メニュー項目	設定範囲		設定内容
DISPLAY TIME	OFF		1 画面表示状態から分割画面に自動的に切り換わる時間を設定。(1 秒から 60 秒の範囲で設定。OFF に設定した場合は自動復帰動作を行いません。)
	1~60sec		
DISPLAY MODE	ASPECT 1		1 画面表示の画面表示モードを設定。詳細は「6-1. 画面表示モード」参照。
	ASPECT 2		
	FIT SCREEN		
CROP ENABLE	OFF		1 画面表示の入力映像内の有効画素領域(映像の存在する範囲)設定機能の ON/OFF を設定。クロップに関する詳細は「6-5. クロップ」参照。
	ON		
BORDER ENABLE	OFF		1 画面表示のボーダー表示の ON/OFF を設定。
	ON		
BORDER WIDTH	TOP	0~50	1 画面表示のボーダー幅 (TOP / BOTTOM / LEFT / RIGHT ) をそれぞれ設定。
	BOTTOM	0~50	
	LEFT	0~50	
	RIGHT	0~50	
BORDER COLOR	RED	0~255	1 画面表示のボーダー色 RED, GREEN, BLUE をそれぞれ設定。ENTER ボタンを押しながら値を変更すると 10 ずつの変更が可能。
	GREEN	0~255	
	BLUE	0~255	
TITLE ENABLE	OFF		1 画面表示のタイトルの表示 ON/OFF を設定。
	ON		
TITLE SIZE	1 (8*16)~ 7 (32*64)		1 画面表示のタイトルのサイズを設定。
TITLE COLOR	-		1 画面表示のタイトル色を設定。詳細は「7-2-1-2. TITLE COLOR / TITLE EDGE COLOR (FULL)」参照。
TITLE TRANSPARENCY	10 ~ 100%		1 画面表示のタイトル透明度を設定。
TITLE EDGE	OFF		1 画面表示のタイトルエッジの表示形式を設定。
	EDGE		
	MAT		
TITLE EDGE COLOR	-		1 画面表示のタイトルエッジ色を設定。詳細は「7-2-1-2. TITLE COLOR / TITLE EDGE COLOR (FULL)」参照。
TITLE EDGE TRANSPARENCY	10 ~ 100%		1 画面表示のタイトルエッジの透明度を設定。
TITLE POSITION	TOP		1 画面表示のタイトル表示位置を設定。
	BOTTOM		
TIME CODE ENABLE	OFF		1 画面表示のタイムコードの表示 ON/OFF を設定。
	ON		
TIME CODE SIZE	3 (16*32)~ 7 (32*64)		1 画面表示のタイムコードサイズを設定。
TIME CODE POSITION	TOP		1 画面表示のタイムコード表示位置を設定。
	BOTTOM		
AUD LVL METER ENABLE	OFF		1 画面表示のオーディオレベルメーターの表示 ON/OFF を設定。
	ON		

メニュー項目	設定範囲	設定内容
AUD LVL METER WIDTH	8	1 画面表示のオーディオレベルメーターのバーの幅を設定。単位は Pixel です。
	12	
	16	
AUD LVL METER DISP FORM	1 + 1	1 画面表示のオーディオレベルメーターの表示形式を設定。
	2	
	2 + 2	
	4	
	4 + 4	
AUD LVL METER ORDER	LEFT-ALGND	1 画面表示のオーディオレベルメーターのオーディオチャンネル配置順序を設定。
	ALTERNATING	
AUD LVL METER START CH1	1 - 15	1 画面表示のオーディオレベルメーターの左側または前半に表示するチャンネルの開始番号を設定。START CH1 は奇数チャンネルのみ設定可能。
AUD LVL METER START CH2	NONE	1 画面表示のオーディオレベルメーターの右側または後半に表示するチャンネルの開始番号を設定。START CH2 は NONE または奇数チャンネルのみ設定可能。
	1 - 15	
TALLY ENABLE	OFF	1 画面表示のタリーフレームの表示 ON/OFF 設定。 タリーに関する詳細は「6-4. タリー」参照。
	ON	

#### 注意

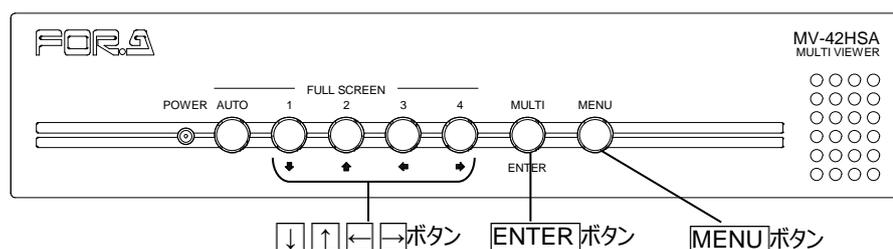
タイムコード表示位置はタイトル表示位置と常に異なる設定となります。  
例えばタイムコード表示位置を BOTTOM に設定すると、タイトル表示位置は TOP に設定されます。

## 7-2-1-2. TITLE COLOR / TITLE EDGE COLOR (FULL)

TITLE COLOR (FULL) / TITLE EDGE COLOR (FULL) 画面では、1 画面表示のタイトル/タイトルエッジの色を変更することができます。

TITLE COLOR (FULL)		TITLE EDGE COLOR (FULL)	
RED	: 255	RED	: 0
GREEN	: 255	GREEN	: 0
BLUE	: 255	BLUE	: 0

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
ENTER	押しながら値を変更すると、10 ずつ値が変わります。
MENU	FULL SCREEN SETUP 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

メニュー項目	設定範囲	設定内容
RED	0 ~ 255	それぞれ 1 画面表示のタイトル色/タイトルエッジ色 RED, GREEN, BLUE の値を設定。
GREEN		
BLUE		

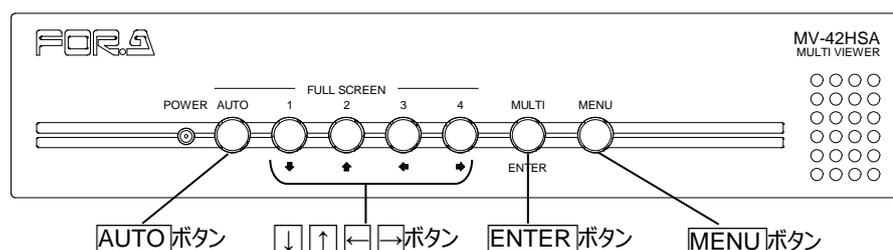
## 7-2-2. MULTI CH SCREEN

分割画面表示時の各パラメーターの設定を行います。

### 7-2-2-1. MULTI CH SCREEN SETUP 1/8～8/8

<b>MULTI CH SCREEN SETUP 1/8</b> DISPLAY TYPE : QUAD SOURCE SELECT > DISPLAY MODE > CROP ENABLE >	<b>MULTI CH SCREEN SETUP 5/8</b> TIME CODE ENABLE > TIME CODE SIZE > TIME CODE POSITION >
<b>MULTI CH SCREEN SETUP 2/8</b> BORDER ENABLE > BORDER WIDTH > BORDER COLOR >	<b>MULTI CH SCREEN SETUP 6/8</b> AUD LVL METER ENABLE > AUD LVL METER WIDTH >
<b>MULTI CH SCREEN SETUP 3/8</b> TITLE ENABLE > TITLE SIZE > TITLE COLOR > TITLE TRANSPARENCY >	<b>MULTI CH SCREEN SETUP 7/8</b> AUD LVL METER DISP FORM > AUD LVL METER ORDER > AUD LVL METER START CH1/2 >
<b>MULTI CH SCREEN SETUP 4/8</b> TITLE EDGE > TITLE EDGE COLOR > TITLE EDGE TRANSPARENCY > TITLE POSITION >	<b>MULTI CH SCREEN SETUP 8/8</b> TALLY ENABLE >

※上記の図は工場出荷時の設定です。



#### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。 カーソルが一番上にある場合は、ページを切換えます。
↓	カーソルを下に移動します。 カーソルが一番下にある場合は、ページを切換えます。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	DISPLAYメニューへ戻ります。
ENTER	選択されている項目のサブメニュー画面に移動します。
AUTO	次のページに移動します。

◆ 設定項目

メニュー項目	設定内容		参照		
DISPLAY TYPE	QUAD	分割画面表示の分割形式を設定。	6-10. 4K ダウンコンバート表示		
	H2	QUAD: 4 分割表示 H2: 左右 2 分割表示			
	4K	4K: 4K ダウンコンバート表示			
SOURCE SELECT※	映像領域に表示するビデオソースを選択。		7-2-2-2. SOURCE SELECT (MULTI)		
DISPLAY MODE※	分割画面表示の各ウィンドウに対して個別に画面表示モードを設定。		6-1. 画面表示モード 7-2-2-3. DISPLAY MODE (MULTI)		
CROP ENABLE※	分割画面表示の各ウィンドウに対して個別に入力映像内の有効画素領域(映像の存在する範囲)設定機能のON/OFFを設定。		7-2-2-4. CROP ENABLE (MULTI)		
BORDER ENABLE※	分割画面表示の各ウィンドウに対して個別にボーダーを設定。		7-2-2-5. BORDER ENABLE (MULTI)		
BORDER WIDTH※			7-2-2-6. BORDER WIDTH (MULTI)		
BORDER COLOR※			7-2-2-7. BORDER COLOR (MULTI)		
TITLE ENABLE※	分割画面表示の各ウィンドウに対して個別にタイトルを設定。		7-2-2-8. TITLE ENABLE (MULTI)		
TITLE SIZE			7-2-2-9. TITLE SIZE (MULTI)		
TITLE COLOR※			7-2-2-10. TITLE COLOR (MULTI)		
TITLE TRANSPARENCY※			7-2-2-11. TITLE TRANSPARENCY (MULTI)		
TITLE EDGE※			7-2-2-12. TITLE EDGE (MULTI)		
TITLE EDGE COLOR※			7-2-2-13. TITLE EDGE COLOR (MULTI)		
TITLE EDGE TRANSPARENCY※			7-2-2-14. TITLE EDGE TRANSPARENCY (MULTI)		
TITLE POSITION			7-2-2-15. TITLE POSITION (MULTI)		
TIME CODE ENABLE※			分割画面表示の各ウィンドウに対して個別にタイムコードを設定。		7-2-2-16. TIME CODE ENABLE (MULTI)
TIME CODE SIZE※					7-2-2-17. TIME CODE SIZE (MULTI)
TIME CODE POSITION	7-2-2-18. TIME CODE POSITION (MULTI)				
AUD LVL METER ENABLE※	分割画面表示の各ウィンドウに対して個別にオーディオレベルメーターを設定。		7-2-2-19. AUD LVL METER ENABLE (MULTI)		
AUD LVL METER WIDTH※			7-2-2-20. AUD LVL METER WIDTH (MULTI)		
AUD LVL METER DISP FORM※			7-2-2-21. AUD LVL METER DISP FORM (MULTI)		
AUD LVL METER ORDER※			7-2-2-22. AUD LVL METER ORDER (MULTI)		
AUD LVL METER START CH1/2※			7-2-2-23. AUD LVL METER START CH1/2 (MULTI)		
TALLY ENABLE※	分割画面表示の各ウィンドウに対して個別にタリーフレームを設定。		7-2-2-24. TALLY ENABLE (MULTI)		

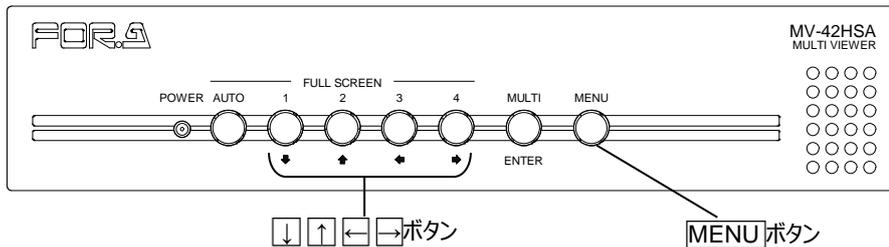
※ 4K ダウンコンバート表示時は、設定に関わりなく 4K 用表示に変更されます。「6-10. 4K ダウンコンバート表示」参照。

## 7-2-2-2. SOURCE SELECT (MULTI)

MULTI CH SCREEN SETUP 画面で [SOURCE SELECT >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。SOURCE SELECT (MULTI)画面では、分割画面表示の各ウィンドウの映像領域に表示するビデオソースを変更することができます。

SOURCE SELECT (MULTI)	
WINDOW 1	: SOURCE 1
WINDOW 2	: SOURCE 2
WINDOW 3	: SOURCE 3
WINDOW 4	: SOURCE 4

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	MULTI CH SCREEN SETUP 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

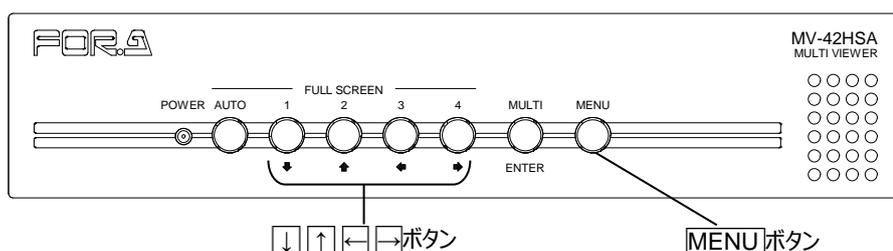
メニュー項目	設定範囲	設定内容
WINDOW 1 ～ WINDOW 4	SOURCE 1 ～ SOURCE 4	分割画面表示の映像領域に表示するビデオソースを設定。

### 7-2-2-3. DISPLAY MODE (MULTI)

MULTI CH SCREEN SETUP 画面で [DISPLAY MODE >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押  
画面表示モードを変更することができます。

DISPLAY MODE (MULTI)	
WINDOW 1	: ASPECT 1
WINDOW 2	: ASPECT 1
WINDOW 3	: ASPECT 1
WINDOW 4	: ASPECT 1

※上記の図は工場出荷時の設定です。



#### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	MULTI CH SCREEN SETUP 画面へ戻ります。

#### ◆ 設定項目

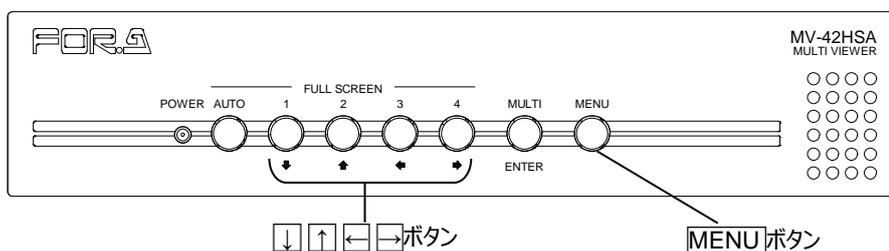
メニュー項目	設定範囲	設定内容
WINDOW 1 ～ WINDOW 4	ASPECT 1	分割画面表示の画面表示モードを設定。 詳細は「6-1. 画面表示モード」参照。
	ASPECT 2	
	FIT SCREEN	

## 7-2-2-4. CROP ENABLE (MULTI)

MULTI CH SCREEN SETUP 画面で [CROP ENABLE >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。CROP ENABLE (MULTI)画面では、分割画面表示のクロップ設定の ON/OFF を変更することができます。

CROP ENABLE (MULTI)	
WINDOW 1	: ON
WINDOW 2	: ON
WINDOW 3	: ON
WINDOW 4	: ON

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	MULTI CH SCREEN SETUP 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

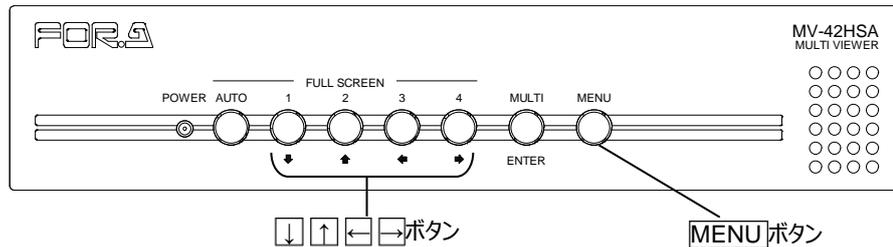
メニュー項目	設定範囲	設定内容
WINDOW 1 ～ WINDOW 4	OFF ON	分割画面表示のクロップ設定の ON/OFF を設定。 詳細は「6-5. クロップ」参照。

## 7-2-2-5. BORDER ENABLE (MULTI)

MULTI CH SCREEN SETUP 画面で [BORDER ENABLE >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。BORDER ENABLE (MULTI)画面では、分割画面表示のボーダー表示の ON/OFF を変更することができます。

BORDER ENABLE (MULTI)	
WINDOW 1	: ON
WINDOW 2	: ON
WINDOW 3	: ON
WINDOW 4	: ON

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	MULTI CH SCREEN SETUP 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

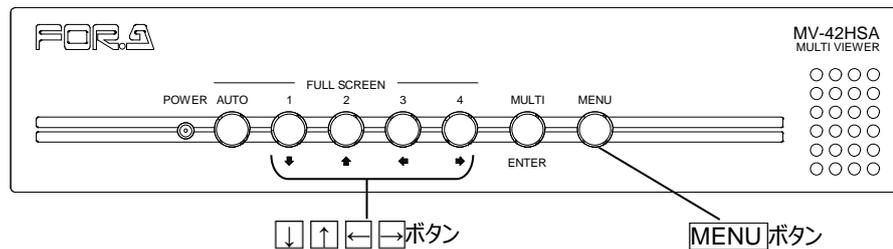
メニュー項目	設定範囲	設定内容
WINDOW 1 ～ WINDOW 4	OFF  ON	分割画面表示のボーダー表示の ON/OFF を設定。

## 7-2-2-6. BORDER WIDTH (MULTI)

MULTI CH SCREEN SETUP 画面で [BORDER WIDTH >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。BORDER WIDTH (MULTI)画面では、分割画面表示のボーダー幅を変更することができます。

BORDER WIDTH (MULTI)	
WINDOW 1 - T:	1 B: 1 L: 1 R: 1
WINDOW 2 - T:	1 B: 1 L: 1 R: 1
WINDOW 3 - T:	1 B: 1 L: 1 R: 1
WINDOW 4 - T:	1 B: 1 L: 1 R: 1

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	MULTI CH SCREEN SETUP 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

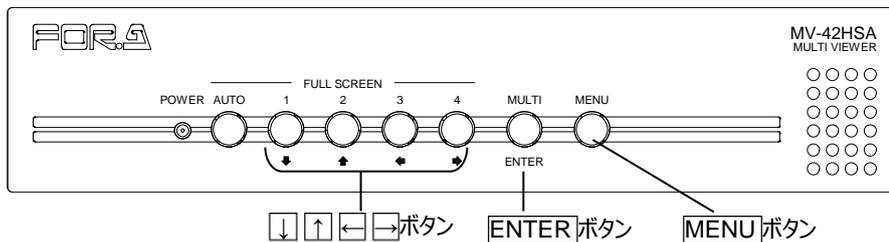
メニュー項目	設定範囲	設定内容
WINDOW 1 ～ WINDOW 4	0 ～ 50	分割画面表示のボーダー幅を TOP(T) / BOTTOM(B) / LEFT(L) / RIGHT(R)それぞれ 0 ～ 50 の範囲で設定可能。

## 7-2-2-7. BORDER COLOR (MULTI)

MULTI CH SCREEN SETUP 画面で [BORDER COLOR >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。BORDER COLOR (MULTI)画面では、分割画面表示のボーダー色を変更することができます。

BORDER COLOR (MULTI)			
WINDOW 1 - R:	128	G: 128	B: 128
WINDOW 2 - R:	128	G: 128	B: 128
WINDOW 3 - R:	128	G: 128	B: 128
WINDOW 4 - R:	128	G: 128	B: 128

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
ENTER	押しながら値を変更すると、10 ずつ値が変わります。
MENU	MULTI CH SCREEN SETUP 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

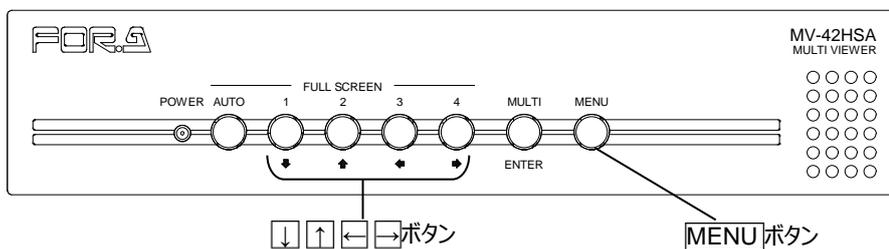
メニュー項目	設定範囲		設定内容
WINDOW 1 ～ WINDOW 4	RED	0～255	分割画面表示のボーダー色を RED(R) / GREEN(G) / BLUE(B)それぞれ 0 ～ 255 の範囲で設定可能。
	GREEN	0～255	
	BLUE	0～255	

## 7-2-2-8. TITLE ENABLE (MULTI)

MULTI CH SCREEN SETUP 画面で [TITLE ENABLE >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。TITLE ENABLE (MULTI)画面では、分割画面表示のタイトル表示の ON/OFF を変更することができます。

TITLE ENABLE (MULTI)	
WINDOW 1	: ON
WINDOW 2	: ON
WINDOW 3	: ON
WINDOW 4	: ON

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	MULTI CH SCREEN SETUP 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

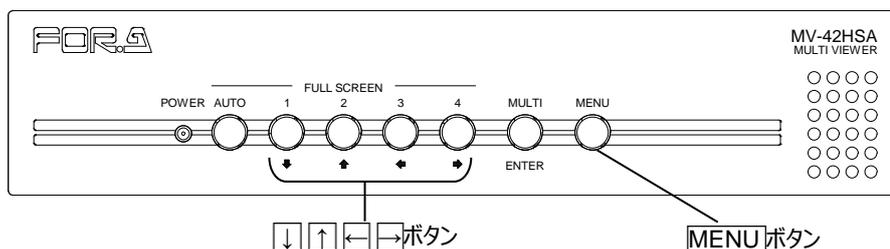
メニュー項目	設定範囲	設定内容
WINDOW 1 ～ WINDOW 4	OFF ON	分割画面表示のタイトル表示の ON/OFF を設定。

## 7-2-2-9. TITLE SIZE (MULTI)

MULTI CH SCREEN SETUP 画面で [TITLE SIZE >] にカーソルを合わせて [ENTER] ボタンを押すと、次の画面が表示されます。TITLE SIZE (MULTI)画面では、分割画面表示のタイトルサイズを変更することができます。

TITLE SIZE (MULTI)	
WINDOW 1	: 5 (24*48)
WINDOW 2	: 5 (24*48)
WINDOW 3	: 5 (24*48)
WINDOW 4	: 5 (24*48)

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	MULTI CH SCREEN SETUP 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

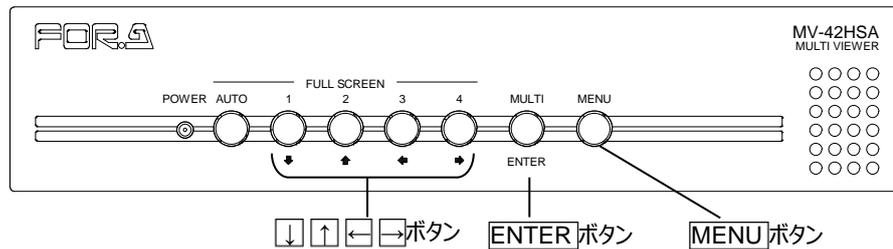
メニュー項目	設定範囲	設定内容
WINDOW 1 ～ WINDOW 4	1(8*16) ～ 7(32*64)	分割画面表示のタイトルサイズを設定。

## 7-2-2-10. TITLE COLOR (MULTI)

MULTI CH SCREEN SETUP 画面で [TITLE COLOR >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。TITLE COLOR (MULTI)画面では、分割画面表示のタイトル色を変更することができます。

TITLE COLOR (MULTI)			
WINDOW 1	R: 255	G: 255	B: 255
WINDOW 2	R: 255	G: 255	B: 255
WINDOW 3	R: 255	G: 255	B: 255
WINDOW 4	R: 255	G: 255	B: 255

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
ENTER	押しながら値を変更すると、10 ずつ値が変わります。
MENU	MULTI CH SCREEN SETUP 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

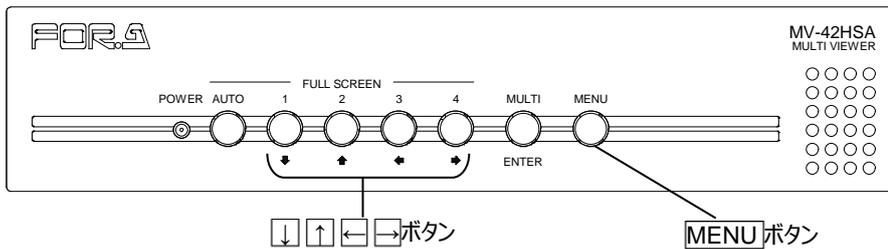
メニュー項目	設定範囲		設定内容
WINDOW 1 ～ WINDOW 4	RED	0～255	分割画面表示のタイトル色を RED(R) / GREEN(G) / BLUE(B)それぞれ 0 ～ 255 の範囲で設定可能。
	GREEN	0～255	
	BLUE	0～255	

## 7-2-2-11. TITLE TRANSPARENCY (MULTI)

MULTI CH SCREEN SETUP 画面で [TITLE TRANSPARENCY >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。TITLE TRANSPARENCY (MULTI)画面では、分割画面表示のタイトル透明度を変更することができます。

TITLE TRANSPARENCY (MULTI)	
WINDOW 1	: 30%
WINDOW 2	: 30%
WINDOW 3	: 30%
WINDOW 4	: 30%

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

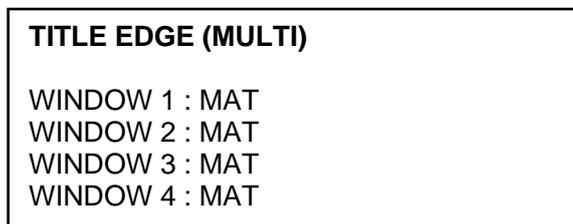
操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	MULTI CH SCREEN SETUP 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

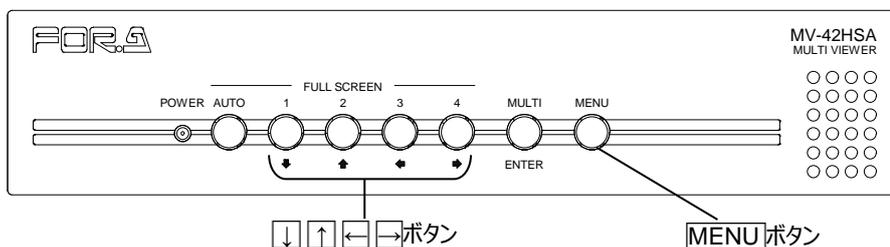
メニュー項目	設定範囲	設定内容
WINDOW 1 ～ WINDOW 4	10～100%	分割画面表示のタイトルの透明度を設定。

## 7-2-2-12. TITLE EDGE (MULTI)

MULTI CH SCREEN SETUP 画面で [TITLE EDGE >] にカーソルを合わせて [ENTER] ボタンを押すと、次の画面が表示されます。TITLE EDGE (MULTI) 画面では、分割画面表示のタイトルエッジを変更することができます。



※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	MULTI CH SCREEN SETUP 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

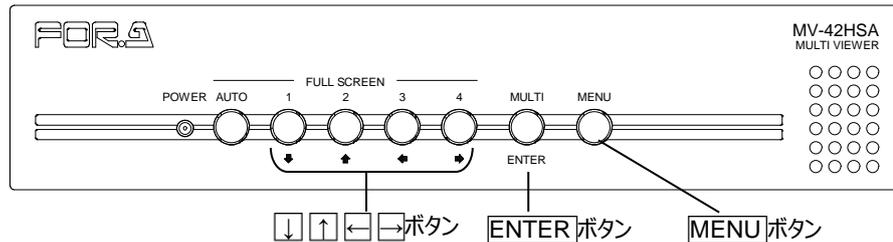
メニュー項目	設定範囲	設定内容
WINDOW 1 ～ WINDOW 4	OFF	分割画面表示のタイトルエッジを設定。
	EDGE	
	MAT	

## 7-2-2-13. TITLE EDGE COLOR (MULTI)

MULTI CH SCREEN SETUP 画面で [TITLE EDGE COLOR >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。TITLE EDGE COLOR (MULTI)画面では、分割画面表示のタイトルエッジ色を変更することができます。

TITLE EDGE COLOR (MULTI)			
WINDOW 1 -	R: 0	G: 0	B: 0
WINDOW 2 -	R: 0	G: 0	B: 0
WINDOW 3 -	R: 0	G: 0	B: 0
WINDOW 4 -	R: 0	G: 0	B: 0

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
ENTER	押しながら値を変更すると、10 ずつ値が変わります。
MENU	MULTI CH SCREEN SETUP 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

メニュー項目	設定範囲		設定内容
WINDOW 1 ～ WINDOW 4	RED	0～255	分割画面表示のタイトルエッジ色を RED(R) / GREEN(G) / BLUE(B)それぞれ 0 ～ 255 の範囲で設定可能。
	GREEN	0～255	
	BLUE	0～255	

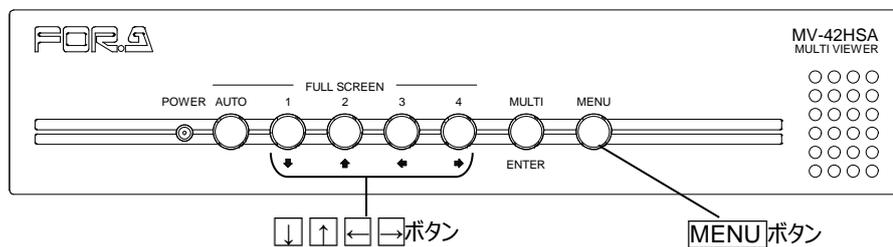
## 7-2-2-14. TITLE EDGE TRANSPARENCY (MULTI)

MULTI CH SCREEN SETUP 画面で [TITLE EDGE TRANSPARENCY >] にカーソルを合わせて [ENTER] ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

TITLE EDGE TRANSPARENCY (MULTI) 画面では、分割画面表示のタイトルエッジの透明度を変更することができます。

TITLE EDGE TRANSPARENCY (MULTI)	
WINDOW 1	: 30%
WINDOW 2	: 30%
WINDOW 3	: 30%
WINDOW 4	: 30%

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

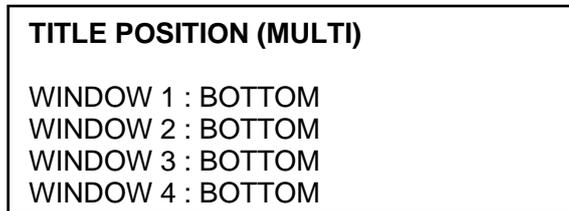
操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	MULTI CH SCREEN SETUP 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

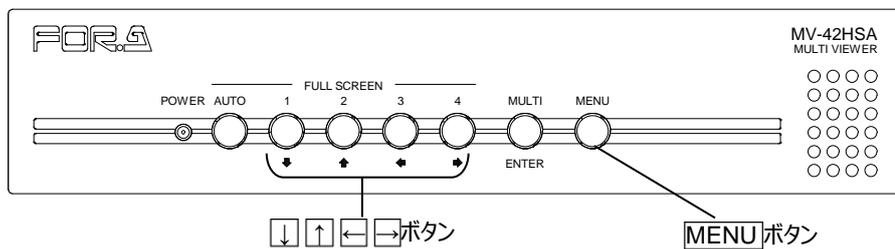
メニュー項目	設定範囲	設定内容
WINDOW 1 ～ WINDOW 4	10～100%	分割画面表示のタイトルエッジの透明度を設定。

## 7-2-2-15. TITLE POSITION (MULTI)

MULTI CH SCREEN SETUP 画面で [TITLE POSITION >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。TITLE POSITION (MULTI)画面では、分割画面表示のタイトル表示位置を変更することができます。



※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	MULTI CH SCREEN SETUP 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

メニュー項目	設定範囲	設定内容
WINDOW 1 ~ WINDOW 4	TOP BOTTOM	分割画面表示のタイトル表示位置を設定。

### 注意

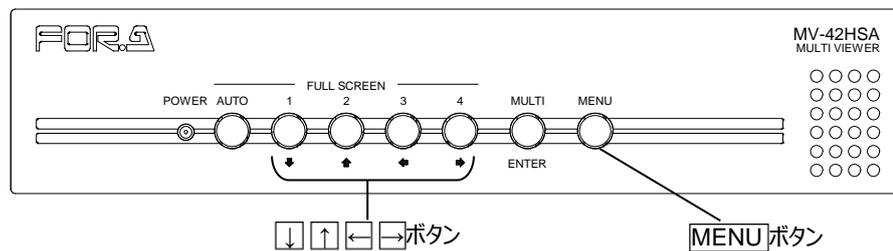
各ウィンドウのタイトル表示位置はタイムコード表示位置と常に異なる設定となります。例えば、WINDOW1 のタイトル表示位置が TOP の場合、タイムコード表示位置は BOTTOM になります。

## 7-2-2-16. TIME CODE ENABLE (MULTI)

MULTI CH SCREEN SETUP 画面で [TIME CODE ENABLE >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。TIME CODE ENABLE (MULTI)画面では、分割画面表示のタイムコード表示 ON/OFF を変更することができます。

TIME CODE ENABLE (MULTI)	
WINDOW 1	: OFF
WINDOW 2	: OFF
WINDOW 3	: OFF
WINDOW 4	: OFF

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	MULTI CH SCREEN SETUP 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

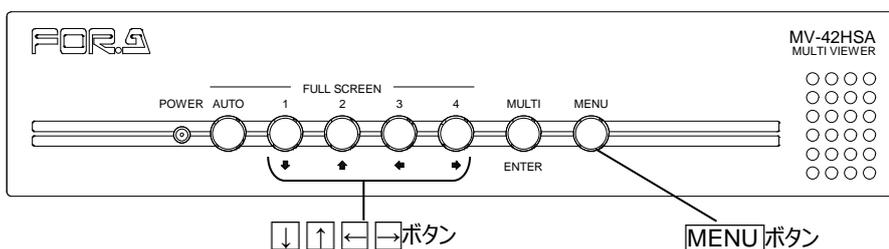
メニュー項目	設定範囲	設定内容
WINDOW 1 ～ WINDOW 4	OFF ON	分割画面表示のタイムコード表示 ON/OFF を設定。

## 7-2-2-17. TIME CODE SIZE (MULTI)

MULTI CH SCREEN SETUP 画面で [TIME CODE SIZE >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。TIME CODE SIZE 画面では、分割画面表示のタイムコードのサイズを変更することができます。

TIME CODE SIZE (MULTI)	
WINDOW 1	: 5 (24*48)
WINDOW 2	: 5 (24*48)
WINDOW 3	: 5 (24*48)
WINDOW 4	: 5 (24*48)

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

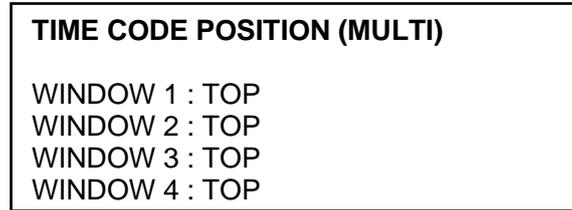
操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	MULTI CH SCREEN SETUP 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

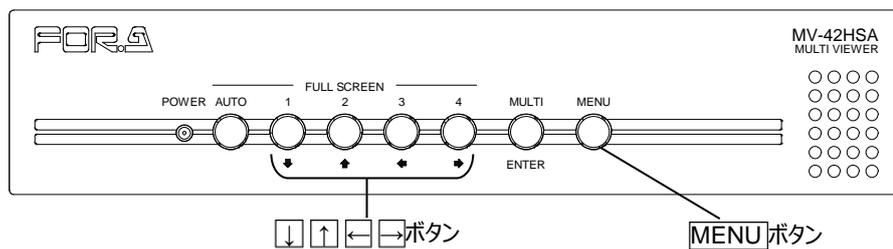
メニュー項目	設定範囲	設定内容
WINDOW 1 ～ WINDOW 4	3(16*32)～ 7(32*64)	分割画面表示のタイムコードのサイズを設定。

## 7-2-2-18. TIME CODE POSITION (MULTI)

MULTI CH SCREEN SETUP 画面で [TIME CODE POSITION >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。TIME CODE POSITION (MULTI)画面では、分割画面表示のタイムコードの表示位置を変更することができます。



※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	MULTI CH SCREEN SETUP 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

メニュー項目	設定範囲	設定内容
WINDOW 1 ~ WINDOW 4	TOP BOTTOM	分割画面表示のタイムコードの表示位置を設定。

### 注意

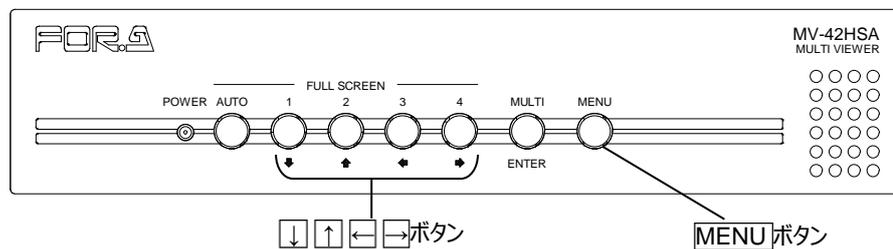
各ウィンドウのタイムコード表示位置はタイトル表示位置と常に異なる設定となります。例えば WINDOW1 のタイムコード表示位置が BOTTOM の場合、タイトル表示位置は TOP になります。

## 7-2-2-19. AUD LVL METER ENABLE (MULTI)

MULTI CH SCREEN SETUP 画面で [AUD LVL METER ENABLE >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。AUD LVL METER ENABLE (MULTI)画面では、分割画面表示のオーディオレベルメーターの表示 ON/OFF を変更することができます。

AUD LVL METER ENABLE (MULTI)	
WINDOW 1	: ON
WINDOW 2	: ON
WINDOW 3	: ON
WINDOW 4	: ON

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	MULTI CH SCREEN SETUP 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

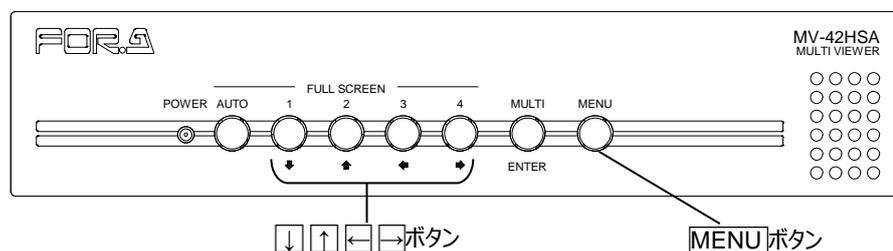
メニュー項目	設定範囲	設定内容
WINDOW 1 ～ WINDOW 4	OFF ON	分割画面表示のオーディオレベルメーターの表示 ON/OFF を設定。

## 7-2-2-20. AUD LVL METER WIDTH (MULTI)

MULTI CH SCREEN SETUP 画面で [AUD LVL METER WIDTH >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。AUD LVL METER WIDTH (MULTI)画面では、分割画面表示のオーディオレベルメーター幅を変更することができます。

AUD LVL METER WIDTH (MULTI)	
WINDOW 1	: 12
WINDOW 2	: 12
WINDOW 3	: 12
WINDOW 4	: 12

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	MULTI CH SCREEN SETUP 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

メニュー項目	設定範囲	設定内容
WINDOW 1 ～ WINDOW 4	8 12 16	分割画面表示のオーディオレベルメーターのバーの幅を設定。バーの間隔は変わりません。単位は pixel です。

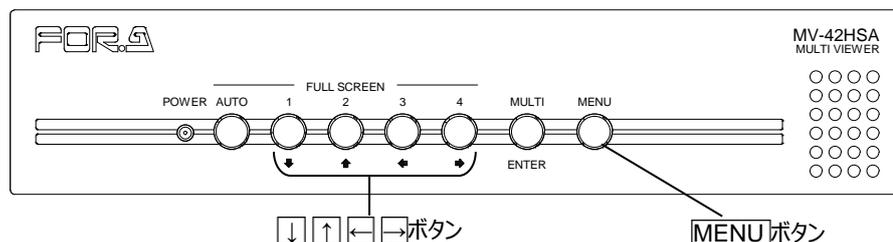
## 7-2-2-21. AUD LVL METER DISP FORM (MULTI)

MULTI CH SCREEN SETUP 画面で [AUD LVL METER DISP FORM >] にカーソルを合わせて [ENTER] ボタンを押すと、次の画面が表示されます。AUD LVL METER DISP FORM (MULTI)画面では、分割画面表示のオーディオレベルメーターの表示形式を変更することができます。

**AUD LVL METER DISP FORM (MULTI)**

WINDOW 1 : 4 + 4  
 WINDOW 2 : 4 + 4  
 WINDOW 3 : 4 + 4  
 WINDOW 4 : 4 + 4

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	MULTI CH SCREEN SETUP 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

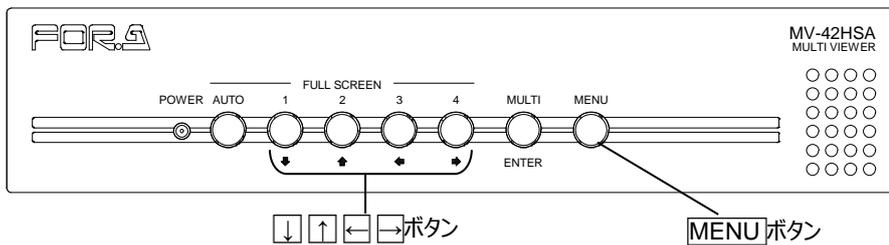
メニュー項目	設定範囲	設定内容
WINDOW 1 ~ WINDOW 4	1 + 1	分割画面表示のオーディオレベルメーターの表示形式を設定。 詳細は「6-6. オーディオレベルメーター」参照。
	2	
	2 + 2	
	4	
	4 + 4	

## 7-2-2-22. AUD LVL METER ORDER (MULTI)

MULTI CH SCREEN SETUP 画面で [AUD LVL METER ORDER >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。AUD LVL METER ORDER (MULTI)画面では、分割画面表示のオーディオレベルメーターに表示するオーディオチャンネルの表示順序を変更することができます。

AUD LVL METER ORDER (MULTI)	
WINDOW 1	: LEFT-ALGND
WINDOW 2	: LEFT-ALGND
WINDOW 3	: LEFT-ALGND
WINDOW 4	: LEFT-ALGND

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	MULTI CH SCREEN SETUP 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

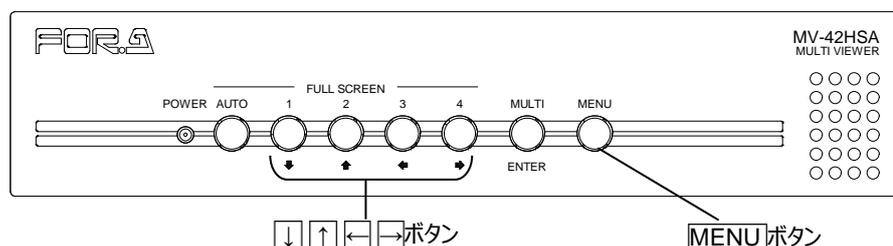
メニュー項目	設定範囲	設定内容
WINDOW 1 ～ WINDOW 4	LEFT-ALGND ALTERNATING	分割画面表示のオーディオレベルメーター表示順序を設定。 詳細は「6-6. オーディオレベルメーター」参照。

## 7-2-2-23. AUD LVL METER START CH1/2 (MULTI)

MULTI CH SCREEN SETUP 画面で [AUD LVL METER START CH1/2 >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。AUD LVL METER START CH1/2 (MULTI)画面では、分割画面表示のオーディオレベルメーター表示開始 CH 番号を変更することができます。

AUD LVL METER START CH1/2 (MULTI)	
WINDOW 1 – CH1:	1 CH2: NONE
WINDOW 2 – CH1:	1 CH2: NONE
WINDOW 3 – CH1:	1 CH2: NONE

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	MULTI CH SCREEN SETUP 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

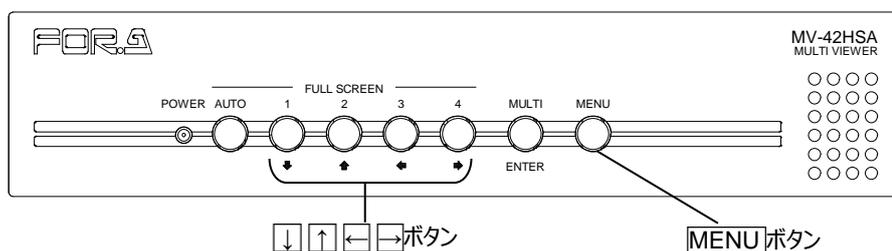
メニュー項目	設定範囲		設定内容
WINDOW 1 ～ WINDOW 4	START CH1	1～15	START CH1 は分割画面表示のオーディオレベルメーターの左側または前半に表示するチャンネルの開始番号を設定。START CH1 は奇数チャンネルのみ設定可能。
	START CH2	NONE	START CH2 は分割画面表示のオーディオレベルメーターの右側または後半に表示するチャンネルの開始番号を設定。START CH2 は NONE または奇数チャンネルのみ設定可能。
		1-15	詳細は「6-6. オーディオレベルメーター」参照。

## 7-2-2-24. TALLY ENABLE (MULTI)

MULTI CH SCREEN SETUP 画面で [TALLY ENABLE >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。TALLY ENABLE (MULTI)画面では、分割画面表示のタリフレームの表示 ON/OFF を変更することができます。

TALLY ENABLE (MULTI)	
WINDOW 1 :	ON
WINDOW 2 :	ON
WINDOW 3 :	ON
WINDOW 4 :	ON

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

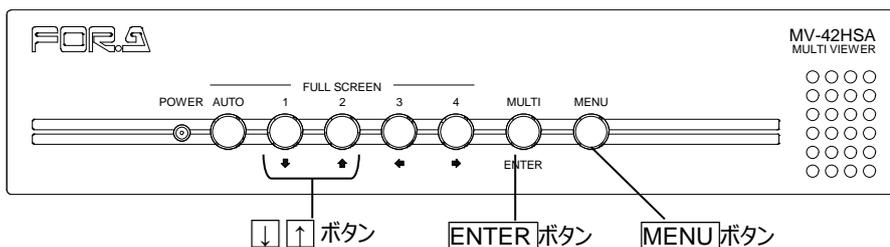
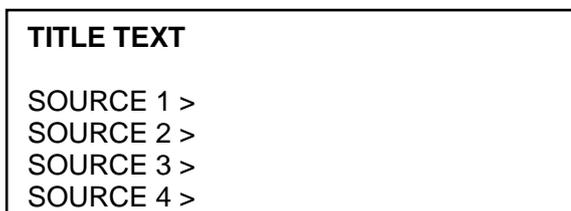
操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	MULTI CH SCREEN SETUP 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

メニュー項目	設定範囲	設定内容
WINDOW 1 ～ WINDOW 4	OFF	分割画面表示のタリフレームの表示 ON/OFF を設定。 詳細は「6-4. タリ」参照。
	ON	

### 7-2-3. TITLE TEXT

DISPLAY 画面の [TITLE TEXT >] にカーソルがある時に **ENTER** ボタンを押すと次の画面が表示されます。TITLE TEXT 画面では各入力ソースに対して個別にタイトルに表示するテキストを設定することができます。



#### ◆ 操作方法

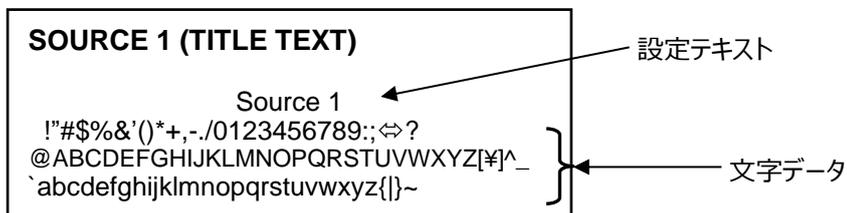
操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
ENTER	選択されている項目のサブメニュー画面に移動します。
MENU	DISPLAY メニューへ戻ります。

#### ◆ 設定項目

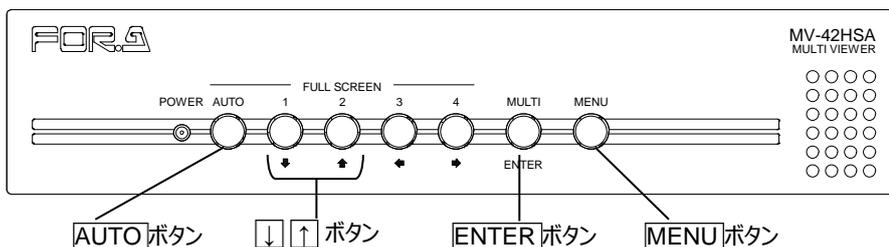
メニュー項目	設定内容	参照
SOURCE 1 ～ SOURCE 4	各入力ソースに対応するタイトルテキストの設定。	7-2-3-1. SOURCE 1～4 (TITLE TEXT)

### 7-2-3-1. SOURCE 1～4 (TITLE TEXT)

TITLE TEXT 画面で [SOURCE 1 >]～[SOURCE 4 >]にカーソルを合わせて [ENTER] ボタンを押すと、次のような選択したウィンドウ番号の画面を表示します。SOURCE 1～4 (TITLE TEXT)画面では、タイトルテキストを設定することができます。



※工場出荷時の設定は SOURCE1～4 : Source1～4 です。



#### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
← →	設定テキスト上でカーソルを移動し、変更する文字を選択します。
↑ ↓	文字データ上でカーソルを移動し、設定する文字を選択します。
ENTER	タイトルテキストの文字を変更します。
AUTO	現在表示されている SOURCE X (TITLE TEXT)画面の次の SOURCE 画面へ移動します。
MENU	DISPLAY メニューへ戻ります。

#### ◆ 設定項目

メニュー項目	設定範囲	設定内容
SOURCE 1 ～ SOURCE 4	ASCII コード (英数字, 記号)	各入力ソースに表示するタイトルテキストを設定。 表示文字数は最大 16 文字。 ASCII コード(英数字,記号)が使用可能。 ※全角文字のみ使用可能。

#### 注意

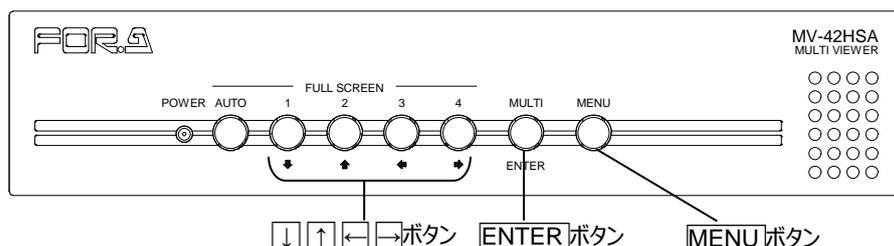
カナおよび漢字のタイトルテキストを設定する場合は、RS-232C/LAN (MV-42IF/IFA オプション実装時) のコマンドを使用してください。コマンドの詳細は「10-3-6. ビデオソーステキスト設定 (STI)」を参照してください。

## 7-3. SYSTEM

MAIN MENU 画面で [SYSTEM >] にカーソルを合わせて [ENTER] ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

<p><b>SYSTEM 1/2</b></p> <p>OUTPUT FORMAT : 1080/59.94i          VIDEO SETUP &gt;          AUDIO SETUP &gt;          FRONT PANEL LOCK : OFF</p>	<p><b>SYSTEM 2/2</b></p> <p>INPUT &gt;          FS MODE &gt;</p>
---	--

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
ENTER	選択されている項目のサブメニュー画面に移動します。
MENU	MAIN MENU 画面へ戻ります。
AUTO	次のページへ移動します。

### ◆ 設定項目

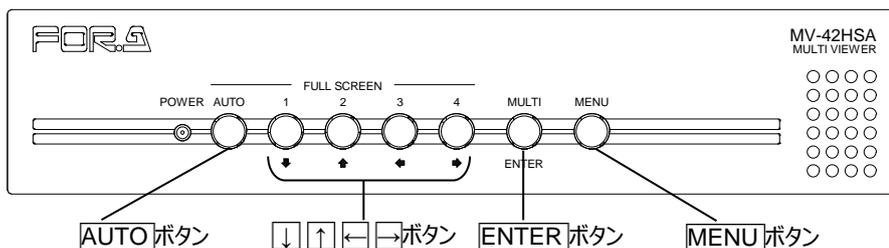
メニュー項目	設定範囲	設定内容
OUTPUT FORMAT	1080/59.94i	出力フォーマットを設定。
	1080/50i	
	720/59.94p	
	720/50p	
VIDEO SETUP	-	映像に関連するパラメーターの設定。 詳細は「7-3-1. VIDEO SETUP 1/2～2/2 (SYSTEM)」参照。
AUDIO SETUP	-	音声に関連するパラメーターの設定。 詳細は「7-3-2. AUDIO SETUP (SYSTEM)」参照。
FRONT PANEL LOCK	OFF	前面パネル操作のロック ON/OFF の設定。 ON のとき [AUTO]、[1]～[4]、[MULTI] ボタンを押すと、POWER LED が点滅し、アラーム表示をします。
	ON	
INPUT	-	各入力ソースの信号選択および入力フォーマット情報を表示します。 詳細は「7-3-3. INPUT (SYSTEM)」参照。
FS MODE	FIELD	各入力ソースの FS モードを選択します。 詳細は「7-3-4. FS MODE (SYSTEM)」参照
	FRAME	

## 7-3-1. VIDEO SETUP 1/2～2/2 (SYSTEM)

SYSTEM 画面で [VIDEO SETUP >] にカーソルを合わせて [ENTER] ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

VIDEO SETUP 1/2 (SYSTEM)	VIDEO SETUP 2/2 (SYSTEM)
AUTO SEQUENCE TIME : 1sec	BACK COLOR >
WINDOW BLACK AREA : BORDER	CROP SETUP >
CLIP MODE : Y/C CLIP	TC DETECT FORMAT >
DVI OUTPUT MODE : MODE1	TALLY SETUP >

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。 カーソルが一番上にある場合は、ページを切替えます。
↓	カーソルを下に移動します。 カーソルが一番下にある場合は、ページを切替えます。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
ENTER	選択されている項目のサブメニュー画面に移動します。
MENU	SYSTEM 画面へ戻ります。
AUTO	次のページへ移動します。

### ◆ 設定項目

メニュー項目	設定範囲	設定内容
AUTO SEQUENCE TIME	1～60sec	自動切替え表示中の切替え時間の設定。
WINDOW BLACK AREA	BORDER	画面表示モードで、ASPECT1または2を選択した場合にウィンドウ枠内に生じる黒帯エリアの色を設定。 BORDER : ボーダー色と同じ色を表示 0～100% : 輝度レベルを設定。(0%: 黒 100%: 白)
	0～100%	
CLIP MODE	Y CLIP	Y 信号の 100%以上、0%以下のレベルをクリップします。
	C CLIP	C 信号の 50%以上、-50%以下のレベルをクリップします。
	Y/C CLIP	Y/C 信号のレベルをクリップします。
	OFF	Y/C 信号のレベルをクリップしません。

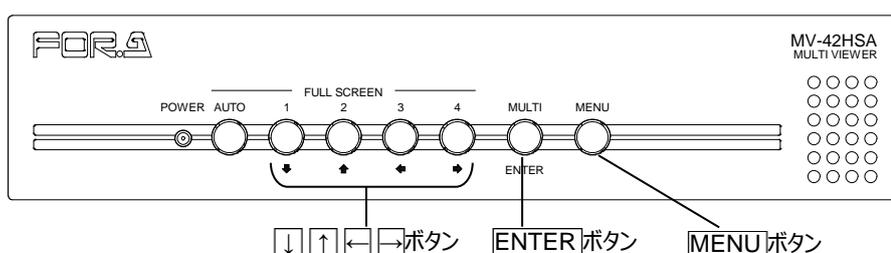
メニュー項目	設定範囲	設定内容
DVI OUTPUT MODE	MODE1	Y/C 信号を Y0~100%、C-50~50%の範囲で R. G. B. 信号それぞれ 0~255 に変換します。
	MODE2	Y/C 信号を Y-6.8~109%、C-50~50%の範囲で R. G. B. 信号それぞれ 0~255 に変換します。
	MODE3	Y/C 信号を Y-6.8~109%、C-56.7~56.5%の範囲で R. G. B. 信号それぞれ 0~255 に変換します。
BACK COLOR	-	背景の色を設定。詳細は「7-3-1-1. BACK COLOR (SYSTEM - VIDEO)」参照。
CROP SETUP	-	各入力ソースに対して個別にクロップを設定。詳細は「7-3-1-2. CROP SETUP (SYSTEM - VIDEO)」参照。
TC DETECT FORMAT	-	各入力ソースに対して個別に検出対象のアンシラリータイムコードを選択 (LTC または VTIC)。詳細は「7-3-1-3. TC DETECT FORMAT (SYSTEM - VIDEO)」参照。
TALLY SETUP	-	タリ-検出/表示の設定。詳細は「7-3-1-4. TALLY SETUP (SYSTEM - VIDEO)」参照。

### 7-3-1-1. BACK COLOR (SYSTEM - VIDEO)

VIDEO SETUP (SYSTEM)画面で [BACK COLOR >] にカーソルを合わせて [ENTER] ボタンを押すと、次の画面が表示されます。BACK COLOR (SYSTEM - VIDEO)画面では、背景表示の色を変更することができます。

BACK COLOR (SYSTEM - VIDEO)	
RED	: 0
GREEN	: 0
BLUE	: 0

※上記の図は工場出荷時の設定です。



#### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
ENTER	押しながら←または→を押すと、10 ずつ値が変わります。
MENU	VIDEO SETUP (SYSTEM) 画面へ戻ります。

◆ 設定項目

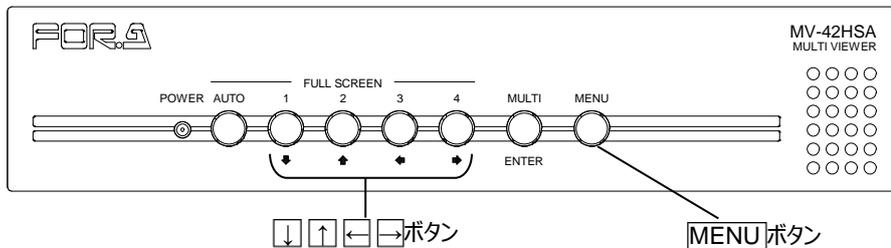
メニュー項目	設定範囲	設定内容
RED	0~255	MV-42HSA から出力されるウィンドウ枠外のスクリーン全体の背景表示の色を設定。
GREEN		
BLUE		

7-3-1-2. CROP SETUP (SYSTEM - VIDEO)

VIDEO SETUP (SYSTEM) 画面で [CROP SETUP >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。CROP SETUP (SYSTEM - VIDEO) 画面では、各入力ソースに対して個別にクロップの範囲を変更することができます。詳細は「6-5. クロップ」を参照してください。

CROP SETUP (SYSTEM - VIDEO)	
S 1 - T:	0 B: 0 L: 0 R: 0
S 2 - T:	0 B: 0 L: 0 R: 0
S 3 - T:	0 B: 0 L: 0 R: 0
S 4 - T:	0 B: 0 L: 0 R: 0

※上記の図は工場出荷時の設定です。



◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
ENTER	押しながら値を変えると、100 ずつ値が変わります。
MENU	VIDEO SETUP (SYSTEM) 画面へ戻ります。

◆ 設定項目

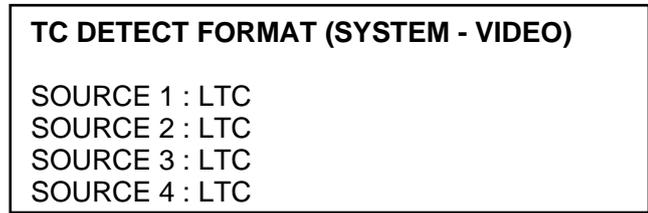
メニュー項目	設定範囲		設定内容
SOURCE 1 ~ SOURCE 4	TOP	0-1080	各入力ソースに対して TOP / BOTTOM / LEFT / RIGHT のクロップを設定します。
	BOTTOM	0-1080	
	LEFT	0-1920	
	RIGHT	0-1920	

注意

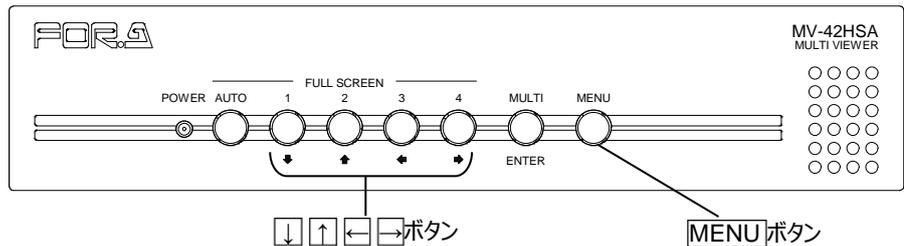
入力ソースに関係なくクロップの範囲は自由に設定できます。ただし、内部で 120x80pixels の映像領域は保つようになっているため、設定を変えても映像が変わらない場合があります。

### 7-3-1-3. TC DETECT FORMAT (SYSTEM - VIDEO)

VIDEO SETUP (SYSTEM) 画面で [TC DETECT FORMAT >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。TC DETECT FORMAT (SYSTEM - VIDEO)画面では、各入力ソースに対してアンシラリータイムコードの検出対象を変更することができます。



※上記の図は工場出荷時の設定です。



#### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	VIDEO SETUP (SYSTEM) 画面へ戻ります。

#### ◆ 設定項目

メニュー項目	設定範囲	設定内容
SOURCE 1 ～ SOURCE 4	LTC VITC	各入力ソースの検出対象アンシラリータイムコードを選択します。

#### 注意

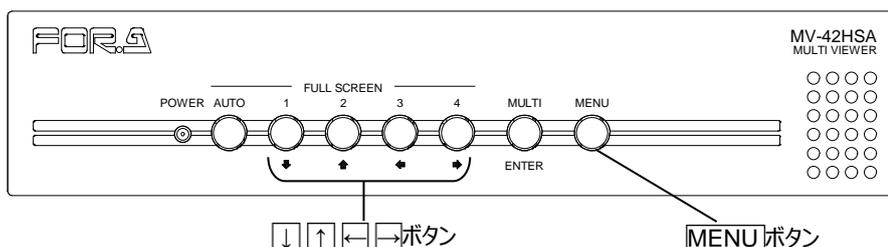
- ・DVITC には対応していません。
- ・LTC IN の入力タイムコードを表示することはできません。

### 7-3-1-4. TALLY SETUP (SYSTEM - VIDEO)

VIDEO SETUP (SYSTEM) 画面で [TALLY SETUP >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。TALLY SETUP (SYSTEM - VIDEO)画面では、タリー検出やタリー表示に関するパラメーターを変更することができます。詳細は「6-4. タリー」を参照してください。

TALLY SETUP (SYSTEM - VIDEO)	
DETECT	: OFF
INPUT	: COMMAND
SIMULTANEOUS	: RED

※上記の図は工場出荷時の設定です。



#### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。※MV-42IF/IFA オプション実装時
↓	カーソルを下に移動します。※MV-42IF/IFA オプション実装時
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	VIDEO SETUP (SYSTEM) 画面へ戻ります。

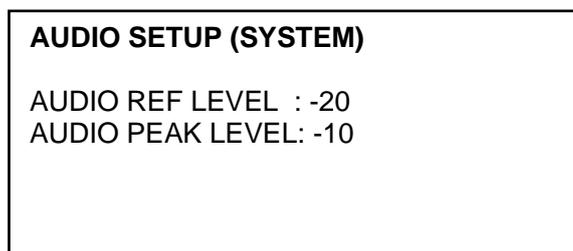
#### ◆ 設定項目

メニュー項目	設定範囲	設定内容
DETECT	OFF	タリー検出の ON/OFF を設定します。
	ON	※OFF に設定している場合は、1 画面、分割画面設定 TALLY ENABLE に関係なくタリーフレーム表示されません。
INPUT *1	GPI	タリー入力方法を設定します。詳細は「6-4-2. タリー入力方法」参照 <b>GPI</b> : MV-42IF/IFA オプション実装時に REMOTE / TALLY からのタリー入力を使用します。
	COMMAND	<b>COMMAND</b> : RS-232C/LAN (MV-42IF/IFA オプション実装時) タリー制御コマンドからのタリー入力を使用します。詳細は「10-3-9. タリー制御(STO)」参照。
SIMULTANEOUS *1	RED	タリー入力が GPI に設定されている場合に、赤および緑タリーが同時に入力された場合のタリー表示色を設定します。
	AMBER	<b>RED</b> : 赤のフレームタリーを表示します。 <b>AMBER</b> : アンバーのフレームタリーを表示します。

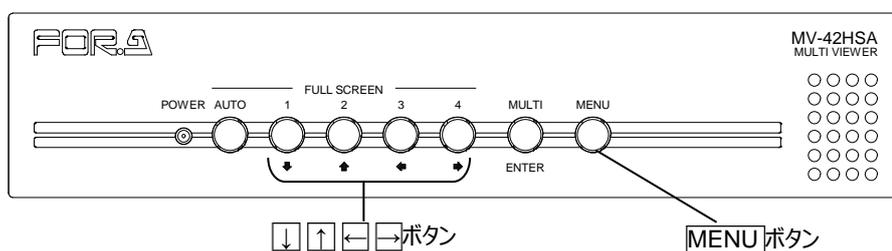
\*1 MV-42IF/IFA オプション実装時のみ設定を変更することができます。

## 7-3-2. AUDIO SETUP (SYSTEM)

SYSTEM 画面で [AUDIO SETUP >] にカーソルを合わせて [ENTER] ボタンを押すと、次の画面が表示されます。詳細は「6-6. オーディオレベルメーター」を参照してください。



※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	SYSTEM 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

メニュー項目	設定範囲	設定内容
AUDIO REF LEVEL	-1 ~ -60dB	オーディオリファレンスレベルの設定。
AUDIO PEAK LEVEL	0 ~ -30dB	オーディオピークレベルの設定。

### 注意

オーディオピークレベルの設定は常にオーディオリファレンスレベルより大きな値でないといけないため、オーディオピークレベルをオーディオリファレンスレベルより小さく設定することはできません。

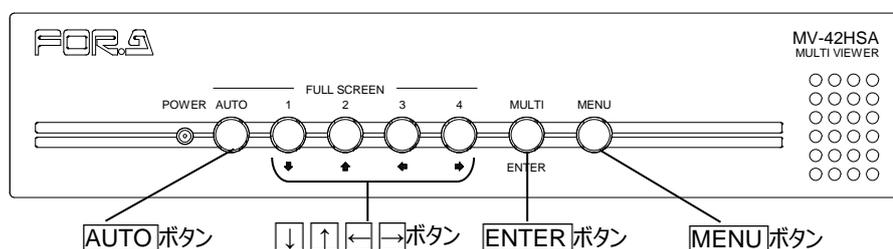
### 7-3-3. INPUT (SYSTEM)

SYSTEM 画面で [INPUT >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。入力信号の選択および入力されている信号のフォーマットを表示します。

※MV-42AI オプションが実装されていない場合は、SDI 固定ですので、操作できません。

<p><b>INPUT (SYSTEM) 1/2</b></p> <p>S1 : SDI            - 1080/59.94i  S2 : SDI            - 625/50  S3 : COMPOSITE - NO SIGNAL  S4 : COMPOSITE - NTSC</p>	<p><b>INPUT (SYSTEM) 2/2</b></p> <p>COMPOSITE SETUP : NO</p>
--	--

※工場出荷時の設定は (S1~4 : SDI)、(COMPOSITE SETUP : NO)です。



#### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。※1
↓	カーソルを下に移動します。※1
←	値を変更します。(逆方向) ※1
→	値を変更します。(順方向) ※1
MENU	SYSTEM 画面へ戻ります。
AUTO	次のページへ移動します。※1

※1 MV-42AI オプション未実装時は操作できません。

#### ◆ 設定項目

メニュー項目	設定範囲	設定内容
S1~S4	SDI	各入力ソースの信号を選択します。 「-」の後は入力されている信号のフォーマットを表示します。 (次ページ、入力フォーマットを参照。)
	COMPOSITE	<b>SDI</b> : HD/SD-SDI IN1~4 に入力されている信号 <b>COMPOSITE</b> : ANALOG COMPOSITE IN1~4 に入力されている信号 (※2)
COMPOSITE SETUP	NO	入力されているアナログコンポジット信号のセットアップ (7.5%) の有無を指定します。
	YES	セットアップが付加されている場合は YES を指定してください。

※2 MV-42AI オプションを実装していない場合は、入力ソース選択は SDI 固定ですので、COMPOSITE は選択できません。

#### 注意

アナログコンポジット信号のセットアップの設定は全てのソース (S1~4) に対して共通の設定になります。セットアップが付加されていない NTSC の信号や PAL の信号を混在して入力した場合なども、ビデオレベルが変わります。

◆ 入力フォーマット

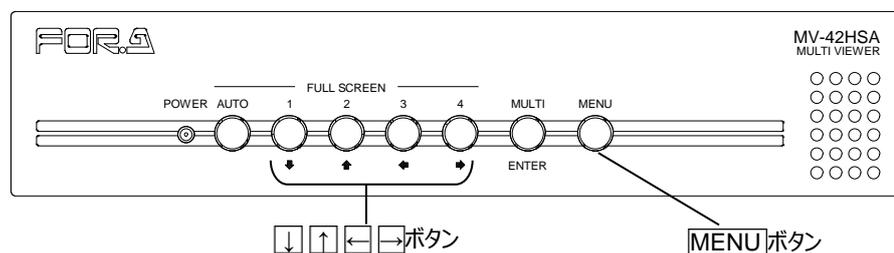
信号選択	表示 - 入力フォーマット	内容
SDI	NO SIGNAL	入力信号なし or 未対応フォーマット
	1080/60p(A)	1080/60p(Level A)
	1080/59.94p(A)	1080/59.94p(Level A)
	1080/50p(A)	1080/50p(Level A)
	1080/60p(B)	1080/60p(Level B)
	1080/59.94p(B)	1080/59.94p(Level B)
	1080/50p(B)	1080/50p(Level B)
	1080/60i	1080/60i or 1080/30PsF
	1080/59.94i	1080/59.94i or 1080/29.97PsF
	1080/50i	1080/50i or 1080/25PsF
	1080/24PsF	同左
	1080/23.98PsF	
	1080/30p	
	1080/29.97p	
	1080/25p	
	1080/24p	
	1080/23.98p	
	720/60p	
	720/59.94p	
	720/50p	
	720/24p	
720/23.98p		
525/60		
625/50		
COMPOSITE	NO SIGNAL	入力信号なし
	NTSC	同左
	PAL	

## 7-3-4. FS MODE (SYSTEM)

SYSTEM 画面で [FS MODE >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。入力信号毎の FS モードの選択を表示します。

FS MODE (SYSTEM)	
SOURCE 1	: FIELD
SOURCE 2	: FIELD
SOURCE 3	: FRAME
SOURCE 4	: FRAME

※工場出荷時の設定は (S1~4 : FIELD) です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	SYSTEM 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

メニュー項目	設定範囲	設定内容
SOURCE 1 ~4	FIELD	Field Synchronous モード。動きの多い映像や入出力の垂直周波数が異なる場合に適しています。
	FRAME	Frame Synchronous モード。動きの少ない映像に適しています。入力信号が psf の場合は FRAME 設定を推奨します。

### 注意

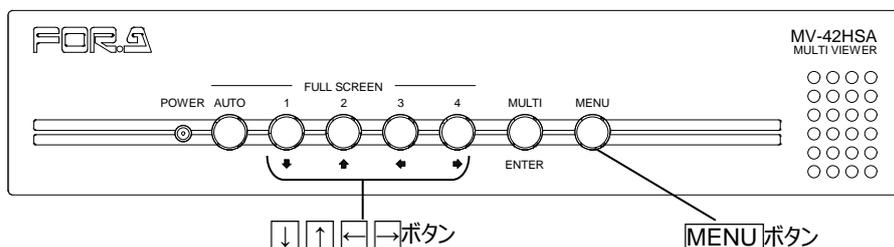
プログレッシブ入力、SD-SDI およびアナログコンポジット信号については設定が FRAME であっても FIELD 処理固定となります。  
 入出力遅延は、FIELD 設定時は 1~2 フィールド、FRAME 設定時は 2~4 フィールドとなります

## 7-4. LOSS

MAIN MENU 画面で [LOSS >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。詳細は「6-7. ビデオロス表示」を参照してください。

LOSS	
LOSS DETECT	: ON
LOSS RESET	: NONE
LOSS RESET TIME	: 1sec

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	MAIN MENU 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

メニュー項目	設定範囲	設定内容
LOSS DETECT	OFF	ビデオロス検出の ON/OFF 設定。
	ON	
LOSS RESET	NONE	ビデオロス表示リセット動作の設定。 <b>NONE</b> : リセット無効。信号復帰までロス表示。 <b>MANUAL</b> : リセット有効。信号復帰までロス表示。 <b>TIME</b> : リセット受信あるいは[LOSS RESET TIME]で設定した時間経過でリセット。
	MANUAL	
	TIME	
LOSS RESET TIME	1~100sec	ビデオロス表示時間の設定。 1~100sec: 設定した時間、ビデオロス表示。

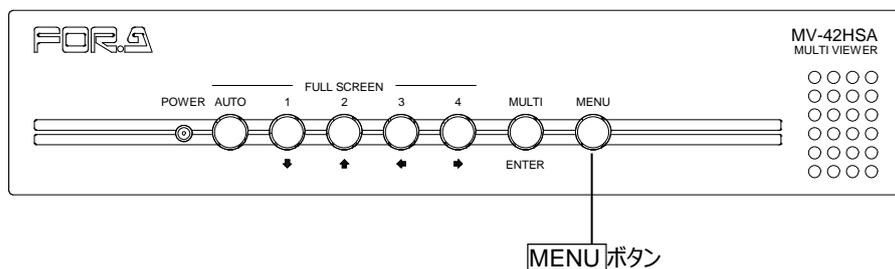


リセットは RS-232C、LAN (MV-42IF/IFA オプション実装時) コマンド、または GPI のパルス制御から実行できます。リセットコマンドの詳細は「10-3-5. アラームリセット (SVR)」を、GPI の詳細は「5. GPI 制御 ※MV-42IF/IFA オプション」を参照してください。

## 7-5. VERSION

MAIN MENU 画面で [VERSION] にカーソルを合わせて [ENTER] ボタンを押すと、次の画面が表示されます。VERSION 画面では、MV-42HSA のバージョン情報を確認することができます。

VERSION	
FPGA	: 01.00
SOFT	: 01.00



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
MENU	MAIN MENU 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

メニュー項目	表示内容
FPGA	MV-42HSA の FPGA のバージョンを表示。
SOFT	MV-42HSA の SOFT のバージョンを表示。

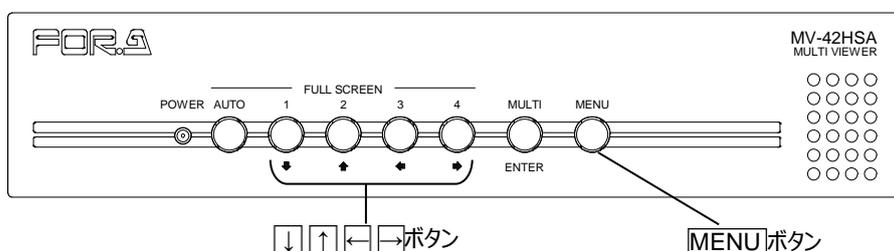
## 7-6. AUDIO SETTING

MAIN MENU 画面で [AUDIO SETTING >] にカーソルを合わせて [ENTER] ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

AUDIO SETTING	
EMBEDDED MODE	: NOT EMBED
MUTE	: OFF
TEST TONE (NOT SAVE)	: OFF

AUDIO SETTING 2/2	
OUTPUT MODE	: ADAPTIVE
MULTI AUDIO OUT	: SDI IN 1
FIXED AUDIO OUT	: SDI IN 1

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	MAIN MENU メニューへ戻ります。

### ◆ 設定項目

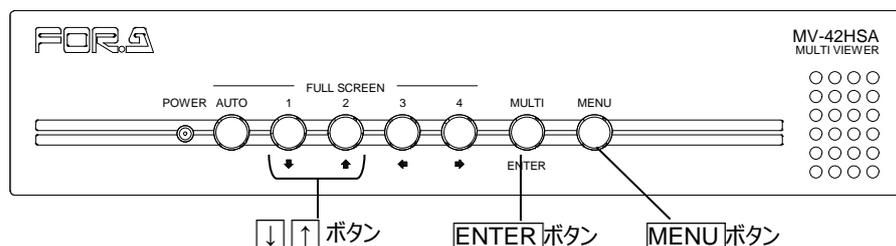
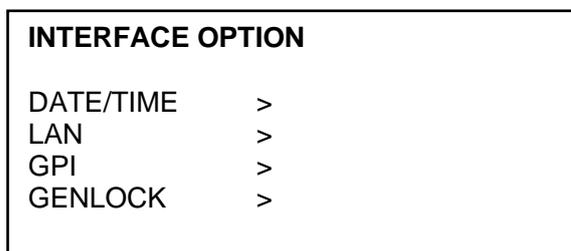
メニュー項目	設定範囲	設定内容
EMBEDDED MODE	NOT EMBED	SDI 出力にオーディオを重畳しません。
	EMBED	SDI 出力にオーディオを重畳します。
MUTE	OFF	オーディオ出力を無音にしません。
	ON	オーディオ出力を無音にします。
TEST TONE ※	OFF	選択したオーディオを出力します。
	1kHz	テスト信号 (1kHz Tone) を出力します。
OUTPUT MODE	ADAPTIVE	画面に表示された映像に連動するモードです。MULTI AUDIO OUT でオーディオソースを選んでください。
	FIXED	画面に表示された映像に関係なく常に同じオーディオを重畳します。FIXED AUDIO OUT でオーディオソースを選んでください。
MULTI AUDIO OUT	SDI IN1-4	MULTI 画面出力時のオーディオソースを選びます。
FIXED AUDIO OUT	SDI IN1-4	AUTO/FULL/MULTI 画面出力時のオーディオソースを選びます。(OUTPUT MODE が <b>FIXED</b> のとき有効)

※設定は保存されません。

## 7-7. INTERFACE OPTION

MV-42IF/IFA オプション実装時に、MAIN MENU 画面で [INTERFACE OPTION : INSTALLED >] にカーソルを合わせて [ENTER] ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

※MV-42IF/IFA オプションが実装されていない場合はこの画面は表示されません。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
MENU	MAIN MENU メニューへ戻ります。
ENTER	選択されている項目のサブメニュー画面に移動します。

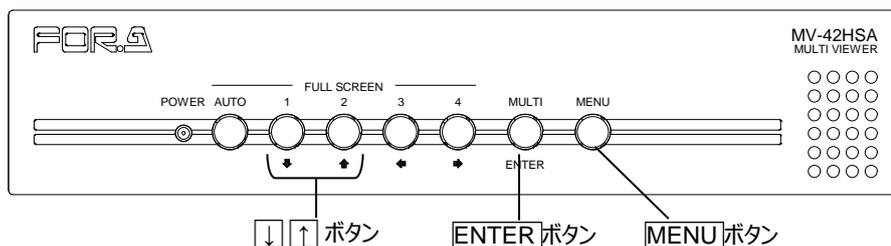
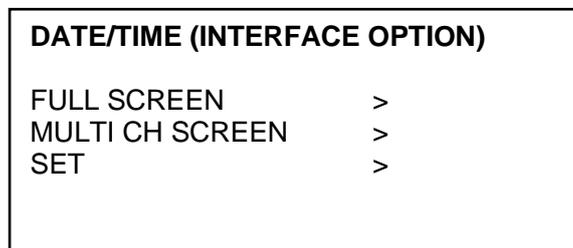
### ◆ 設定項目

メニュー項目	設定内容	参照
DATE/TIME	日時表示や内部時刻の設定を行います。	7-7-1. DATE/TIME (INTERFACE OPTION)
LAN	LAN (Ethernet) の設定を行います。	7-7-2. LAN (INTERFACE OPTION)
GPI	REMOTE/TALLY のピン設定を行います	7-7-3. GPI (INTERFACE OPTION)
GENLOCK	Genlock の位相設定やステータス表示を行います。	7-7-4. GENLOCK (INTERFACE OPTION)

## 7-7-1. DATE/TIME (INTERFACE OPTION)

INTERFACE OPTION 画面で [DATE/TIME >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

※詳細は「6-3. 日時表示 ※MV-42IF/IFA オプション」を参照してください。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
MENU	INTERFACE OPTION メニューへ戻ります。
ENTER	選択されている項目のサブメニュー画面に移動します。

### ◆ 設定項目

メニュー項目	設定内容	参照
FULL SCREEN	1 画面表示の日時の設定を行います。	7-7-1-1. FULL / MULTI CH SCREEN (DATE/TIME)
MULTI CH SCREEN	分割画面表示の日時の設定を行います。	
SET	日付表示順序や内部時計設定を行います。	7-7-1-2. SET (DATE/TIME)

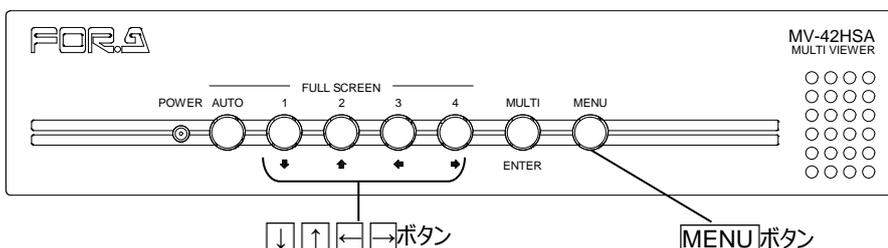
## 7-7-1-1. FULL / MULTI CH SCREEN (DATE/TIME)

DATE/TIME (INTERFACE OPTION) 画面で [FULL SCREEN >]、または、[MULTI CH SCREEN >] にカーソルを合わせて [ENTER] ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

※詳細は「6-3. 日時表示 ※MV-42IF/IFA オプション」を参照してください。

FULL SCREEN (DATE/TIME)	MULTI CH SCREEN (DATE/TIME)
DATE SELECT : INTERNAL	DATE SELECT : INTERNAL
TIME SELECT : INTERNAL	TIME SELECT : INTERNAL
SIZE : 7(32 * 64)	SIZE : 7(32 * 64)
POSITION : TOP-CENTER	POSITION : TOP-CENTER

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	DATE/TIME (INTERFACE OPTION) 画面へ戻ります。

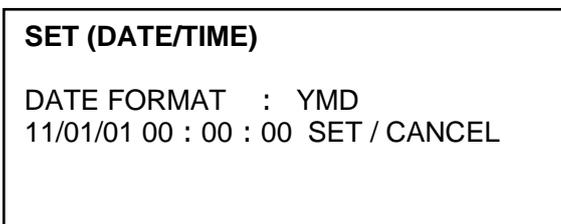
### ◆ 設定項目

メニュー項目	設定範囲	設定内容
DATE SELECT	OFF	1画面/分割画面の日付(年・月・日)の表示を設定します。 <b>OFF</b> : 表示しません。 <b>INTERNAL</b> : 内部時計の日付を使用します。
	INTERNAL	
TIME SELECT	OFF	1画面/分割画面の時刻(時・分・秒)の表示を設定します。 <b>OFF</b> : 表示しません。 <b>INTERNAL</b> : 内部時計の時刻を使用します。 <b>LTC</b> : LTC INに入力したタイムコードを使用します。
	INTERNAL	
	LTC	
SIZE	3(16 * 32)~ 7(32 * 64)	1画面/分割画面の日時の表示サイズを設定します。
POSITION	TOP-LEFT	1画面/分割画面の日時の表示位置を設定します。
	TOP-CENTER	
	TOP-RIGHT	
	BOTTOM-LEFT	
	BOTTOM-CENTER	
	BOTTOM-RIGHT	

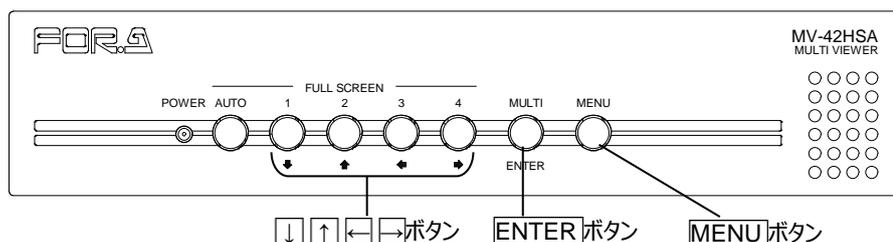
## 7-7-1-2. SET (DATE/TIME)

DATE/TIME (INTERFACE OPTION) 画面で [SET >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

※詳細は「6-3. 日時表示 ※MV-42IF/IFA オプション」を参照してください。



※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	<b>通常設定モード</b> ：カーソルを上に移動します。 <b>内部時計設定モード</b> ：カーソルを左に移動します。
↓	<b>通常設定モード</b> ：カーソルを下に移動します。 <b>内部時計設定モード</b> ：カーソルを右に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
ENTER	<b>通常設定モード</b> ：カーソルが内部時計設定にある場合、内部時計設定モードに入ります。 <b>内部時計設定モード</b> ： ・カーソルが SET にある場合、設定中の日時を内部時計に設定し、通常設定モードに戻ります。 ・カーソルが CANCEL にある場合、設定中の日時をキャンセルし、通常設定モードに戻ります。
MENU	<b>通常設定モード</b> ：DATE/TIME (INTERFACE OPTION) 画面へ戻ります。

### ◆ 設定項目

メニュー項目	設定範囲	設定内容	
DATE FORMAT	YMD	日付（年・月・日）の表示順を設定します。 <b>YMD</b> ：年月日 <b>MDY</b> ：月日年 <b>DMY</b> ：日月年	
	MDY		
	DMY		
内部時計	年	00~99	内部時計の日時を設定します。
	月	01~12	
	日	01~31	
	時	00~23	
	分	00~59	
	秒	00~59	

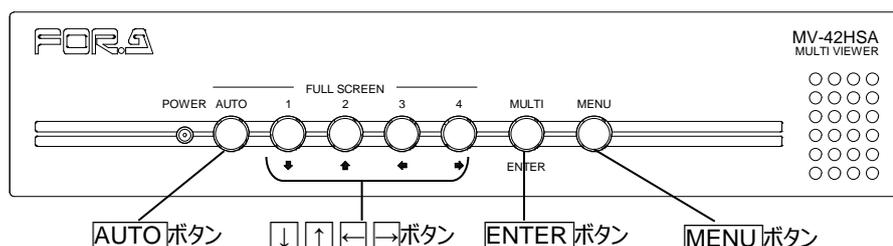
## 7-7-2. LAN (INTERFACE OPTION)

INTERFACE OPTION 画面で [LAN >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

※詳細は「9. LAN インターフェース ※MV-42IF/IFA オプション」を参照してください。

LAN (INTERFACE OPTION) 1/2	LAN (INTERFACE OPTION) 2/2
IP ADDRESS : 192.168. 0. 10	GATEWAY : 0. 0. 0. 0
SUBNET MASK : 24BIT	PORT : 50000
: (255.255.255. 0)	MAC ADDRESS : 00-10-B1-07-7X-XX

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを移動します。(逆方向)
↓	カーソルを移動します。(順方向)
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
ENTER	押しながら値を変更すると、次のように値が変わります。 <b>IP ADDRESS : ±10</b> <b>GATEWAY : ±10</b> <b>PORT : ±100</b>
AUTO	次のページに移動します。
MENU	INTERFACE OPTION メニューへ戻ります。 ※“Unable to set IP ADDRESS”または“Unable to set GATEWAY”という警告メッセージが出力されている場合は、メニューへ戻れません。設定を見直してください。

### ◆ 設定項目

メニュー項目	設定範囲	設定内容
IP ADDRESS	1.0.0.0 ~ 223.255.255.255	LAN の IP ADDRESS を設定します。
SUBNET MASK	0~30	LAN のサブネットマスク長を設定します。
GATEWAY	0.0.0.0 ~ 223.255.255.255	LAN のゲートウェイを設定します。使用しないネットワークでは設定不要です。 ※「0.0.0.0」は、ゲートウェイが設定されていないことを意味します。
PORT	1024~65535	LAN のポート番号を設定します。

### 注意

- 設定の際は、ご使用になるネットワークの管理者にご相談ください。
- サブネットマスク内のホストアドレス部のビットの並びが全て 0 または全て 1 となる IP ADDRESS は設定できません。また、第 1 オクテットが 127 のアドレスも設定できません。  
※“Unable to set IP ADDRESS”または“Unable to set GATEWAY”という警告メッセージが出力されます。

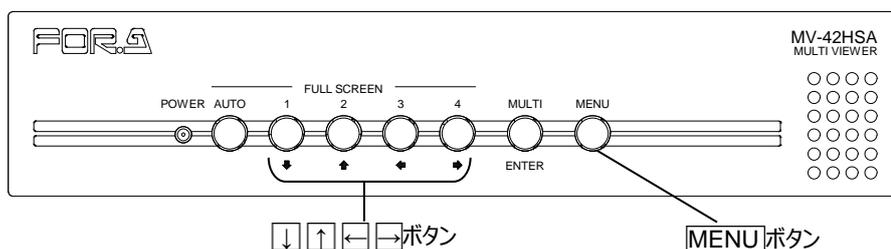
### 7-7-3. GPI (INTERFACE OPTION)

INTERFACE OPTION 画面で [GPI >] にカーソルを合わせて **ENTER** ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

※詳細は「5. GPI 制御 ※MV-42IF/IFA オプション」を参照してください。

GPI (INTERFACE OPTION)	
GPI1 : AUTO	GPI5 : FULL4
GPI2 : FULL1	GPI6 : MULTI
GPI3 : FULL2	GPI7 : ADJUST IN
GPI4 : FULL3	GPI8 : ALM RESET

※上記の図は工場出荷時の設定です。



#### ◆ 操作方法

操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを移動します。(逆方向)
↓	カーソルを移動します。(順方向)
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
MENU	INTERFACE OPTION 画面へ戻ります。

#### ◆ 設定項目

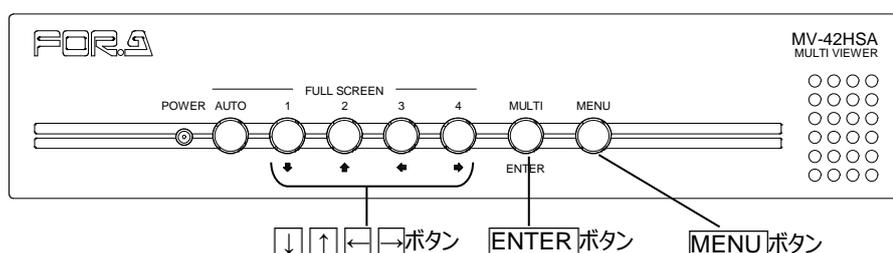
メニュー項目	設定範囲	設定内容
GPI1～ GPI8	NONE	REMOTE/TALLY の各ピンの機能を設定します。
	AUTO	<b>NONE</b> : 機能なし
	FULL1～4	<b>AUTO</b> : 1 画面自動切換え
	MULTI	<b>FULL1～4</b> : 入力 1～4 の 1 画面表示
	TALLY-R1～4	<b>MULTI</b> : 分割画面表示
	TALLY-G1～4	<b>TALLY-R1～4</b> : 赤タリー入力 1～4
	ADJUST IN	<b>TALLY-G1～4</b> : 緑タリー入力 1～4
	ALM RESET	<b>ADJUST IN</b> : 内部時計補正入力
	EMBED	<b>ALM RESET</b> : アラームリセット
	NOT EMBED	<b>EMBED</b> : エンベデッド設定
	ADAPTIVE	<b>NOT EMBED</b> : エンベデッドをしない設定
	FIXED	<b>ADAPTIVE</b> : オーディオ出力連動モード
	AUD MLT-1～4	<b>FIXED</b> : オーディオ出力固定モード
	AUD FIX-1～4	<b>AUD MLT</b> : MULTI 画面時のオーディオソース設定
	TONE OFF	<b>AUD FIX</b> : 固定オーディオソース設定
	TONE 1kHz	<b>TONE 1kHz/OFF</b> : テストトーン設定
MUTE OFF	<b>MUTE ON/OFF</b> : ミュート (無音) 設定	
MUTE ON		

## 7-7-4. GENLOCK (INTERFACE OPTION)

INTERFACE OPTION 画面で [GENLOCK >] にカーソルを合わせて ENTER ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

GENLOCK (INTERFACE OPTION)	
H PHASE	: 0CLOCK
V PHASE	: 0LINE
LOCK STATUS	: LOCKED
REFERENCE	: B.B. (NTSC)

※上記の図は工場出荷時の設定です。



### ◆ 操作方法

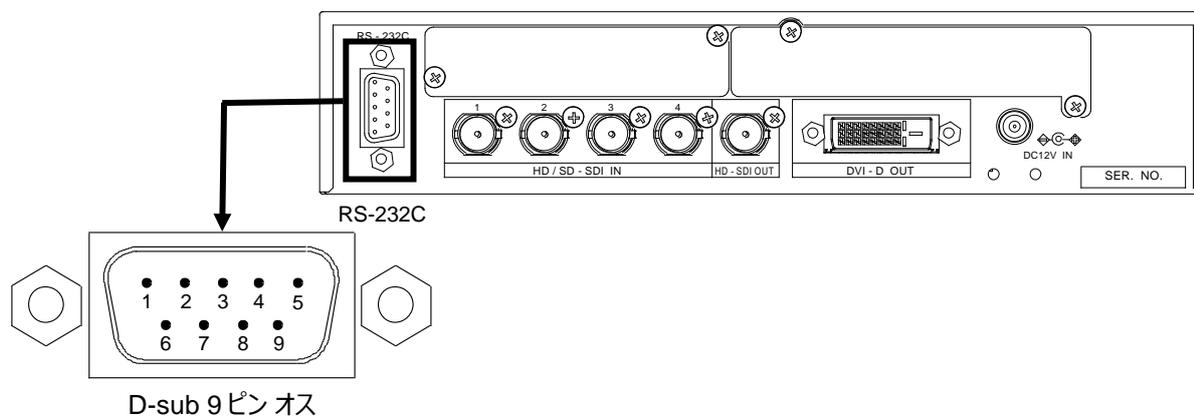
操作ボタン	動作内容
↑	カーソルを上に移動します。
↓	カーソルを下に移動します。
←	値を変更します。(逆方向)
→	値を変更します。(順方向)
ENTER	押しながら値を変更すると、±10 ずつ値を変更します。
MENU	INTERFACE OPTION メニューへ戻ります。

### ◆ 設定項目

メニュー項目	設定範囲	設定内容
H PHASE	-512～511	リファレンス信号を基準にして、HD-SDI/DVI-D 出力信号の水平位相を調整します。
V PHASE	-64～63	リファレンス信号を基準にして、HD-SDI /DVI-D 出力信号の垂直位相を調整します。
LOCK STATUS	LOCKED	リファレンス信号と HD-SDI/DVI-D 出力信号のロック状態を表示します。 <b>LOCKED</b> : ロック動作中です。 <b>UNLOCKED</b> : フリーラン動作中です。
	UNLOCKED	
REFERENCE	NONE	現在入力されているリファレンス信号を表示します。 NONE の場合は、信号が無い、もしくは未対応信号が入力されています
	B.B.(NTSC)	
	B.B.(PAL)	
	TRI(1080/59.94i)	
	TRI(1080/50i)	
	TRI(720/59.94p)	
TRI(720/50p)		

## 8. RS-232C インターフェース

### 8-1. RS-232C コネクター



#### ◆ RS-232C コネクター端子配列表 (D-sub 9ピンオス)

ピン番号	信号名	入出力	信号内容
1	-	-	未使用
2	TXD	出力	送信データ
3	RXD	入力	受信データ
4	DSR	入力	データセットレディ
5	GND	-	信号グラウンド
6	DTR	出力	データ端末レディ
7	CTS	入力	送信可
8	RTS	出力	送信要求
9	-	-	未使用

#### ◆ シリアル通信規格

通信方式	非同期、全二重
転送速度	38,400[bps]
データ長	8 [bit]
ストップビット	1 [bit]
パリティ	NONE
フロー制御	なし

#### 注意

DSRとDTR、RTSとCTSはMV-42HSA側にて折り返し接続されています。  
PC等の他の機器に接続する場合は、RS-232C用ストレートケーブルを使用してください。



## 9. LAN インターフェース ※MV-42IF/IFA オプション

### 9-1. LAN インターフェースの通信仕様

#### <通信仕様>

項目	内容	
Ethernet インターフェース	コネクタ	RJ-45
	ビットレート規格	10BASE-T/100BASE-TX ※半 2 重 自動切り替え
Ethernet プロトコル	TCP/IP	
ネットワークケーブル	カテゴリ 5 以上	

ハブを使って接続する場合、ストレート LAN ケーブルを使用します。

直結して接続する場合、クロス LAN ケーブルを使用します。

Auto-MDIX (ストレート、クロスの自動判定) 機能に対応した LAN ポートを使用する場合は、ケーブルの区別は必要ありません。

#### <ネットワーク設定>

項目	初期設定	設定範囲
IP アドレス	192.168.0.10	1~223. 0~255. 0~255. 0~255
サブネットマスク長	24	0~30
ゲートウェイ	0.0.0.0	0~223. 0~255. 0~255. 0~255 (0.0.0.0 はゲートウェイが設定されていないことを意味します。)
ポート番号	50000	1024~65535
マックアドレス	工場出荷時に 設定済み	(変更不可)

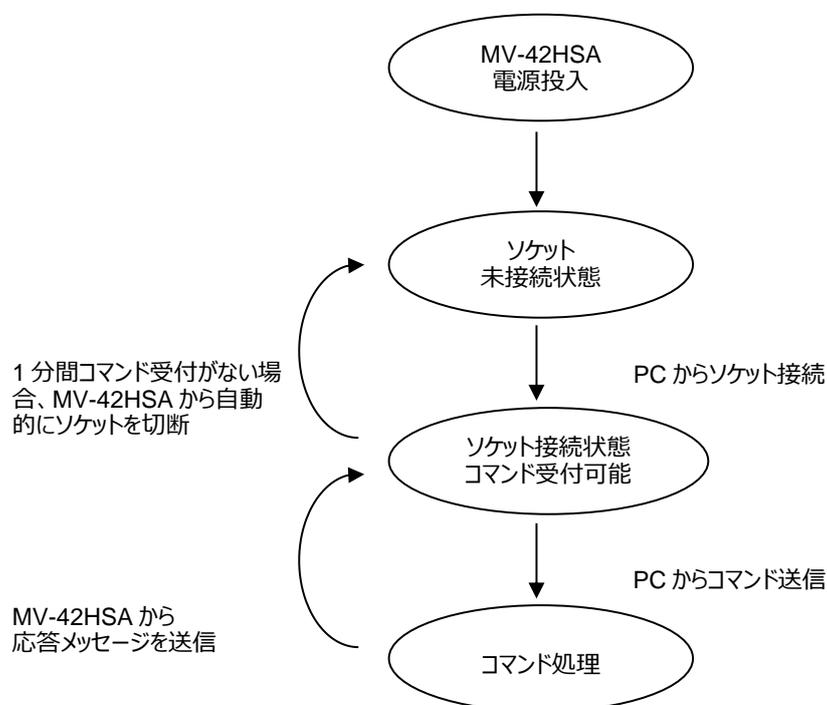
#### 注意

- 設定の際には、ご使用になるネットワークの管理者にご相談ください。
- LAN ケーブルの切断等により、正規の切断処理が行われずに通信が途切れた場合は、数分間接続できない場合があります。そのような場合は、しばらく待つか本体の電源を再投入してから接続処理を行ってください。
- サブネットマスク内のホストアドレス部のビットの並びが全て 0 または全て 1 となる IP ADDRESS は設定できません。また、第 1 オクテットが 127 のアドレスも設定できません。

## 9-2. LAN インターフェースでの注意事項

- 1) IP アドレス、サブネットマスク長、ゲートウェイ、ポート番号の各設定については、ご使用になるネットワーク環境に合わせて必ず設定してください。
- 2) 通常、他のネットワークシステムに接続して使用する場合には、各機器に設定する IP アドレス等に制限があります。ご使用となるネットワークに当てはまらない IP アドレス等を機器に対して設定した場合、通信異常等のトラブルを引き起こす可能性があります。必ずネットワークシステム管理者と相談し、各機器の設定内容に問題がないかを確認した後にネットワークへ接続してください。
- 3) LAN インターフェースによる制御は、MV-42HSA 1 台に対し 1 台の制御 PC のみ可能です。
- 4) 制御 PC 等から、MV-42HSA 本体の設定ポートに対して通信を確立すると制御可能になります。制御を終了する場合には、ポートの通信を開放してください。
- 5) ポートは何もコマンドが送られない状態が 1 分間続くとソケット接続を自動的に切断します。

### ◆ MV-42HSA 状態遷移図



## 10. コマンドプロトコルのフォーマット

---

コマンドごとに、入力するコードおよびパラメーターが表に示されていますので、それに従って設定してください。

### 10-1. RS-232C / LAN コマンド

---

コマンドコード + コマンドパラメーター + CR + LF (3 バイト)      (各パラメーター指定バイト)
---

(LF はなくても動作します。)

#### 例) 1 画面表示コマンドを送信する場合

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	コマンドコード	SDF	
4-5	入力ソース番号	01-04	ソース番号 1-4
6	エンドコード	CR	
7		LF	

#### 注意

MV-42HSA はコマンドを受信した場合、応答・メッセージ等を返信します。 MV-42HSA が返信する前に次のコマンドを送信すると、正常に動作しません。
---

## 10-2. 設定コマンドの応答メッセージ

コマンド送信後、MV-42HSA からの応答メッセージを受信します。

### ◆ 正常終了

正常に受信処理したとき、次のメッセージが返信されます。

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-2	メッセージコード	OK	「OK」
3	エンドコード	CR	
4		LF	

### ◆ 異常終了

何らかの原因で正しくコマンドが発行されなかったとき、次のメッセージが返信されます。

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	メッセージコード	ERR	「ERROR」
4-6	エラーコード	001	コマンドエラー
		002	コマンド長エラー
		003	パラメーター範囲外エラー
		004	メニュー画面表示中
		005	設定不可 (機能未実装等)
		006-999	未使用
7	エンドコード	CR	
8		LF	

## 10-3. 本体制御・状態要求コマンド

### 10-3-1. 1画面表示 (SDF)

指定したソースを1画面表示で表示します。

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	コマンドコード	SDF	
4-5	入力ソース	01-04	ソース番号 1-4
6	エンドコード	CR	
7		LF	

### 10-3-2. 分割画面表示 (SDS)

分割画面の表示、および分割画面表示の分割形式を設定します。

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	コマンドコード	SDS	
4-5	分割画面 分割形式	00	分割画面に切り替え表示 ※分割画面の分割形式は設定 状態を維持
		01	4分割画面に切り替え表示
		02	左右2分割画面に切り替え表示
		03	4分割画面の4Kダウンコンバート 表示に切り替え
6	エンドコード	CR	
7		LF	

#### 注意

4K ダウンコンバート表示から QUAD/H2 表示に切り替える場合、出力映像への反映に数秒かかります。

### 10-3-3. 自動切換え開始 (SDA)

1画面表示のオートシーケンスを開始します。

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	コマンドコード	SDA	
4	エンドコード	CR	
5		LF	

### 10-3-4. 出力画面状態要求 (RDP)

現在の映像出力状態を要求します。

#### ◆ 状態要求コマンド

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	コマンドコード	RDP	
4	エンドコード	CR	
5		LF	

#### ◆ 応答メッセージ

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	メッセージコード	ADP	
4	表示モード	0	通常表示モード
		1	MENU モード
5	表示画面 ※MENU モード中は 「0」固定	0	1画面表示
		1	分割画面表示
		2	自動切換え表示
6-7	選択画面	00-04	「00」:MENU モード、分割画面表示
			「01」-「04」:フル、自動切換えソース番号 1-4
8	エンドコード	CR	
9		LF	

### 10-3-5. アラームリセット (SVR)

ビデオロスの解除を実行します。

※[LOSS RESET]を NONE に設定している場合はリセットされません。

アラームリセットを有効にする場合は、「7-4. LOSS」を参照し、設定してください。

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	コマンドコード	SVR	
4	エンドコード	CR	
5		LF	

### 10-3-6. ビデオソーステキスト設定 (STI)

入力ソースに対するタイトルのテキストを設定します。

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	コマンドコード	STI	
4-5	ビデオソース	01-04	ビデオソース番号 1-4
6-n	文字データ (1-2byte/文字)	SJIS コード	最大 16 文字分のデータ送信
n+1	エンドコード	CR	
n+2		LF	

### 10-3-7. ビデオソーステキスト設定要求 (RTI)

入力ソースに対するタイトルのテキストの設定を要求します。

#### ◆ 状態要求コマンド

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	コマンドコード	RTI	
4-5	ビデオソース	01-04	ビデオソース番号 1-4
6	エンドコード	CR	
7		LF	

#### ◆ 応答メッセージ

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	メッセージコード	ATI	
4-5	ビデオソース	01-04	ビデオソース番号 1-4
6-n	文字データ (1-2byte/文字)	SJIS コード	最大 16 文字分のデータ送信
n+1	エンドコード	CR	
n+2		LF	

### 10-3-8. 本体制御設定保存 (SBK)

本体制御に関する設定を本体に保存します。

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	コマンドコード	SBK	
4	Reserved	0	
5	エンドコード	CR	
6		LF	

### 10-3-9. タリー制御(STO)

タリー入力方法にコマンドを選択した場合に、タリーを制御します。タリー入力方法の詳細については、「7-3-1-4. TALLY SETUP (SYSTEM - VIDEO)」を参照してください。

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	コマンドコード	STO	
4-5	ビデオソース	01-04	ビデオソース番号 1-4
6	タリー	0	OFF
		1	RED
		2	GREEN
		3	AMBER
7	Reserved	0	
8	エンドコード	CR	
9		LF	

### 10-3-10. 内部時計設定(SDT/RDT)※MV-42IF/IFA オプション実装時

内部時計の日時を設定します。

正常に受信処理した場合は、保存されます。

※「10-3-8. 本体制御設定保存 (SBK)」コマンドを送信する必要はありません。

MV-42IF/IFA オプション未実装の場合は「ERR005」を返信します。

#### ◆ 状態要求コマンド

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	コマンドコード	RDT	
4	エンドコード	CR	
5		LF	

#### ◆ 設定コマンド/応答メッセージ

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	メッセージコード	ADT	
4-5	日時	00-99	年（西暦の下2桁）
6-7		01-12	月
8-9		01-31	日
10-11		00-23	時
12-13		00-59	分
14-15		00-59	秒
16	エンドコード	CR	
17		LF	

### 10-3-11. オーディオエンベッド設定(SAP/RAP)

SDI 出力へオーディオをエンベッドするかどうかを設定します。または現在の設定を要求します。

#### ◆ 状態要求コマンド

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	コマンドコード	RAP	要求コマンド
4	Reserve	0	0 固定
5	エンドコード	CR	
6		LF	

#### ◆ 設定コマンド/応答メッセージ

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	コマンドコード メッセージコード	SAP	設定コマンド
		AAP	RAP への応答メッセージ
4	Reserve	0	0 固定
5	エンベッド	0	OFF
		1	ON
6	エンドコード	CR	
7		LF	

### 10-3-12. オーディオ出力モード選択(SAZ/RAZ)

オーディオ出力モードを、連動 (Adaptive)、固定 (Fixed)から選択します。または現在の設定を要求します。

#### ◆ 状態要求コマンド

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	コマンドコード	RAZ	要求コマンド
4	エンドコード	CR	
5		LF	

#### ◆ 設定コマンド/応答メッセージ

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	コマンドコード メッセージコード	SAZ	設定コマンド
		AAZ	RAZ への応答メッセージ
4	オーディオ出力モード	0	固定 (Fixed)
		1	連動 (Adaptive)
5	エンドコード	CR	
6		LF	

### 10-3-13. オーディオソース選択(Adaptive) (SCA/RCA)

オーディオ出力が連動モード (Adaptive) のとき、MULTI 画面のオーディオソースを選びます。または現在の設定を要求します。

#### ◆ 状態要求コマンド

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	コマンドコード	RCA	要求コマンド
4	Reserve	0	0 固定
5	エンドコード	CR	
6		LF	

#### ◆ 設定コマンド/応答メッセージ

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	コマンドコード メッセージコード	SCA	設定コマンド
		ACA	RCA への応答メッセージ
4	Reserve	0	0 固定
5-6	オーディオソース番号	01-04	SDI IN 1-4
6	エンドコード	CR	
7		LF	

### 10-3-14. オーディオソース選択(Fixed) (SCC/RCC)

オーディオ出力が固定モード (Fixed) のとき、SDI 出力へのオーディオソースを選びます。または現在の設定を要求します。

#### ◆ 状態要求コマンド

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	コマンドコード	RCC	要求コマンド
4	Reserve	0	0 固定
5	エンドコード	CR	
6		LF	

#### ◆ 設定コマンド/応答メッセージ

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	コマンドコード メッセージコード	SCC	設定コマンド
		ACC	RCC への応答メッセージ
4	Reserve	0	0 固定
5-6	オーディオソース番号	01-04	SDI IN 1-4
7	エンドコード	CR	
8		LF	

### 10-3-15. オーディオテスト信号出力設定(SCB/RCB)

オーディオテスト信号を出力するかどうかを設定します。または現在の設定を要求します。設定は保存されません。

#### ◆ 状態要求コマンド

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	コマンドコード	RCB	要求コマンド
4	Reserve	0	0 固定
5	Reserve	0	0 固定
6	エンドコード	CR	
7		LF	

#### ◆ 設定コマンド/応答メッセージ

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	コマンドコード メッセージコード	SCB	設定コマンド
		ACB	RCB への応答メッセージ
4	Reserve	0	0 固定
5	Reserve	0	0 固定
6	テスト信号	0	OFF
		1	1 kHz
7	エンドコード	CR	
8		LF	

### 10-3-16. オーディオ出力ミュート設定(SAK/RAK)

エンベデッドオーディオを無音にするかどうかを選びます。または現在の設定を要求します。

#### ◆ 状態要求コマンド

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	コマンドコード	RAK	要求コマンド
4	エンドコード	CR	
5		LF	

#### ◆ 設定コマンド/応答メッセージ

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1-3	コマンドコード メッセージコード	SAK	設定コマンド
		AAK	RAK への応答メッセージ
4	ミュート	0	OFF
		1	ON
5	エンドコード	CR	
6		LF	

### 10-3-17. ビデオソースアサイン切替(SCV/RCV)

分割画面表示の各ウィンドウの映像領域に表示するビデオソースを変更することができます。

#### ◆ 状態要求コマンド

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1 - 3	コマンドコード	RCV	要求コマンド
4 - 5	WINDOW	01 - 04	ウィンドウ番号 1 - 4
6	エンドコード	CR	
7		LF	

#### ◆ 設定コマンド/応答メッセージ

バイト	パラメーター	コマンド	設定内容
1 - 3	コマンドコード	SCV	設定コマンド
		ACV	RCV への応答メッセージ
4 - 5	WINDOW	01 - 04	ウィンドウ番号 1 - 4
6 - 7	SOURCE	01 - 04	ビデオソース番号 1 - 4
8	エンドコード	CR	
9		LF	

## 11. 故障かなと思ったときに

修理を依頼される前に、次のことを確認してください。

### 注意

下記の項目をすべて確認しても正常に動作しない場合は、MV-42HSA の電源を OFF にし、再度 ON にしてください。それでも正常に動作しない場合は、販売代理店へご連絡ください。

現象	確認点	対策
画面に情報が表示されない。	各情報表示が OFF に設定されていませんか？	メニュー画面にて設定を確認してください。
工場出荷時の設定に戻したい。	-	<b>MENU</b> ボタンを押しながら電源を投入してください。 初期化が実行されます。
モニターに何も表示されない。または、モニターが MV-42HSA の出力信号を認識できない。	使用しているモニターは、MV-42HSA からの出力フォーマットに対応していますか？	対応していない場合、対応しているフォーマットに MV-42HSA の出力を変更してください。「4-3. 出力フォーマット変更」または「7-3. SYSTEM」参照。
映像が正常に表示されない。		1920 x 1080 (59.94 or 50)はインターレース信号、1280 x 720 (59.94 or 50)はプログレッシブ信号です。
映像にノイズが発生する。	出力周波数（垂直：V）が 50Hz に設定されていますか？	使用しているモニターが、50Hz に対応しているか確認してください。対応していない場合、対応しているモニターへ交換してください。
	DVI-D 出力にのみノイズが発生していますか？	DVI-D ケーブルの特性が悪いと、映像に斑点ノイズが発生する場合があります。特性の良いケーブルに交換してください。

## 12. 仕様および外観図

### 12-1. 仕様

#### 基本仕様

使用温度	0℃～40℃
使用湿度	30%～90% (結露のないこと)
電源電圧	DC12V(DC ジャック) ※AC アダプターは別売りです。 以下の仕様を満たす AC アダプターを使用してください。 出力電圧：DC12V、出力電流：2A、突入電流：30A、 コネクター：JEITA RC-5320A Standard Voltage Class4 ※MV-42HSA 側のコネクターは HOSIDEN 製 HEC3800-01-010 です。 センターがプラス電圧です。
消費電力	22 VA (12 W) (100V 使用時)、26 VA (12 W) (200V 使用時) MV-42IF/IFA オプション実装時：※ 23 VA (12 W) (100V 使用時)、27 VA (12 W) (200V 使用時) MV-42AI オプション実装時：※ 26 VA (14 W) (100V 使用時)、32 VA (15 W) (200V 使用時) MV-42IF/IFA/MV-42AI オプション実装時：※ 27 VA (15 W) (100V 使用時)、33 VA (16 W) (200V 使用時) ※オプションの AC アダプター使用時
外形寸法	212 (W) x 44 (H) x 161 (D)mm EIA 1RU ハーフサイズ 480 (W) (1 台用または 2 台用ラック金具付き)
質量	1.16kg
消耗部品 (常温 24 時間使用時)	冷却ファン：P1472 交換時期 約 3 年

#### 技術仕様

ビデオフォーマット	1080/60p、1080/59.94p、1080/50p (Level A/B) ※ 1080/60i、1080/59.94i、1080/50i、1080/30p、1080/30PsF、1080/29.97p、 1080/29.97PsF、1080/25p、1080/25PsF、1080/24p、1080/24PsF、1080/23.98p、 1080/23.98PsF、720/60p、720/59.94p、720/50p、720/24p、720/23.98p、 525/60(NTSC)、625/50(PAL) ※ 3G-SDI (Level B)は 1920x1080 のみサポート
ビデオ入力	下記いずれかを 4 入力(混在入力,非同期入力可能)
3G-SDI	3Gbps 75Ω BNC カラーフォーマット：YCbCr(4:2:2) 量子化ビット：10bit
HD-SDI	1.485Gbps または 1.485/1.001Gbps 75Ω BNC カラーフォーマット：YCbCr (4:2:2) 量子化ビット：10bit
SD-SDI	270Mbps 75Ω BNC カラーフォーマット：YCbCr (4:2:2) 量子化ビット数：10bit
オーディオ入力	SDI エンベデッド入力 ・サンプリング周波数：48 kHz (入力ビデオに同期) ・量子化ビット数：16-bit ～ 24-bit ・SDI 1 入力につき 16 チャンネル (グループ x4 (ステレオ x8))

ビデオ出力	
HD-SDI	1 出力 1.485Gbpsまたは 1.485/1.001Gbps 75Ω BNC カラーフォーマット : YCbCr (4:2:2) 量子化ビット : 10bit
DVI-D	1 出力 DVI-D コネクター カラーフォーマット : RGB 量子化ビット : 8bit ※ HDCP は非対応です。
ビデオフォーマット	1080/59.94i、1080/50i、720/59.94p、720/50p ※入出力ビデオ間のフレームレートコンバーター機能はありません。 入出力ビデオ間のフレームレートの差により、同じフレームを 2 回出力する場合や、フレームを飛ばす場合があります。
オーディオ出力	SDI エンベデッドオーディオ ・サンプリング周波数 : 48 kHz ・量子化ビット数 : 24-bit ・16 チャンネル (グループ x4 (ステレオ x8))
入出力遅延	FS MODE = FIELD 設定時、1~2 フィールド (0.5~1.0 フレーム) FS MODE = FRAME 設定時、2~4 フィールド (1~2 フレーム)
画面表示	1 画面、左右 2 分割画面、4 分割画面
レベルメーター表示	3G-SDI/HD-SDI/SD-SDI 入力のエンベデッドオーディオのレベルメーター表示 (最大 8 チャンネル) ※ 3G-SDI (Level B)の場合、オーディオは Link A のみ対応。 Link B は非対応。
タイムコード表示	3G-SDI/HD-SDI/SD-SDI 入力のエンベデッドタイムコードの表示
タイトル表示	各入力に 1 行 x16 文字のタイトル表示 文字の種類 : 英数字、カナ、記号、漢字 (JIS 第 1、第 2 水準) ※全角文字のみ表示可能
データ保持	各種設定を EEPROM に保存
インターフェース	タイトルの設定およびリモート制御に使用
RS-232C	D-sub 9 ピン オス 1 系統 伝送速度 38,400bps データ長 8 ビット、ストップビット 1 ビット、 パリティ NONE

#### MV-42AI (アナログコンポジット入力基板) オプション

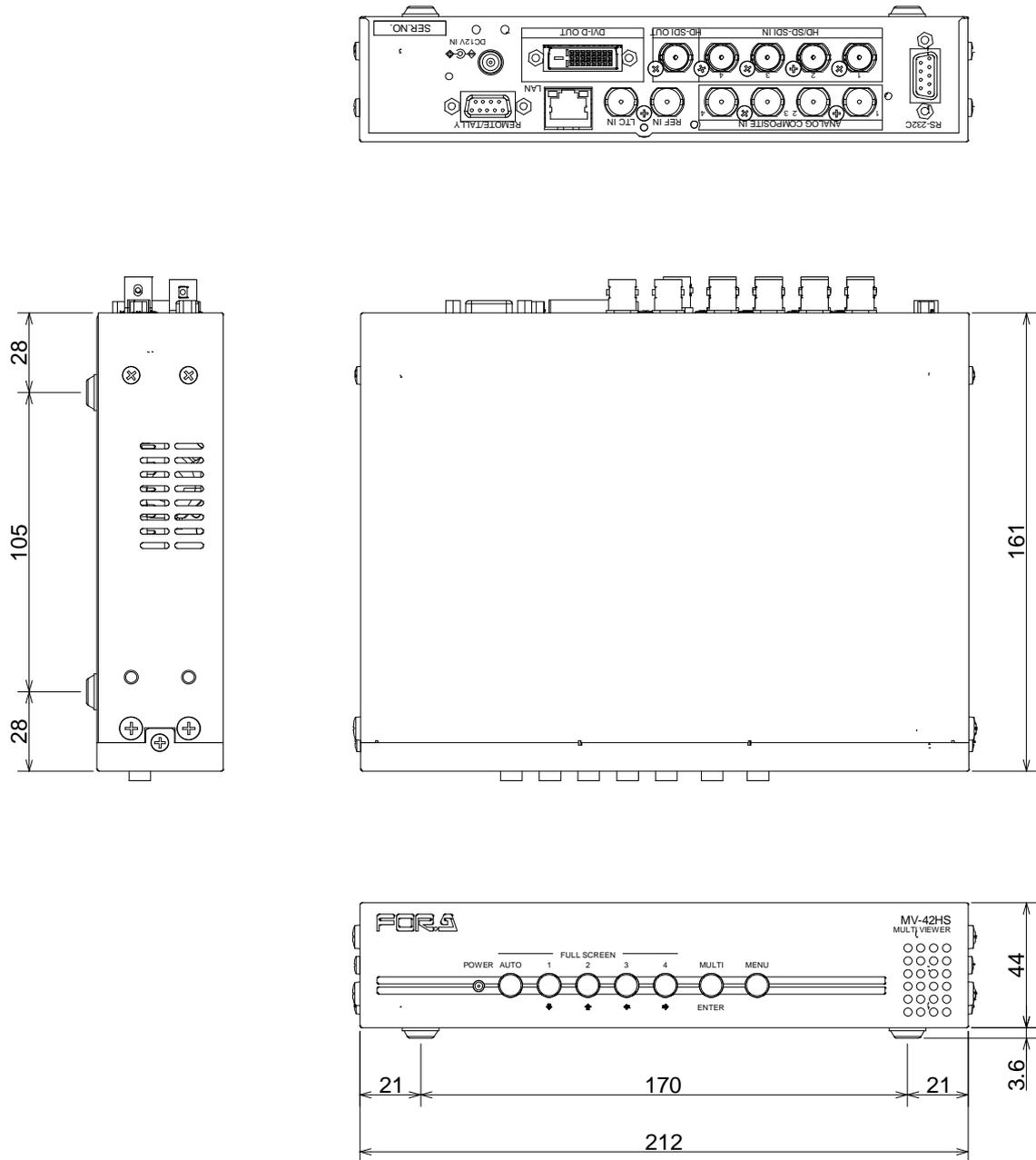
ビデオ入力	4 入力 (各入力毎にアナログコンポジット入力と SDI 入力のどちらを有効にするか MENU で選択) アナログコンポジット : 1.0V (p-p) 75Ω BNC カラーフォーマット : YCbCr (4 : 2 : 2) 量子化ビット : 8bit
ビデオフォーマット	NTSC、PAL

**MV-42IF/IFA (インターフェース基板) オプション**

ゲンロック入力	1 入力 BNC 75Ω BB : NTSC 0.429V (p-p) BB : PAL 0.45V (p-p) 3 値シンク : 0.6V (p-p)
LTC 入力	1 入力 BNC ハイインピーダンス SMPTE 準拠タイムコード : 1.0V (p-p) ±6dB 以内
REMOTE/TALLY 入力	D-Sub9ピン (メス) : 最大 8 入力 赤/緑タリ入力 1~4 (負論理レベル信号またはメイク接点) 1 画面自動切換え、1 画面表示、分割画面表示、内部時計補正入力、アラームリセット入力 (負論理パルス信号またはメイク接点)
日時表示	内部時計の日時または LTC 入力の時刻を表示 ※内部時計の精度は月差±10 秒以内 (25℃の場合)
LAN	1 系統 10BASE-T/100BASE-TX RJ-45 (カテゴリ-5 対応)
消耗部品	バックアップ用電池(内部時計用) 交換時期 約 5 年 (常温使用時)

## 12-2. 外觀圖

(寸法單位 mm)







サービスに関するお問い合わせは

**03-3446-8575**

24 時間 365 日電話受付